

(HK B タイプ (ベンチカウンター))

[illegible]

EKL61355N2 以前の改訂履歴は改訂前の組立ポイント集をご参照ください。

- 組立説明書がお手元がない場合は、下記の HP から確認できます。
<https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm#>
- 組立手順・方法に関するお問い合わせ先
TOTO(株) 浴室エンジニアリング企画部
043-498-3239 受付時間：平日（月～金） 9:00～17:00
- TOTO SB・UB は認定組立者様での組立てが必須です。
未認定組立者様は、認定取得手続きが必要です。上記までご連絡ください。



FOTO SB・UB 組立ポイント集 ■ シンラ HK Bタイプ (ベンチカウOUNTER)

TOTO

SB·UB

シンラ HK シリーズ

- 組立ポイント集は、組立説明書から要点を抜粋したものです。
組立てのガイドとしてご使用ください。
手順や詳細については記載していないところがあり、組立ポイント集の内容だけでは、機能と品質が確保されません。
- 必ず、組立ポイント集の記載事項を優先し、「組立説明書」の内容に従って、正しく組み立ててください。
「組立ポイント集」および「組立説明書」に従わない方法で組み立て、それが原因で不具合が生じた場合は、保証いたしかねます。
- 本書では、イラストは主として、R(右)勝手(本体品番上ドア位置がAまたはB)を基本に記載しています。

対象タイプと組立ポイント集対応表

対象タイプ	組立ポイント集
C/D(基本仕様)	EKL61354N3
C/D +オーバーヘッドシャワー、調光調色、 床ワイパー洗浄、フルスクリーン片引戸	EKL61353N3
B	EKL61355N3
G/R	EKL61353N3

2021年8月の主な変更点

- ・コンフォートシャワーバー(手すり兼用)に変更
- ・床ワイパー洗浄用のドアセンサーを追加
- ・床色にオンブレ柄を追加

HK Bタイプ (ベンチカウンター)

2021.8版

組立ポイント集

HK

**Bタイプ
(ベンチカウンター)**



EKL61355N3

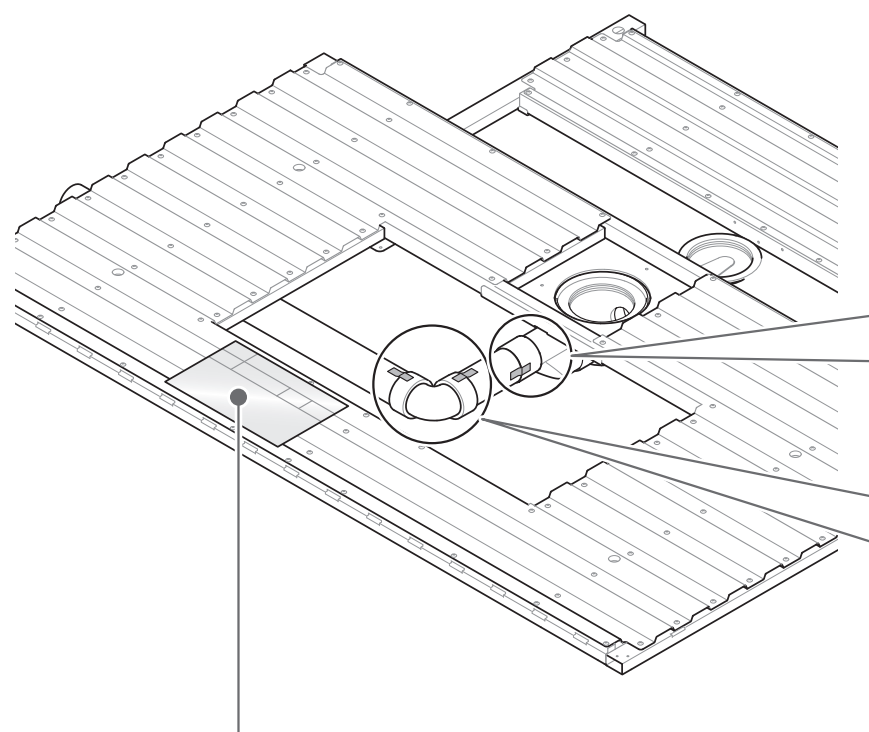
組立記録写真撮影のお願い

組立記録写真は、組立てを確実に実施した証明となります。
止水に関わる重要項目を写真撮影し、保管することをお勧めします。
・以降に、代表的な重要項目を記載しています。

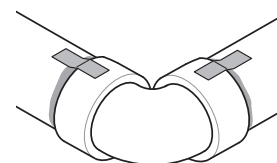
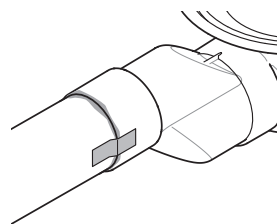
1 トラップ・排水管〈排水管を接続する場合〉

〈撮影ポイント〉

- 雑排水管が着色塩ビ管用接着剤で接着されている
- 配管接続確認シールが貼り付けられている
- 奥まで配管が入っている



着色塩ビ管用接着剤で
接着されていることがわかる



※撮影時には看板を入れてください

【撮影看板】

現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678

排水管接続

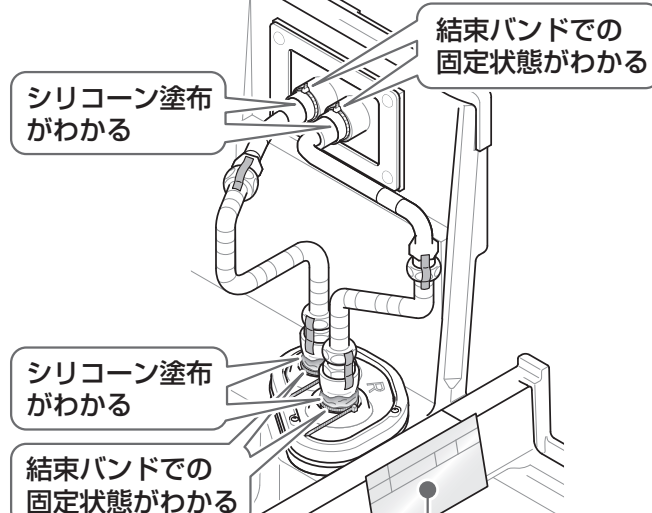
断熱防水
パン仕様

2 配管立上げ部の処理

〈撮影ポイント〉

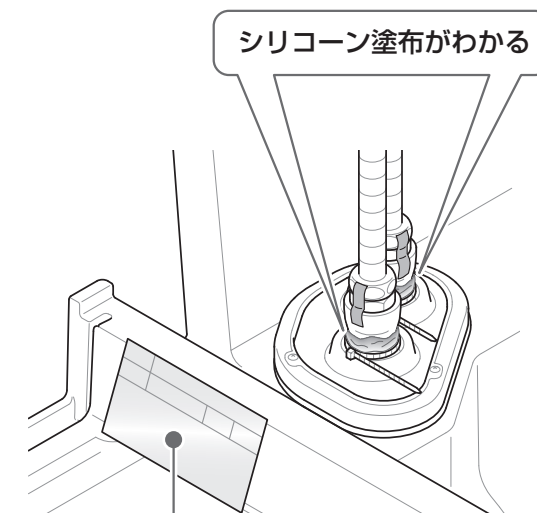
- 結束バンドで配管が固定されている
- 配管貫通パッキンの小口にシリコンが塗布されている
- 配管接続確認シールが貼り付けられている

【給水給湯】



現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678
配管立ち上げ部の処理			

【追焚き】

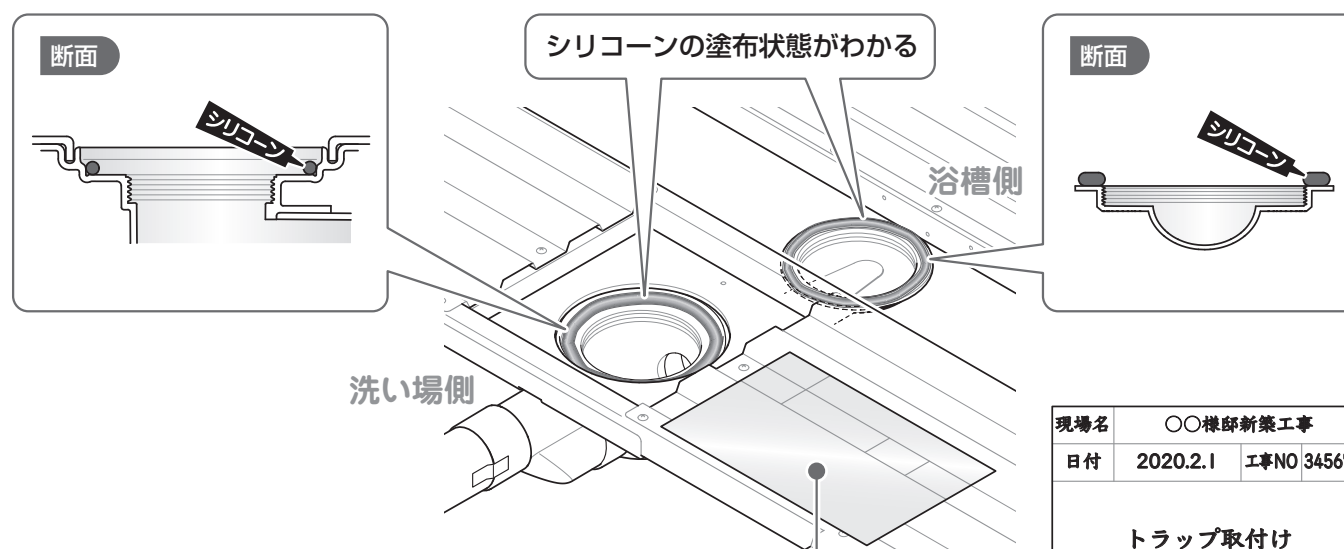


現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678
配管立ち上げ部の処理			

3 トラップ取付け

〈撮影ポイント〉

- トラップ上面にシリコンが塗布されている



現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678
トラップ取付け			

4 水張りテスト

〈撮影ポイント〉

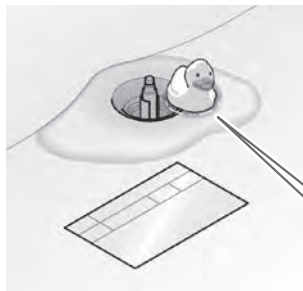
- トラップフランジ上端より高い所で水を溜めている
- ※浴槽(断熱防水パン)・洗い場ともに撮影願います

現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678

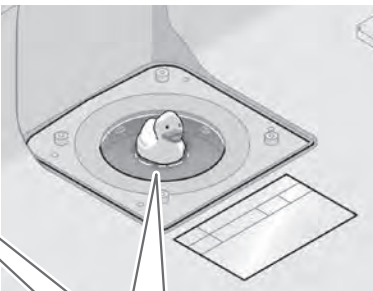
水張りテスト

【浴槽側】

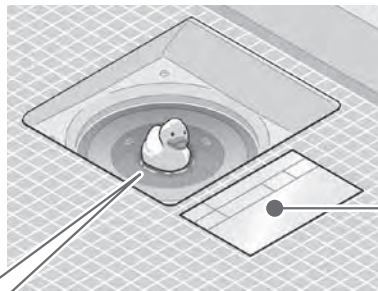
断熱防水パンなし



断熱防水パンあり



【洗い場側】



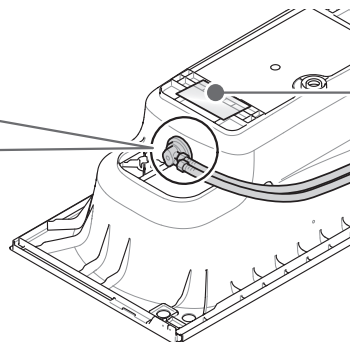
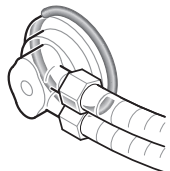
水を張った状態がわかるように物を浮かす

追焚き
あり

5 追焚アダプター取付け

〈撮影ポイント〉

- 追焚アダプター全周へのシリコン塗布がわかる

全周へのシリコン
塗布状態がわかる

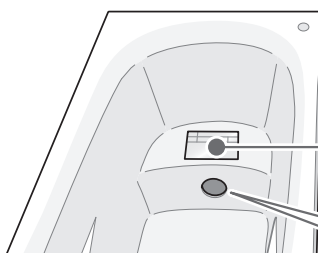
現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678

追焚アダプター取付け

追焚アダプター取付けなし(穴加工のみ)の場合

〈撮影ポイント〉

- 追焚アダプターを取り付けていないことがわかる
- ※組立て後の組立区分を明確にするため



現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678

追焚アダプター取付けなし

穴加工のみ

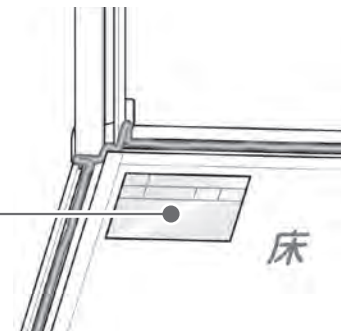
6 壁

〈撮影ポイント〉

- コーナー2次ジョイナー、2次ジョイナーが取り付けられている
- 床パンのドアのせ部、壁のせ面の所定位置に1次シリコンが連続して打たれている
- ※コーナー・平部ともに撮影願います

現場名	〇〇様邸新築工事		
日付	2020.2.1	工事NO	345678

床シリコン塗布

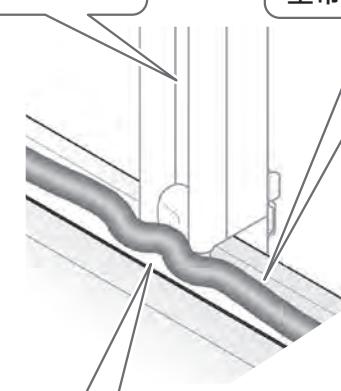


【コーナー部】

コーナー2次ジョイナー
取付けがわかるシリコンの
塗布状態がわかる

ピア横用

【平部】

2次ジョイナーの
取付けがわかるシリコンの
塗布状態がわかる

パテの前は塗布がつながっていることがわかる

MEMO

安全上のご注意

組立ての前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく組み立ててください。

- ◎組立て完了後、試運転および各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・水漏れなどの安全上の不具合が無いことを確かめてください。
- ◎本体や水栓金具その他機器に同梱されている取扱説明書は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失や汚れのないように大切に保管し、組立て完了後、必ず使用者または建築工事責任者にお渡しください。

◎表示内容を見逃して誤った組立てをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

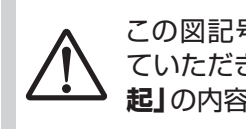


警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意 この表示の欄は「傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

◎お守りしていただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この図記号は、気を付けていただきたい「**注意喚起**」の内容です。



この図記号は、必ず実行していただく「**強制**」の内容です。



この図記号は、必ずアース線を接続していただく「**強制**」の内容です。



警告



配線工事は、関連する法令や規定に従って、必ず「有資格者」が行う

- 不完全な接続や固定は、火災や漏電の原因

本体に組み込まれる水栓や電気機器などの付帯設備は、それぞれに添付されている組立説明書および製品本体の注意表示を守り、正しく設置する

- 誤った設置は、思わぬ事故や故障の原因

電気機器取付けの際は、必ず非通電状態で電源処理を行う

- 思わぬ事故や故障の原因

電源コード先端の棒端子はコネクター（市販品）に確実に差し込み、VVFコードと接続する

- 不確実な接続は、端子の過熱による火災の原因

 アース取付けが必要な電気機器は、必ずアース線の接続工事を行う

- 不完全なアース線の接続は、火災や漏電の原因



注意



換気扇、鏡、インテリアバーなどの付属品は、指定位置に確実に取り付ける

- 使用中に落下したり外れたりして、ケガをするおそれ

組立てに使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使用する

- 誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因

給水・給湯配管は、取付け前に必ず管内を清掃する

- ごみ、砂などの混入は、水漏れや吐水不良の原因

給水・給湯管および排水管は、添付されている組立説明書どおり確実に組み立てる

- 誤った組立ては、水漏れの原因

目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行う

- 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをするおそれ

必ず調圧弁を取り付ける（クリックシャワーの場合）

- 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれ

ボ B
HK

床

浴槽

ジョイナー

壁

浴槽まわり

ドア枠

天井

検査 中間

水栓・カウンター

器具

ドア

仕上げ

機器類の
引継ぎ

注意

凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部に断熱（保温）材を巻く
また、寒冷地用の場合は、「寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施する

- 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれ

H2300壁パネルの運搬、設置、組立ては、2人作業で行う

- 最大35kgと重いため、1人で作業するとけがをするおそれ

作業上の注意事項



警告



■作業開始前

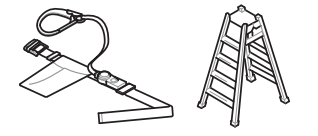
- ・道工具および電源コードの破損等を確認する
- ・保護手袋、ヘルメット、安全メガネ、長袖等の保護具を着用する





■階上設置作業

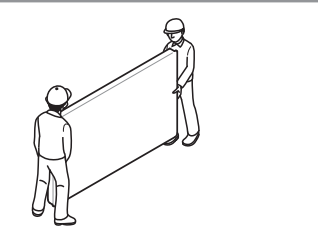
- ・安全帯を使用する
- ・可能な場合は、脚立等にて階下から作業する
- ・作業場の開口部に注意する





■その他

- ・部材運搬時は、付近の人や相方へ声を掛ける
- ・重量物の運搬、設置、組立ては、2人作業で行う
- ・脚立作業は2人で行い、1人が補助をする
- ・常に整理整頓をする



工具

インパクトドライバー使用禁止

ねじ山や部材の破損防止

MEMO

6

7

もくじ

A1-I. 汎用吊架台	9
A1-II. 2×4階上吊架台	10
A2. 床	13
B. 浴槽	23
C. ジョイナー	26
D. 壁	29
E. 浴槽まわり	34
F1. ドア枠(折戸／開き戸)	35
F2. ドア枠(片／2枚／3枚引戸)	36
F3. ドア枠(折戸／開き戸／ 片／2枚／3枚引戸)	38

G. 天井	39
I. 中間検査	45
J6. コンフォートベンチ	46
K. 器具	66
L. ドア	69
P. 仕上げ	71
機器類の引継ぎ	77

Q. 水栓の確認と調節
S. 清掃・自主検査
T. 機器の電気工事と試運転
※内容は組立説明書参照

A1-I. 汎用吊架台

吊架台の場合、
フレーム上に脚をのせる

1 仮固定

※階下からの仮固定や架台の転倒防止が必要な場合に実施

皿木ねじ+4.1×50
×4 (架台フレーム付属)

架台横方向の位置ずれ防止

φ3 下穴(すべて)

両面テープ付き
ライナー8枚入り(厚さ1mm)

※貼り付け
イメージ

テープ付きライナーで、すき間をうめる

2 吊架台本固定

1717/1616

丸木ねじ4.5×50
×8 EKL11067N1

φ3 下穴(すべて)

洗い場側

浴槽側

向きに注意

長 短

浴槽側 洗い場側

1620

丸木ねじ4.5×50
×20 EKL11067N1

φ3 下穴(すべて)

洗い場側

浴槽側

1624

丸木ねじ4.5×50
×24 EKL11067N1

φ3 下穴(すべて)

洗い場側

浴槽側

1717のみ 支持ボルト取替え

【 洗い場側 】

六角ボルト
(M16×120)
EKL752

外す

仮調整

86mm

【 浴槽側 】

六角ボルト
(M16×120)
EKL752

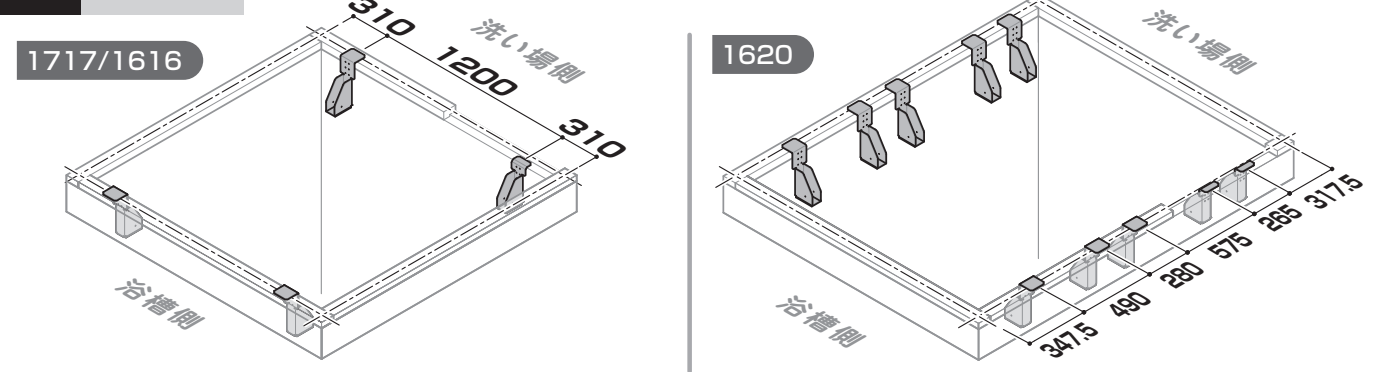
外す

仮調整

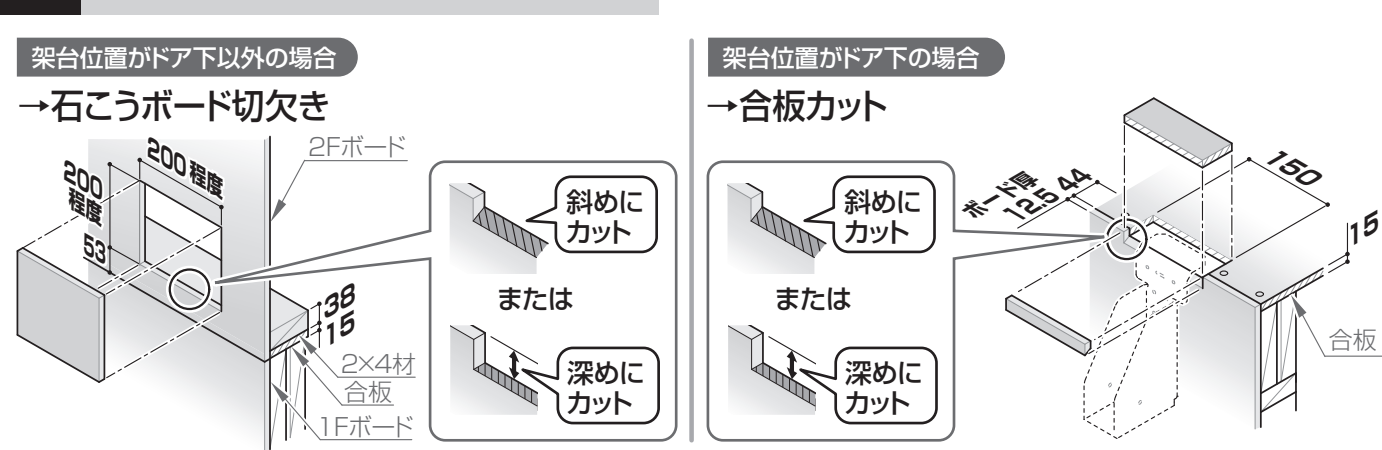
86mm

A1-II. 2×4階上吊架台

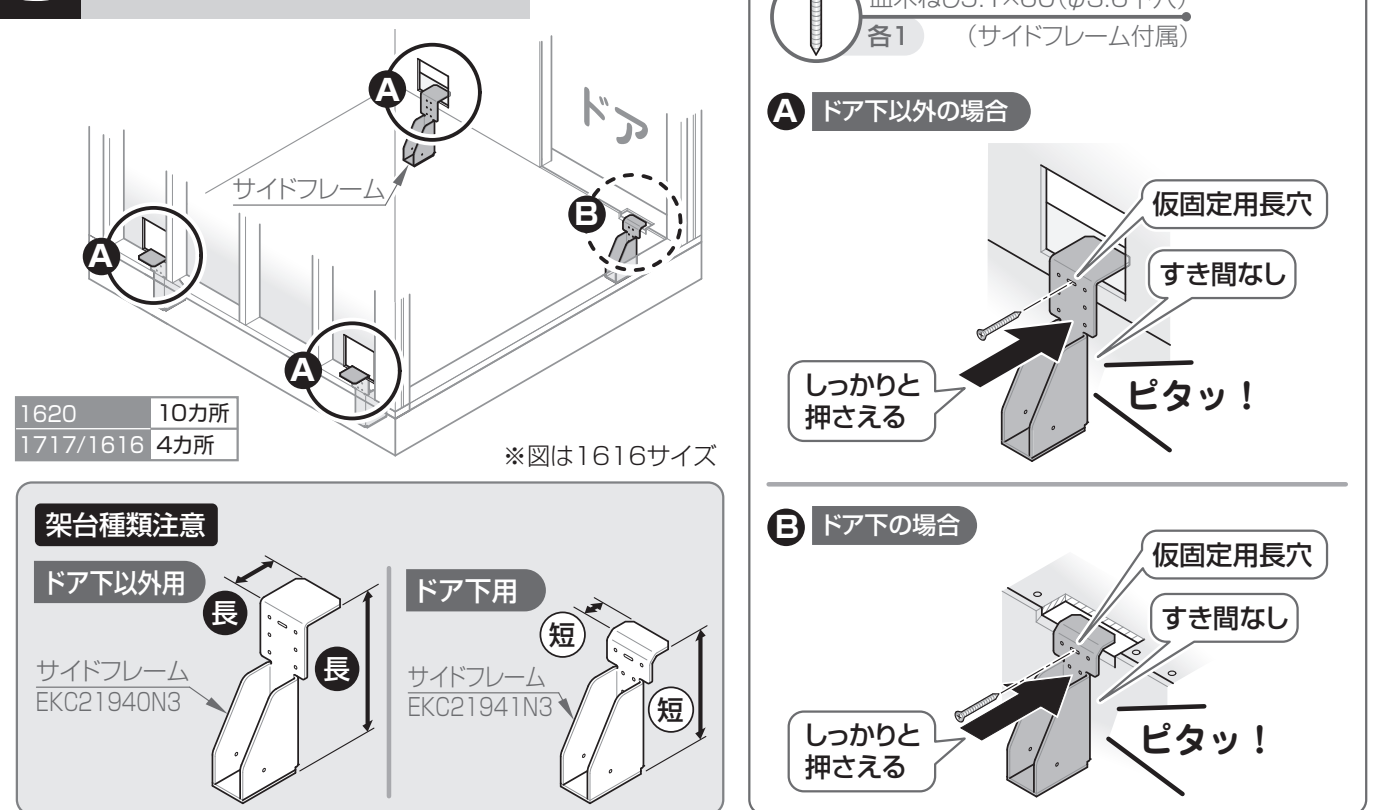
1 墨出し



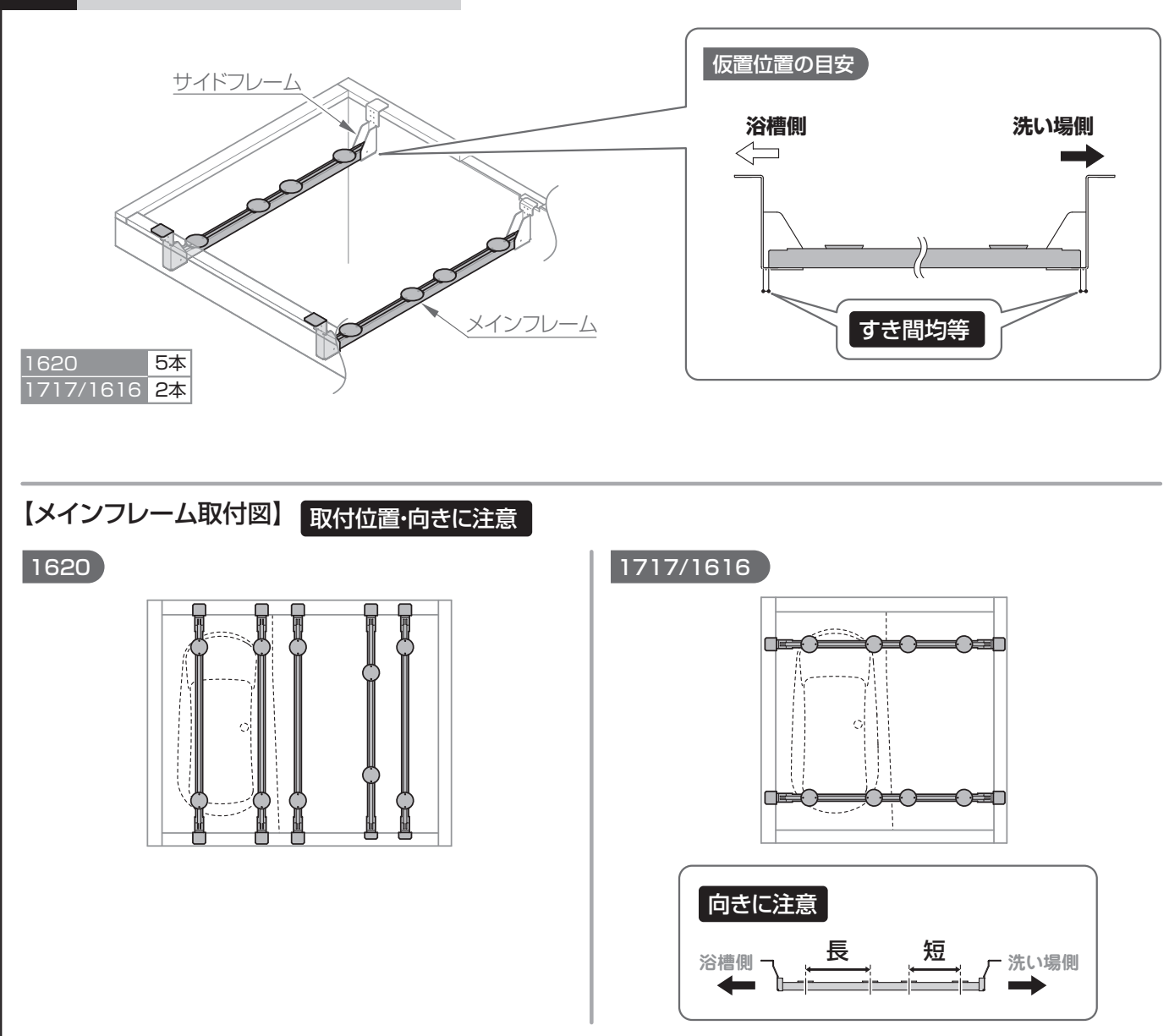
2 サイドフレーム取付け前準備



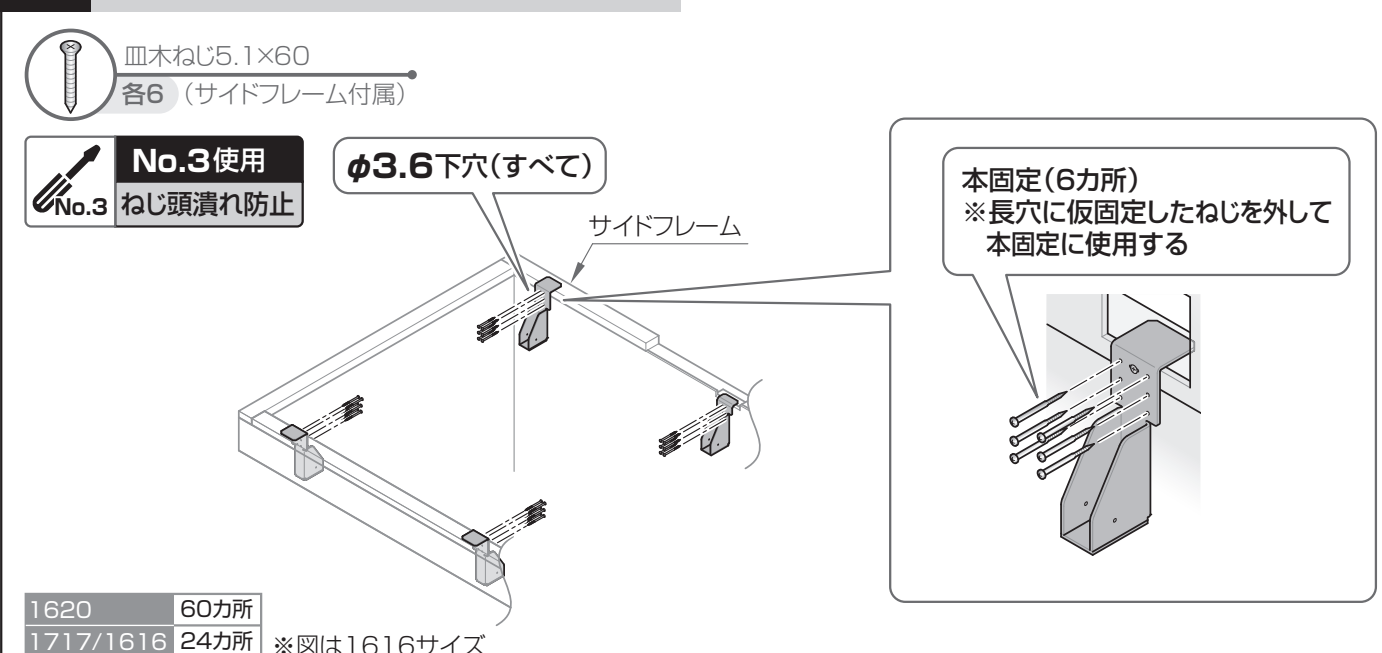
3 サイドフレーム仮固定



4 メインフレーム仮置き



5 サイド・メインフレーム本固定

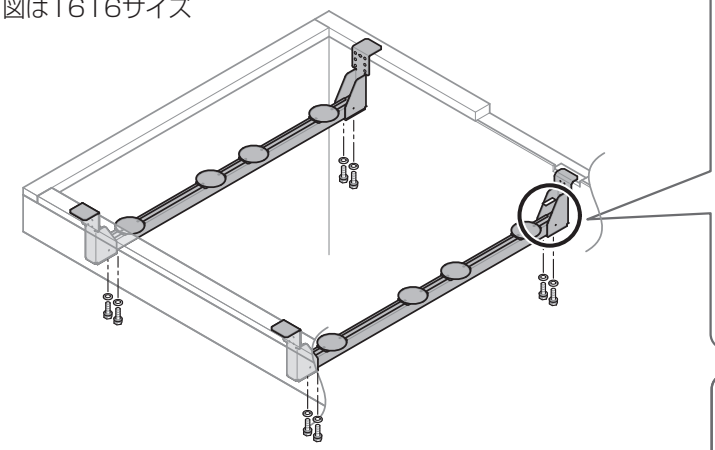


6 サイド・メインフレーム連結

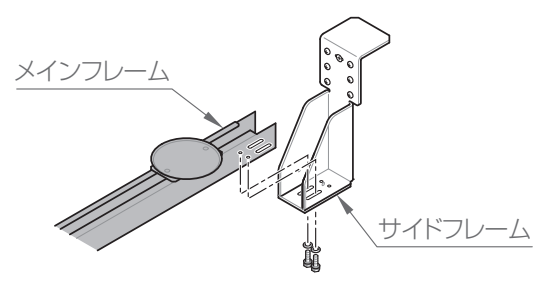
ばね座金組込みM6六角小ねじ
すべて (メインフレーム付属)

1620	20カ所
1717/1616	8カ所

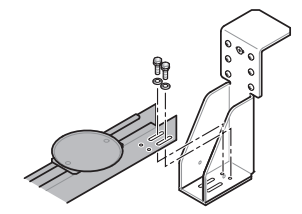
※図は1616サイズ



【下側から固定の場合】
階下から固定する時に使用



【上側から固定の場合】

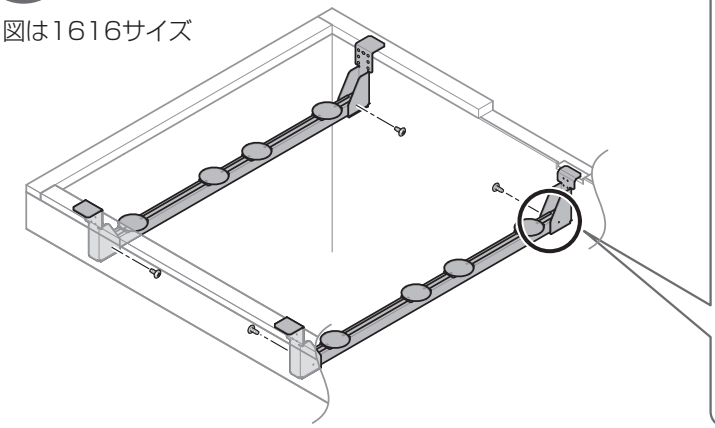


ねじは長穴側から差し込むこと
組立て間違い防止

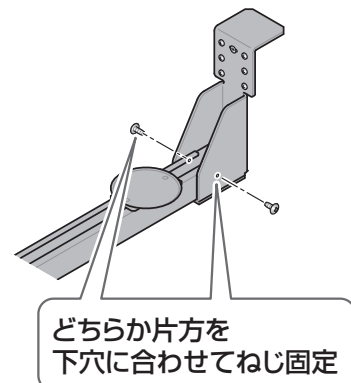
トラスタッピンねじ5×15(2種)
すべて (メインフレーム付属)

1620	10カ所
1717/1616	4カ所

※図は1616サイズ

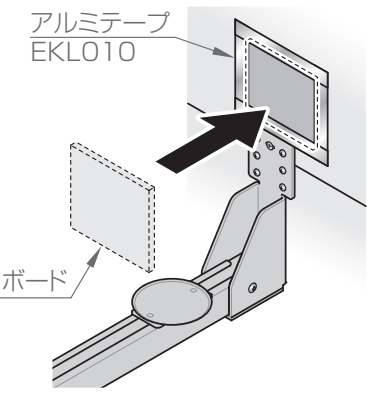


【横から固定】

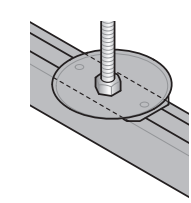


7 石こうボード埋戻し

1620	10カ所
1717/1616	4カ所

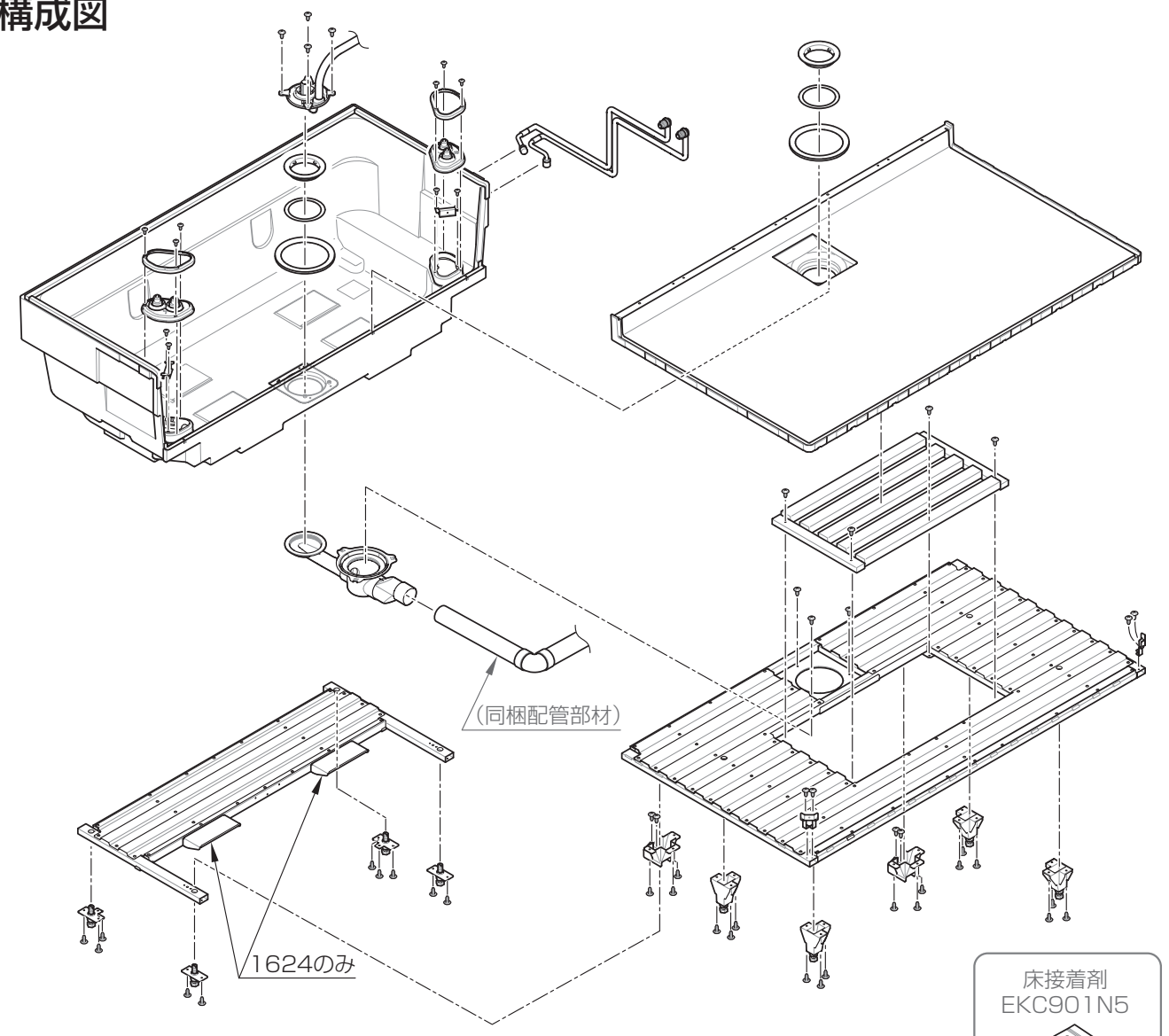


吊架台の場合、フレーム上に脚をのせる



A2. 床

床構成図



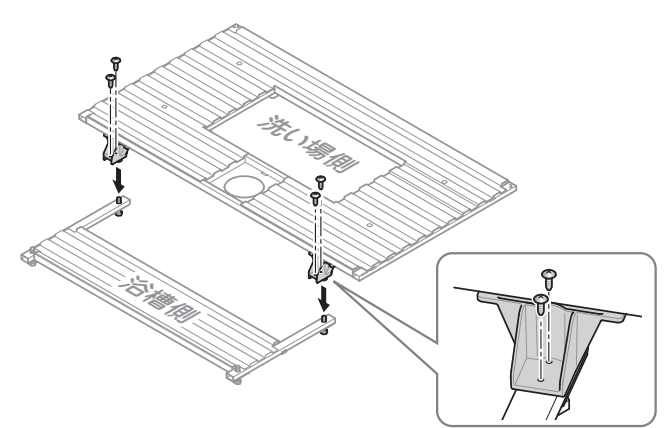
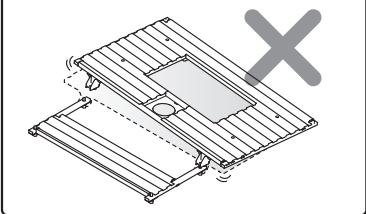
※この構成図は一例

1 床脚取付け

2 受け板接続

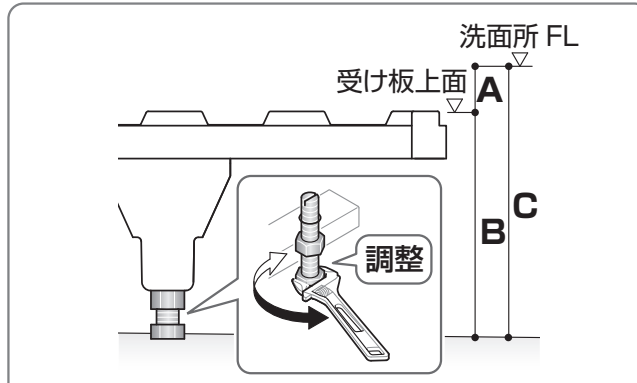
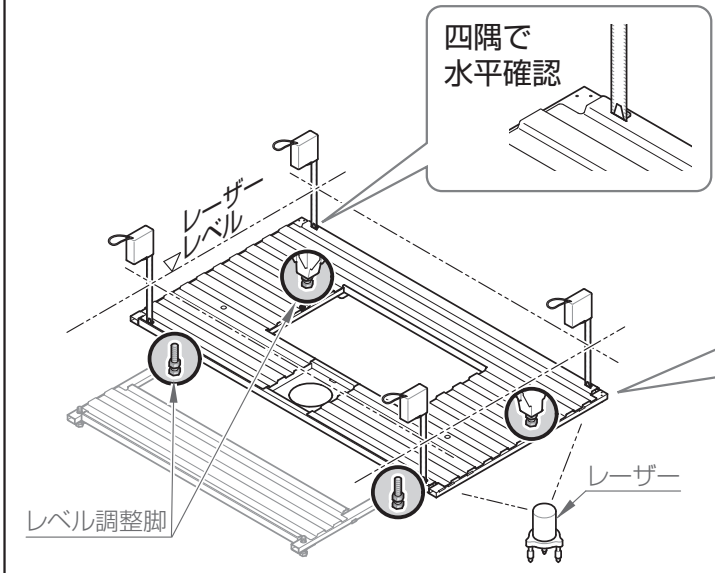
トラスタッピンねじ5×12
×4 EKL10017

洗い場側を置いたらすぐ連結
連結前は転倒のおそれあり



3 受け板レベル調整・固定

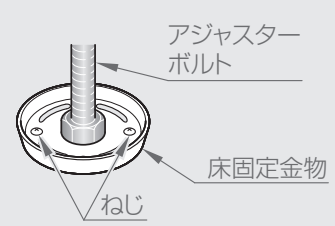
① 洗い場側レベル調整



ドア種類	折戸/開き戸		片/2枚/3枚引戸		フルスクリーン片引戸	
	A=35		A=43		A=38	
設置高さ	B	C	B	C	B	C
H197	162	197	162	205	162	200
H227	192	227	192	235	192	230
H242	207	242	207	250	207	245
H250	215	250	215	258	215	253
H350	315	350	315	358	315	353
H450	415	450	415	458	415	453
H550	515	550	515	558	515	553

※本書では、フルスクリーン片引戸の組立てはなし

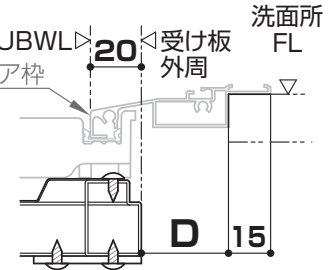
床固定金物の場合



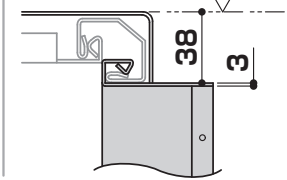
【ドア枠設置状態】

縦断面

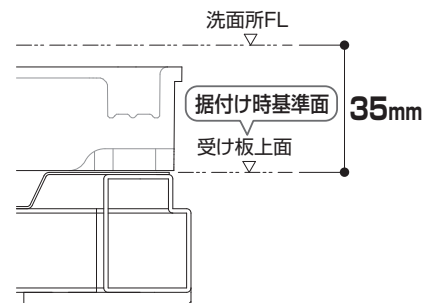
ドア種類	D
折戸/開き戸	30
片/3枚引戸/ 2枚引戸	75 100



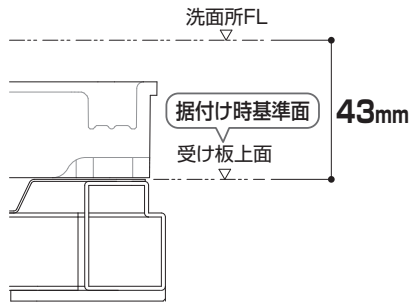
横断面



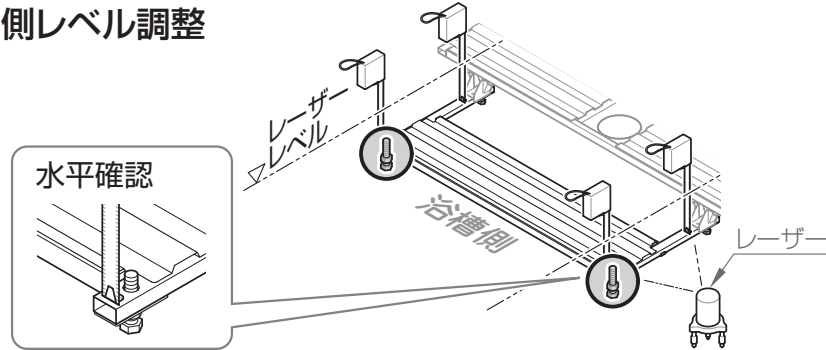
折戸/開き戸



片/2枚/3枚引戸



② 浴槽側レベル調整



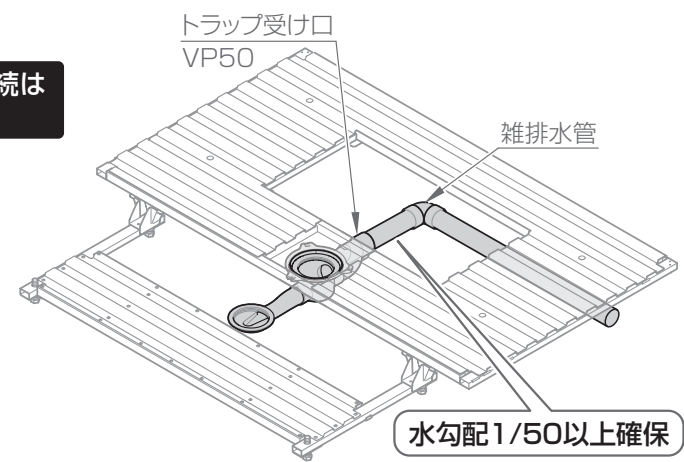
③ 全脚設置確認後、ロックナット固定

4 ルビロン固定

5 排水トラップ取付け

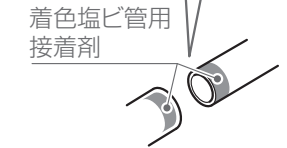
6 雑排水管接続

システムバスの排水部材以降の接続は設備工事をお願いします。

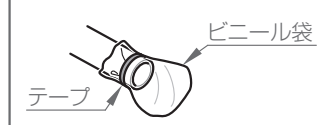


・着色塩ビ管用接着剤 (エスロン相当) 全周塗布
・異種・新旧混合不可
水漏れ防止

接着時、30秒以上保持



組立完了までに設備工事をしない場合



先端にビニール袋取付け
設備工事での接続忘れによる水漏れ防止

7 床作業口蓋取付け

8 洗い場側コーナージョイナー取付材取付け

9 断熱防水パン取付け前準備

楽湯

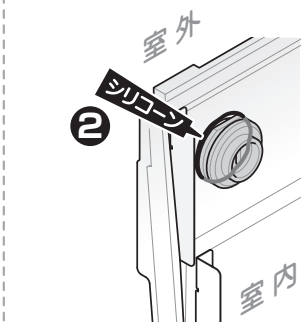
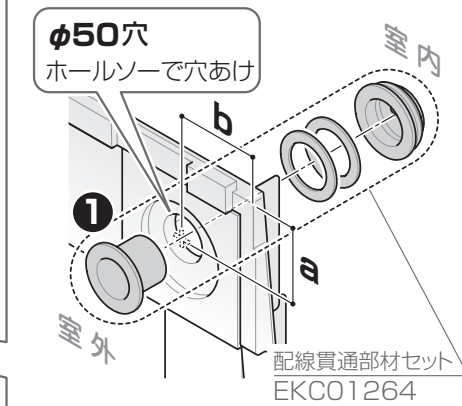
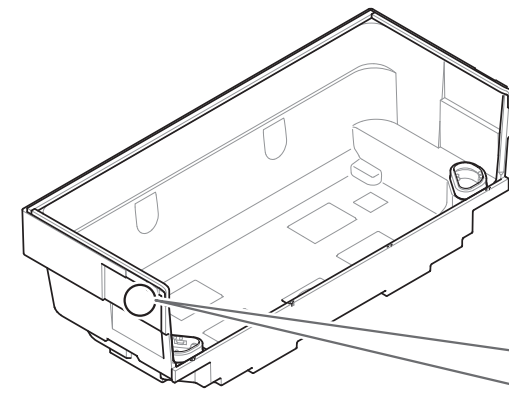
① 配線貫通部材取付け

※浴槽背側に加工する

おそうじ浴槽付きの場合は位置変更あり、加工詳細は専用説明書参照

けがき位置	a	b
1717 用	80	130
上記以外	100	100

全周シリコン塗布
水漏れ防止

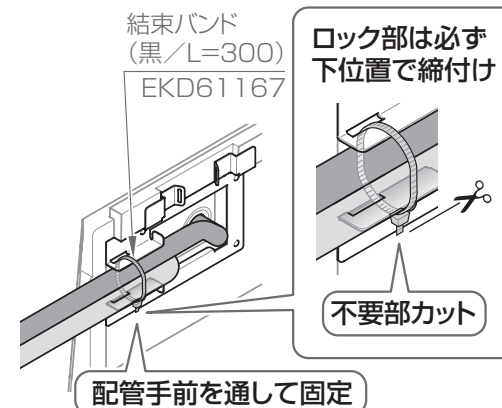
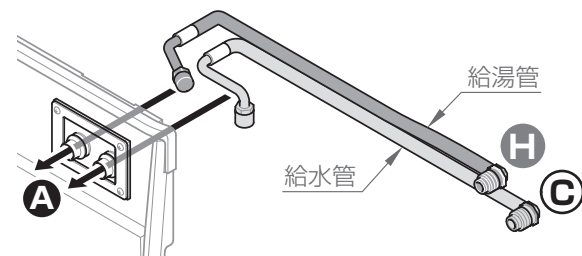


② 壁裏配管取付け

断熱防水パン取付け前に必ず行う

※図はR勝手

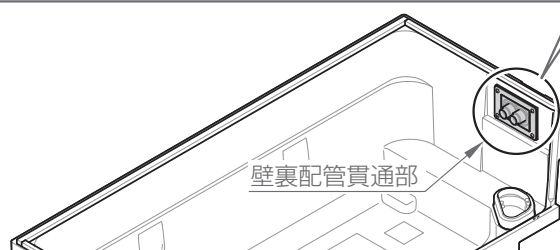
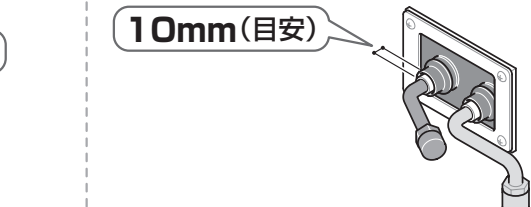
(1) 配管通し、バンド固定



A パッキン・シール材破損注意



10mm(目安)



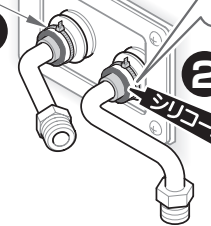
(2) バンド仮固定【断熱防水パン内側】

配管バンド締付け位置注意

※バンド不要部はカットする

結束バンド(黒/L=300)
断熱防水パン外側の
結束バンドと同じ
(EKD632N1)

1



シール材とパッキンの間

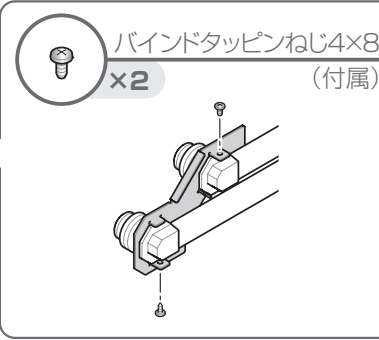
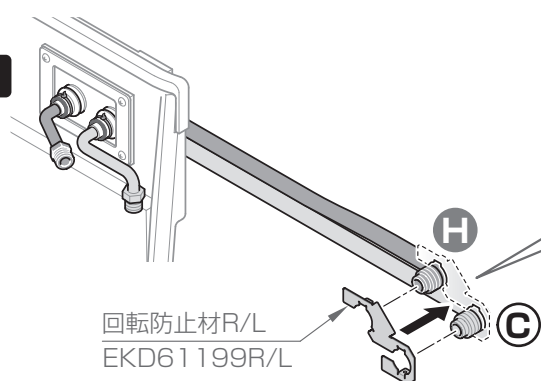
2

全周シリコン塗布
水漏れ防止

シリコン

(3) 回転防止材取付け

表裏、上下方向に注意



③ 床ワイパー洗浄専用裏配管取付け (本書では、この組立てはなし)

④ U字パッキン取付け

10 断熱防水パン取付け

11 洗い場側床取付け

12 断熱防水パン固定

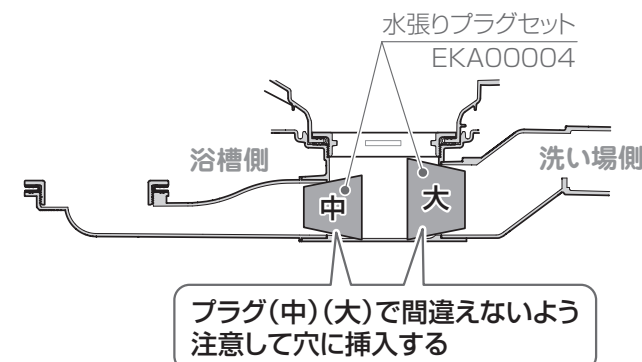
ストレート浴槽
(ステップあり)

13 底面補強板貼付け

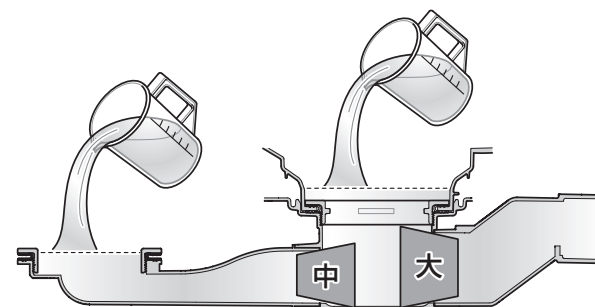
14 水張りテスト

全ての接続部分を確認すること

① プラグでトラップの各穴をふさぐ

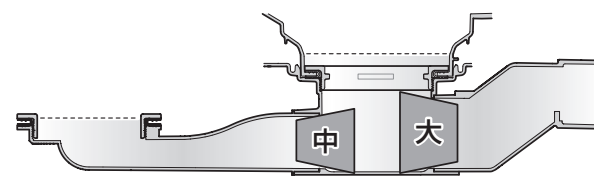


② フランジ上面まで水を溜める



③ 30分以上放置し、水漏れがないか確認

※床下がのぞけない場合は、水位の低下を確認する



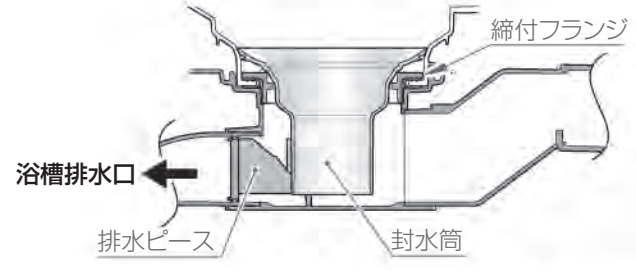
少量でも水漏れがある場合

フランジの締付けをやり直し、再度水張りテストを実施

④ 水張りテスト後、排水ピース、封水筒、ヘアキャッチャーを取り付ける



■トラップセット図



水張りテスト後は水を残す
臭気流入防止・ガス流入による金属腐食防止

※ただし、凍結のおそれがあり、引渡し期間が長い場合は水を抜くこと

15 排水弁プレートユニット取付け

16 配管貫通パッキン取付け

17 配管接続

おそうじ浴槽付きは専用説明書参照

ワンブッシュ排水栓のガイドホースが給水給湯管の近くを通る場合
ガイドホース取付け時、ガイドホースと給水給湯管との接触部に給水給湯管シーラ材を巻き付ける
(P.34「ワンブッシュ排水栓取付け」で実施)



Bタイプ：ベンチカウンター 床ワイパー洗浄あり

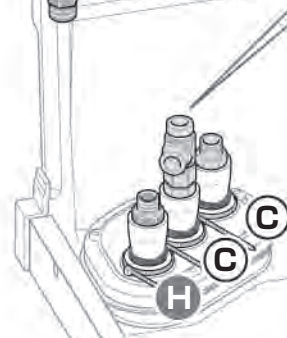
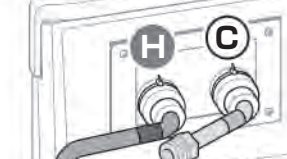
浴槽付バス水栓なし

① ティーズ取付け

R勝手



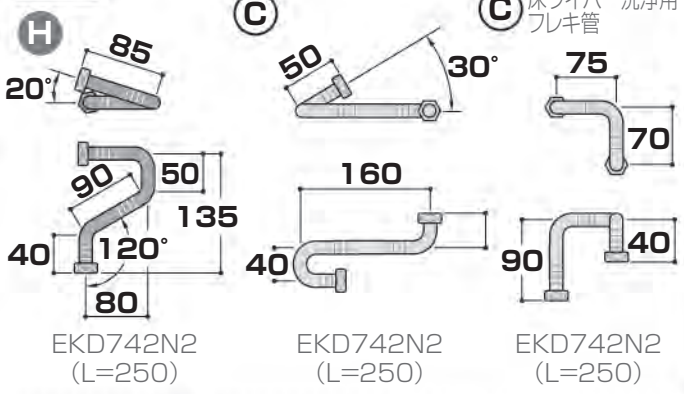
L勝手



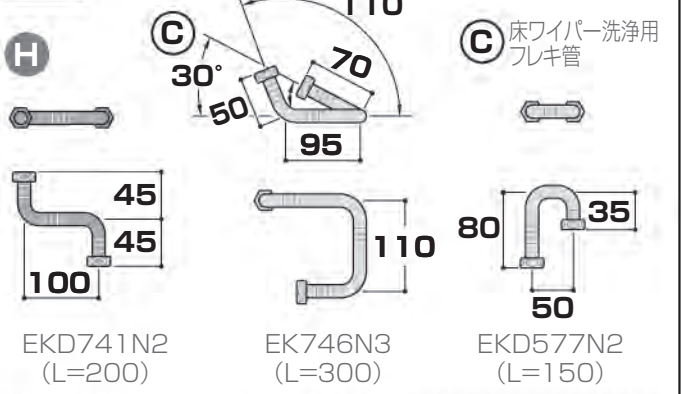
② 配管接続

(1) 配管曲げ

R勝手



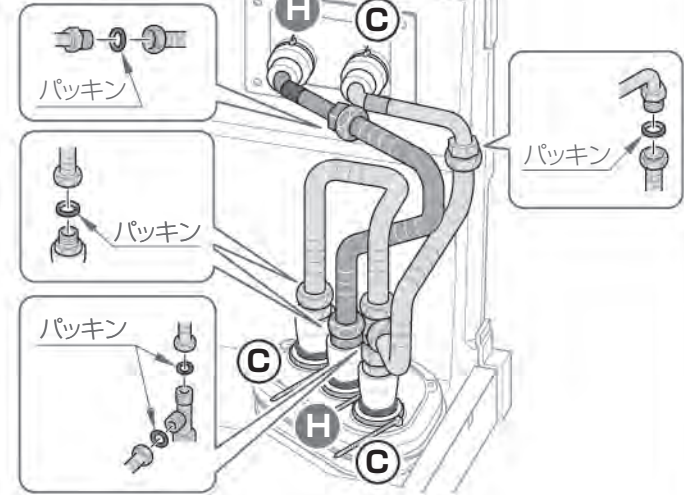
L勝手



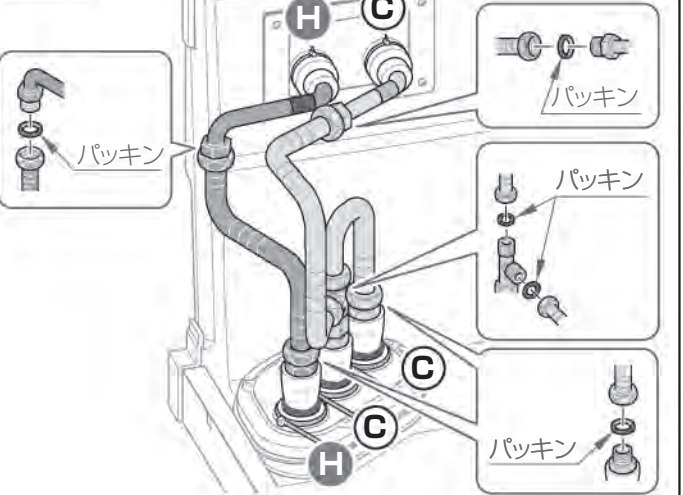
(2) 配管接続 配管接続チェック

接触のおそれのある場合は、給水給湯管シーラ材を巻き付ける。音鳴り防止

R勝手



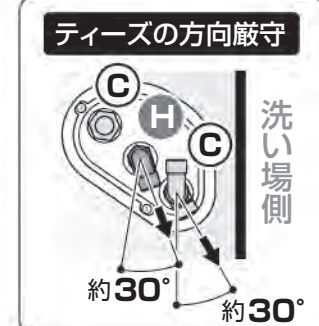
L勝手



浴槽付バス水栓あり

① ティーズ、エルボ取付け

R勝手

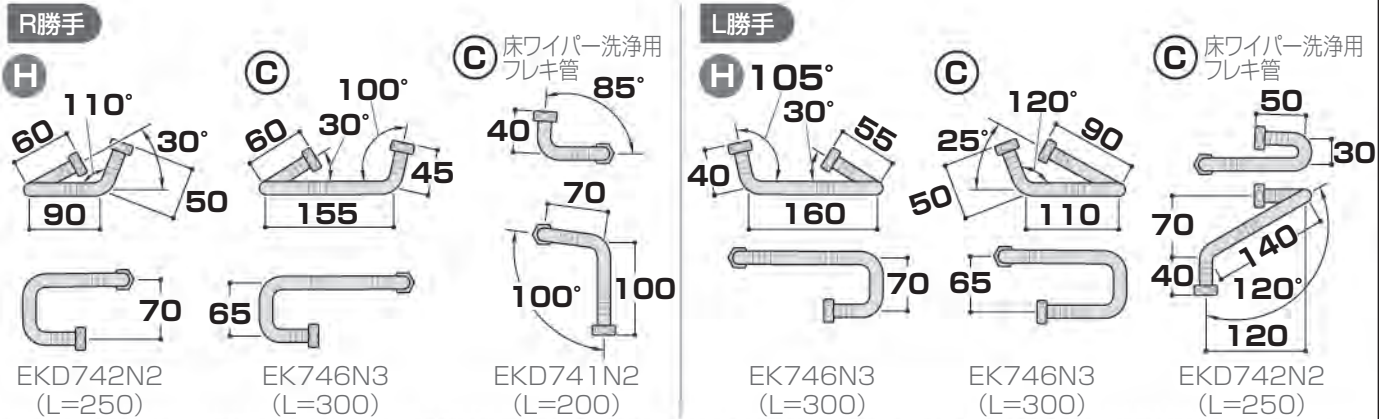


L勝手



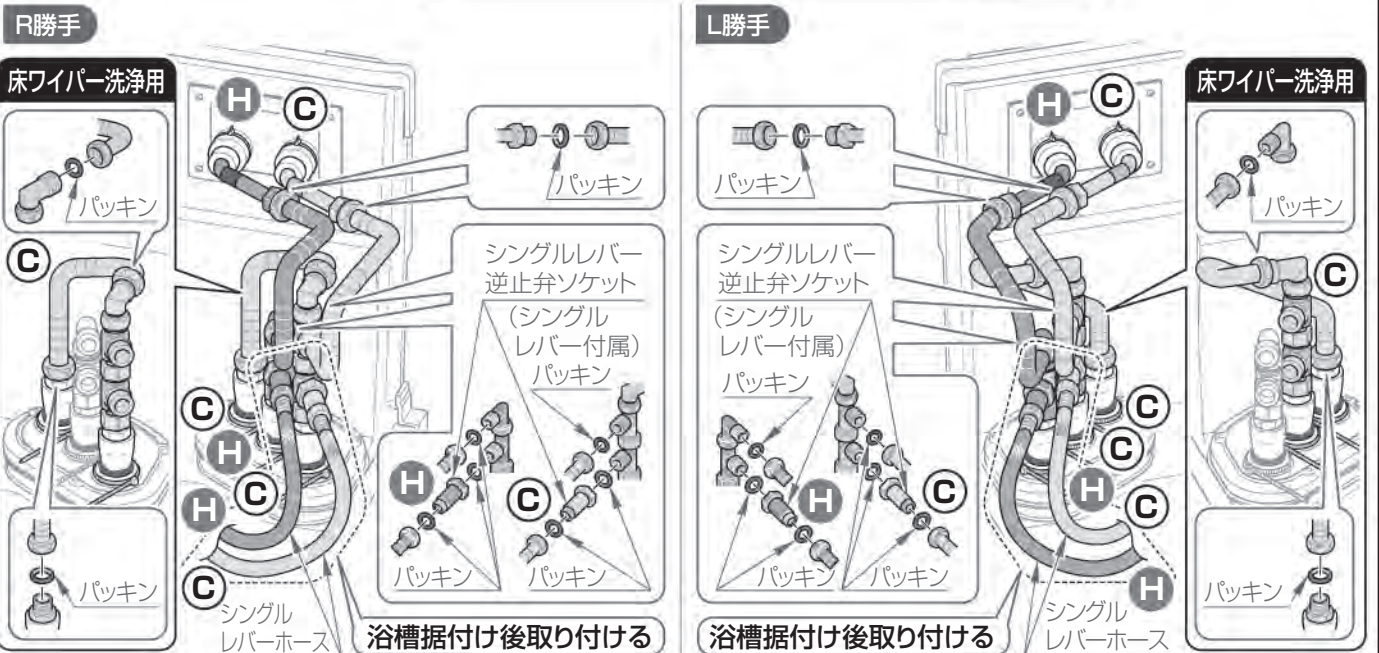
② 配管接続

(1) 配管曲げ



(2) 配管接続 配管接続チェック

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける。音鳴り防止



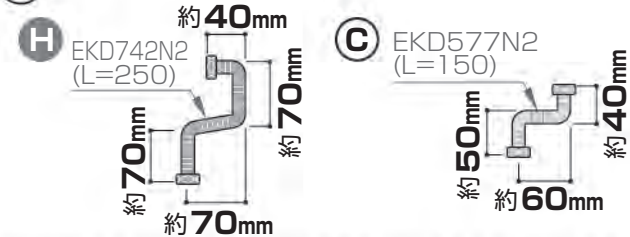
MEMO

全タイプ共通 床ワイパー洗浄なし

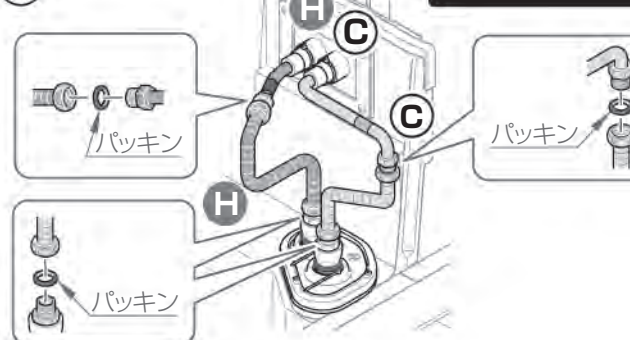
壁付バス水栓あり/なし共通

R勝手

① 配管曲げ



② 配管接続

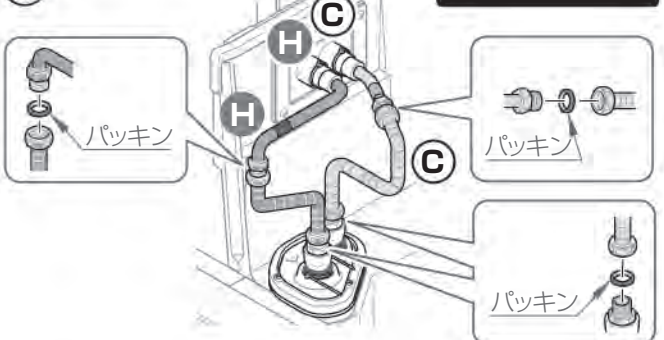


L勝手

① 配管曲げ



② 配管接続



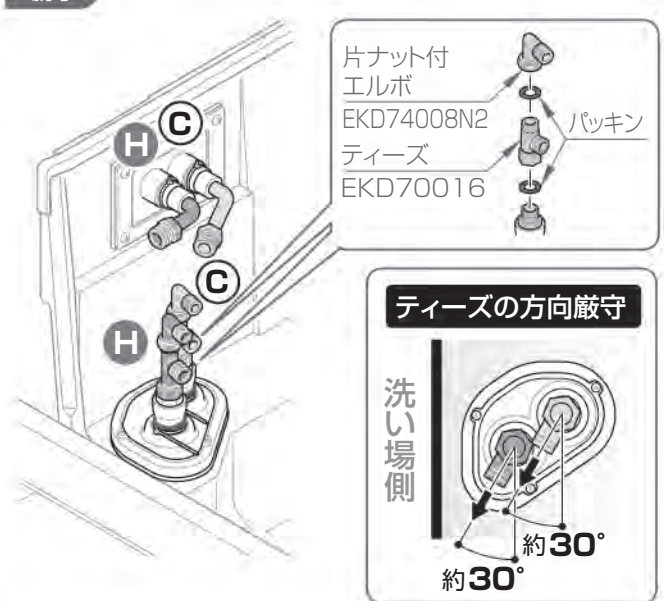
浴槽付バス水栓あり

① ティーズ、エルボ取付け

R勝手



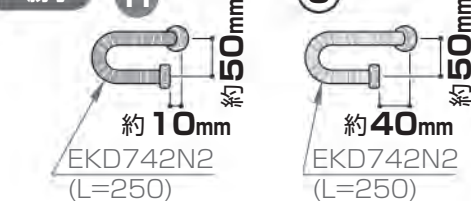
L勝手



② 配管接続

(1) 配管曲げ

R勝手



取付け時、現物に合わせて
配管の曲げを調整する

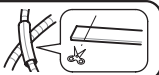
L勝手



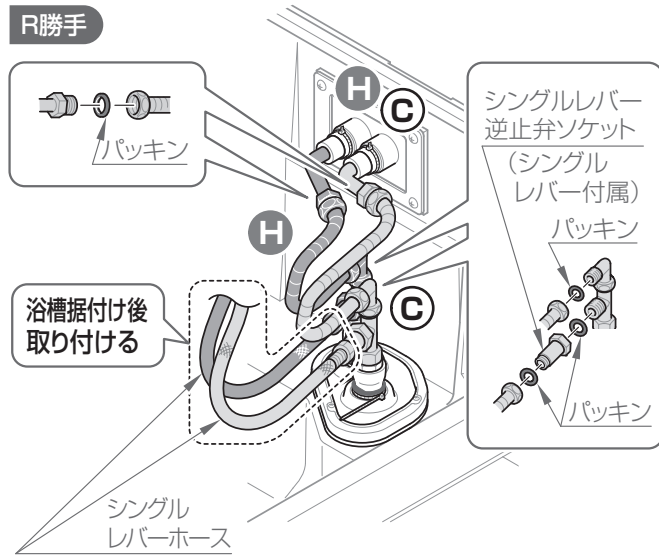
(2)配管接続 配管接続チェック

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける。

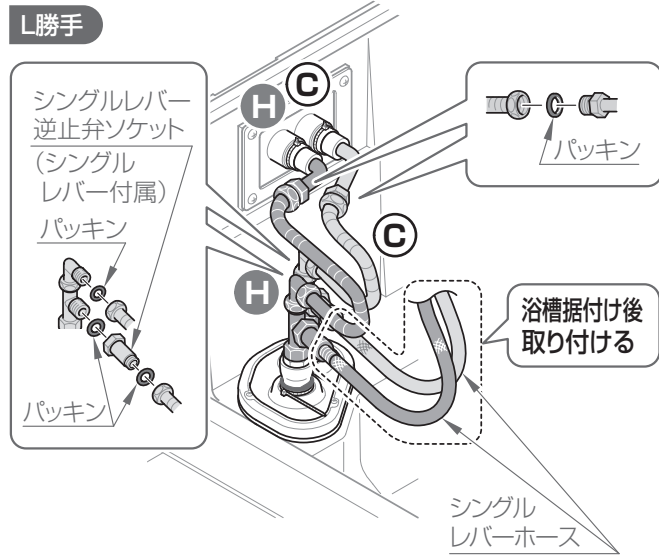
音鳴り防止



R勝手



L勝手



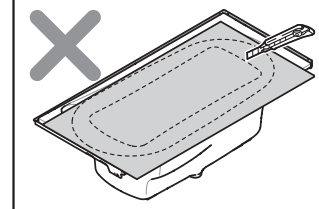
MEMO

B. 浴槽

1 養生

ゴミ進入防止

① 浴槽養生フィルムの外周をはがす

ダンボール
(浴槽の梱包材)② キリトリ線に合わせて
カットする浴槽上でカット禁止
キズ防止③ 折り曲げ線に
合わせて折る

④ テープを貼る 太線部

太いマスキング
テープ貼付け

【分割部】

コーキング作業の際
取り外す

【浴槽頂点】

【底面排水口部】

排水栓

⑤ 内面にポリエチフィルム (同梱) を貼る

2 浴槽据付け前準備

追焚循環アダプター、シングルレバー水栓、ハンドル水栓 (スーパーワイド浴槽)

楽湯

① ポンプ架台取付け

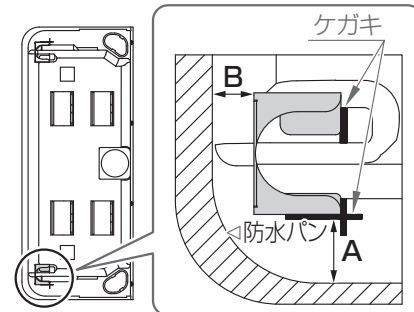
断熱防水パンのゴミや汚れをふき取ってから取り付ける

① 下記寸法にポンプ架台を取り付ける

※図はR勝手、L勝手は逆形状

※測定は、架台の天面で計る

浴槽サイズ1650/1600とスーパーワイド浴槽

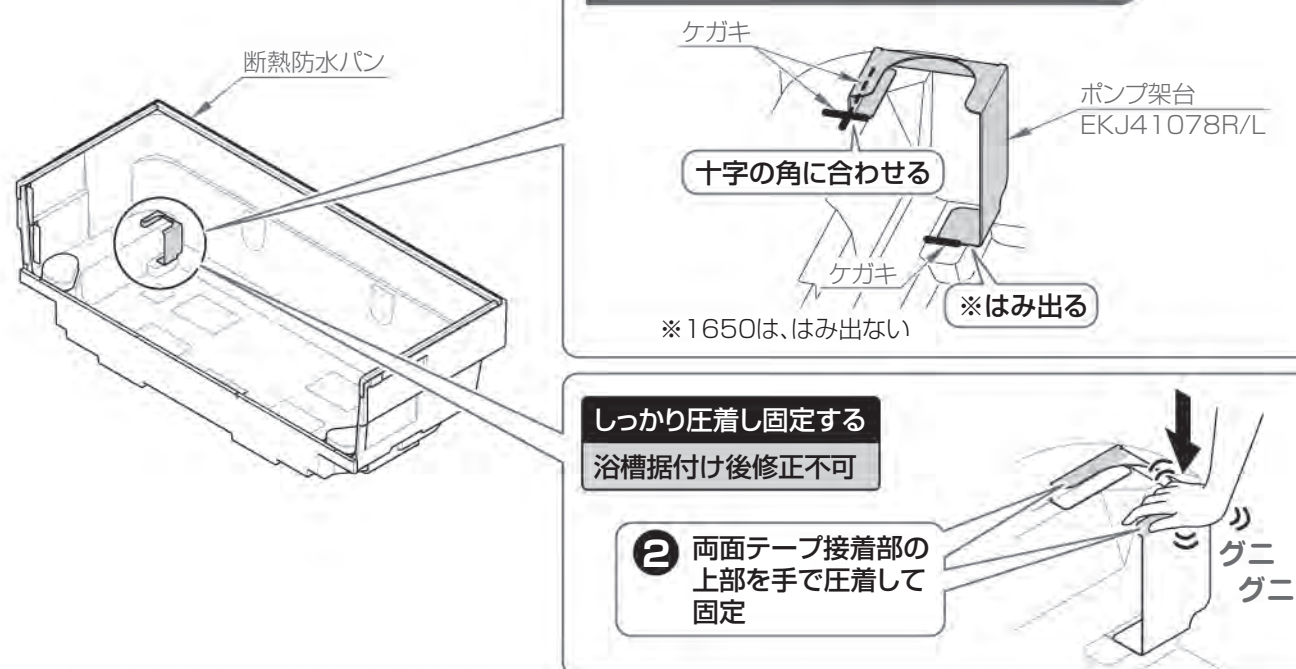


浴槽サイズ	A(mm)	B(mm)
スーパーワイド	46-51	341-346
1650/1600	63-68	34-39

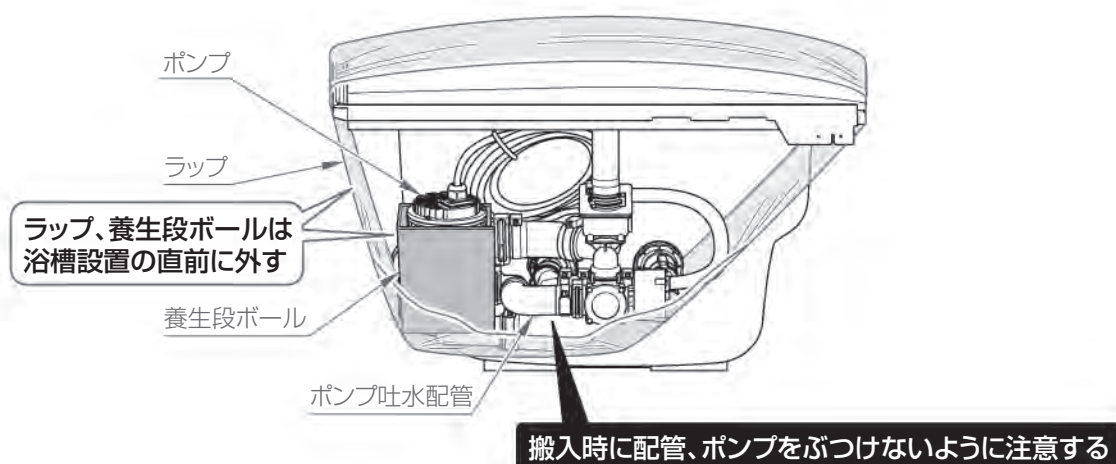
【取付状態図】(上下のケガキ線に合わせて貼り付けても可)

※図はR勝手、L勝手は逆形状

浴槽サイズ1650/1600とスーパーワイド浴槽

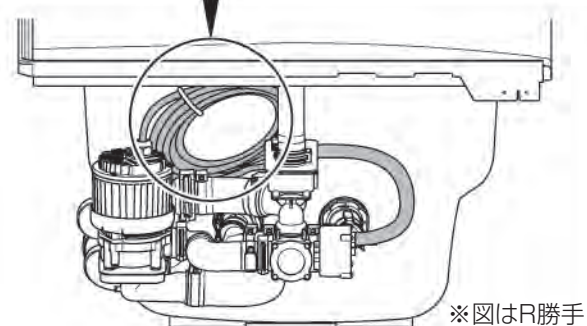


② ラップ、養生段ボール取外し



③ 配線まとめ

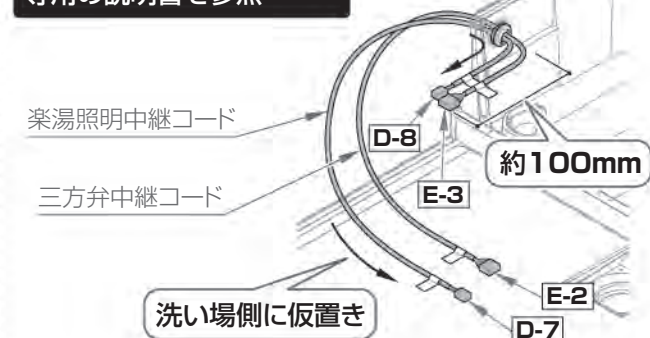
- ・床に配線が垂れないようにする
- ・浴槽を立てて運ぶ際は、配線をテープ等で仮固定する



④ 中継コードの引込み

【三方弁中継コード/楽湯照明中継コード(調光調色照明の場合)】

おそうじ浴槽付きの場合は専用の説明書を参照



3 浴槽据付け

搬入時ポンプをぶつけないように注意

① 排水口保護キャップ取外し

② 浴槽捨て脚取外し

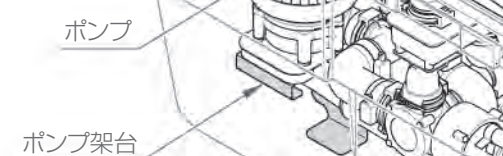
③ 浴槽据付け

排水口を狙ってゆっくり下ろす

目視確認

ガイドホースを
床上に逃すガイドホースの折れ、
挟まりがないことガイド
ホース

楽湯あり

ポンプがポンプ架台に
載っている(垂直になって
いる)ことを確認

スーパーワイド浴槽は支持脚調整不要

排水弁プレートユニットの
浴槽排水フランジ締付治具取外し厳禁
アタッチメント破損防止

4 着地確認

6 転倒防止材取付け(水栓側)

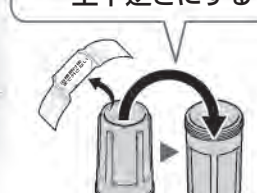
5 ジョイナー組立て前準備

7 転倒防止材取付け(ドア側)

8 排水フランジ固定

① 浴槽排水フランジ締付治具を取り外す

浴槽排水フランジ締付治具

② ラベルをはがし、
上下逆さにする

② 排水フランジを締める

ねじ部が上

必ず締め付ける

位置ずれ、作動不良防止

「手で」止まる
まで締め込む浴槽排水フランジ
締付治具排水フランジ
EKA40037(ワンタッチ用)
EKA40038(ゴム栓用)

アタッチメント

③ アタッチメント
破損確認④ 『開』状態で
排水栓取付け

⑤ 排水栓『閉』状態

9 追焚配管接続

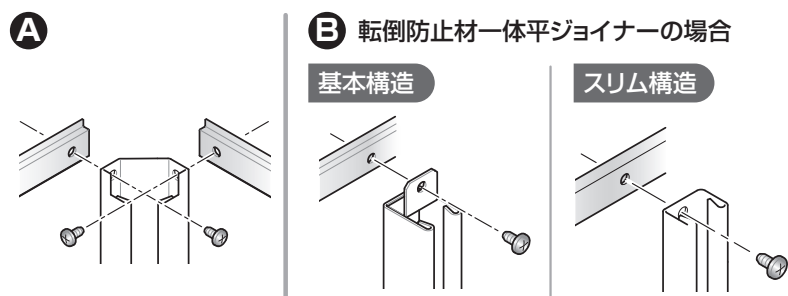
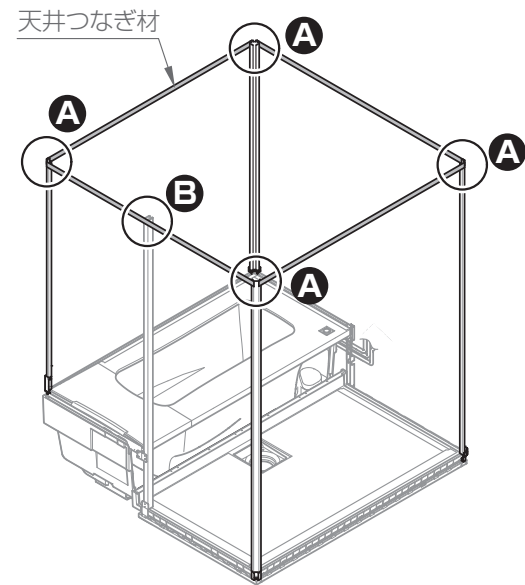
C. ジョイナー

1 ジョイナー取付材取付け

2 ジョイナー組立て

① コーナージョイナー取付け

② 天井つなぎ材取付け



〔天井つなぎ材が短くなる場合〕

片引戸/2枚引戸 | ドア上小壁なし

ドア部
天井つなぎ材なし

オーバーヘッドシャワーあり | B(ベンチ)タイプ

配管が取り付けパネルの
天井つなぎ材なし

③ 平ジョイナー取付け(転倒防止材一体平ジョイナー以外)

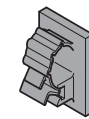
B
(ベンチ)
タイプ

3 壁建込み前 部品取付け

① 壁裏補強板へのコードクランプ／ビス保護材貼付け(床ワイパー洗浄ありの場合のみ)

※図は1616/1717サイズ

コードクランプ
EKJ40008



保護材カットサイズ

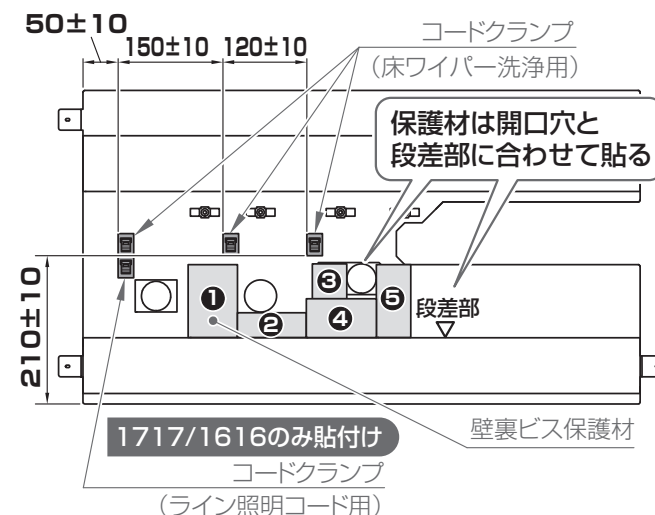
No.	幅	高さ
①	70	100
②	100	30
③	50	50
④	100	50
⑤	50	100

ビス保護材 100×100×10(mm)
EKL01066N2 両面テープ付 5枚/セット
カットサイズにカットして使用
(できるだけテープ部を使用する)

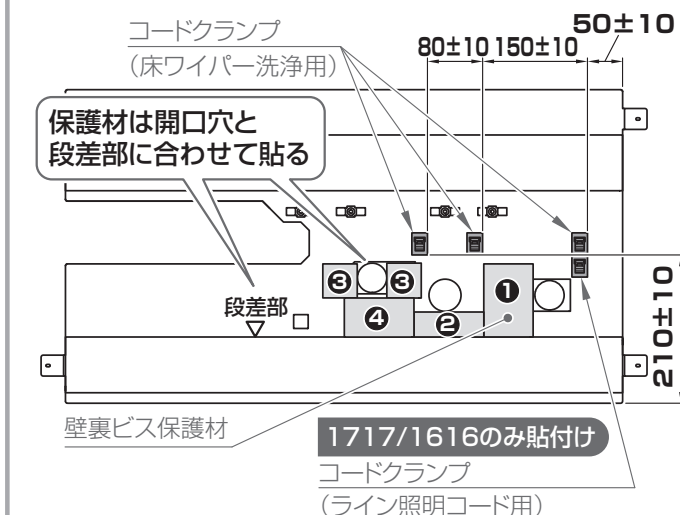
保護材カットサイズ

No.	幅	高さ
①	70	100
②	100	30
③	50	50
④	100	50

R勝手



L勝手



② 壁裏補強板へのコード取付け 壁ケガキ図参照

③ ジョイナーへの壁裏補強板取付け



ベンチ用穴付平ジョイナー

ベンチ壁裏補強板R/L

ベンチ用穴付平ジョイナーまたは
ベンチ用穴付コーナージョイナー

垂直確認

幅確認

UBサイズ	幅(mm)
1620(ワイド浴槽)/1624	980
1620(ストレート浴槽)	1030
1717	880
1616	830

④ コード上端部の仮固定 壁ケガキ図参照

⑤ コードの保護

※図は1624/1620サイズ R勝手の場合

ケーブル保護チューブ
(2本セット: EKK01103)
(3本セット: EKK01104)

穴から出ている各コードを
保護チューブで覆う
※コネクター部は覆わない

壁付バス水栓
ステップあり
の場合

4 回転防止材取付け 本書では、この組立てはなし

5 コーナー2次ジョイナー取付け

6 2次ジョイナー取付け

スリム構造でアクセント壁がファルダ柄の場合

ファルダ柄
横方向に微細な
凹凸がついた石目調柄

ファルダ柄専用2次ジョイナーを取り付ける
誤組立ての場合壁が外れやすくなるおそれ

ファルダ柄専用2次ジョイナー
ヒレの色がグレー
「ファルダ柄専用」のラベル
建込み時除去

■：ファルダ柄専用2次ジョイナー取付け位置

【カウンターを取り付く面がファルダ柄】

1624 3カ所 1620 2カ所 1717以下 1カ所

【浴槽横がファルダ柄】

1カ所

MEMO

D. 壁

⚠ 注意 ⚠
H2300壁パネルの運搬・
組立ては2人作業で行う
最大35kgと重いため、ひとりで
作業するとけがをするおそれ

1 楽湯配線処理 おそうじ浴槽付きの場合は専用の説明書を参照し、並行して作業する

① コード仮置き

1 洗い場に引き出し、
ねじれをほどく

楽湯電源コード

E-1

② 配線貫通部材から
外に引き出す

③ 浴槽内へ仮置き

おそうじ浴槽付きの場合、
下方の配管貫通部を通す

【三方弁中継コード/
楽湯照明中継コード(調光調色照明の場合)】

三方弁中継コード
楽湯照明中継コード

E-2
D-7

外側のコードは
浴槽内に仮置き

D-8
E-3

内側に100mmほど引き込む

おそうじ浴槽付きの場合、
下方の配管貫通部を通す

② 中継コードと機器の接続

① 中継コードをつなぐ

② コネクターと保護チューブの端部を
浴室外へ出す

UB外側 三方弁中継コード UB内側

楽湯照明
中継コード
保護チューブ

ポンプ
コード

楽湯照明中継コード

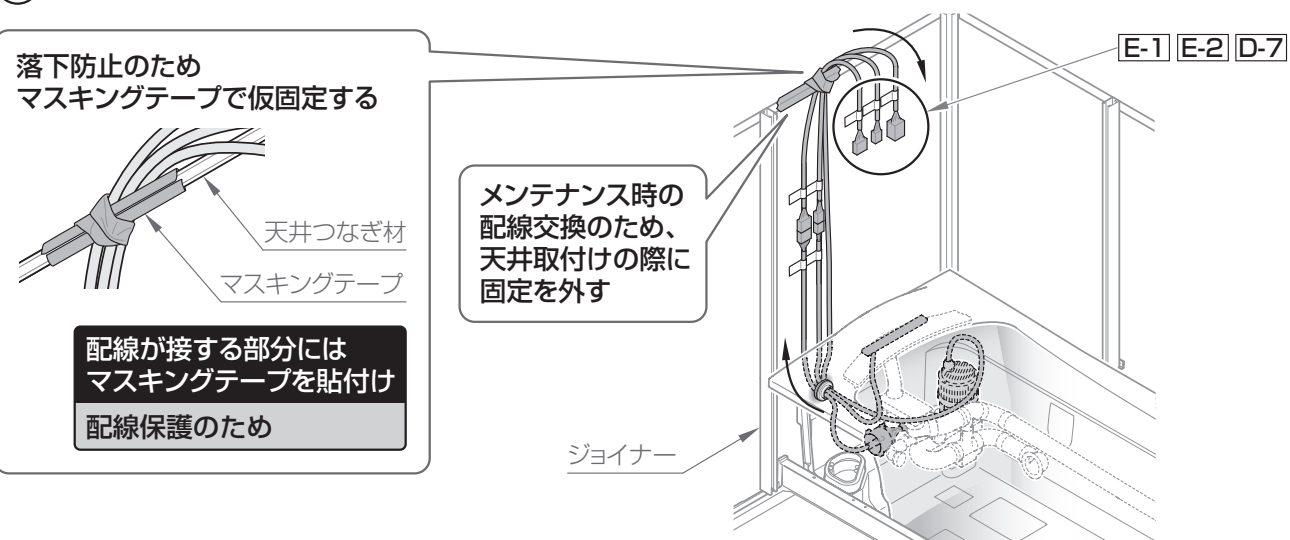
③ 保護チューブ、コード長さを
調整後シリコンにて固定する

UB天井へ

シリコン

ホース・コードはたわませる
UB外側への水漏れ防止

③ 配線の天井つなぎ材への引き回し



2 壁パネル穴加工

3 壁パネル養生フィルムはがし

4 ヘッドレスト部マスキングテープ貼付け 本書では、この組立てはなし

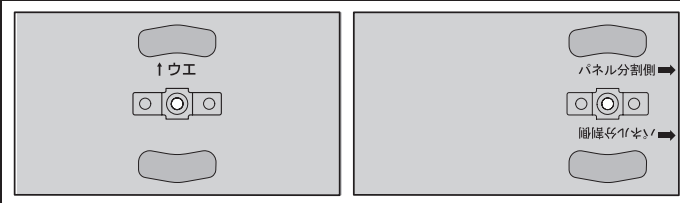
5 建込み前 部材取付け

加工、貼付方向は壁ケガキ図参照

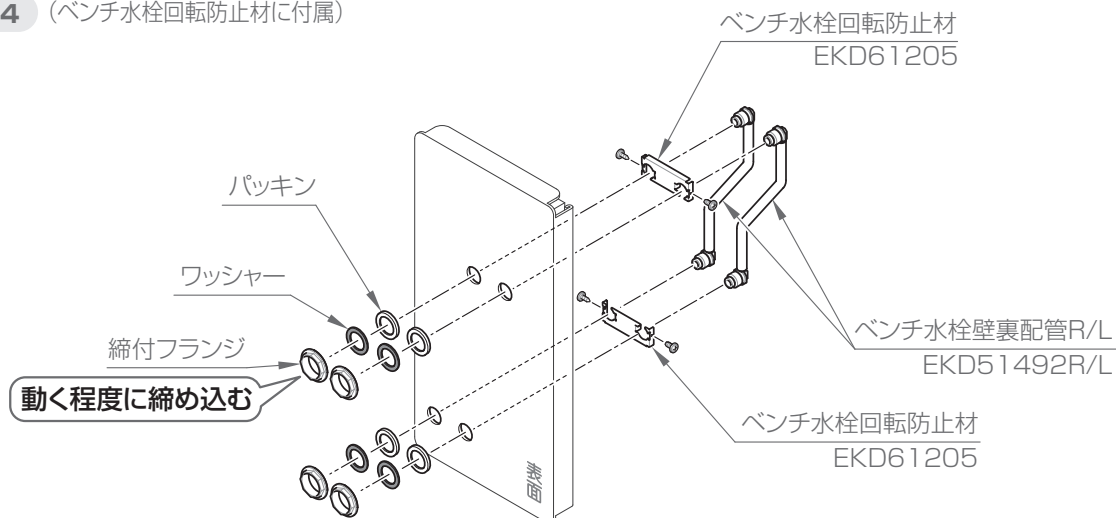
壁裏補強鋼板取付け

新商品

コンフォートシャワーバー(手すり兼用)の場合、向きに注意



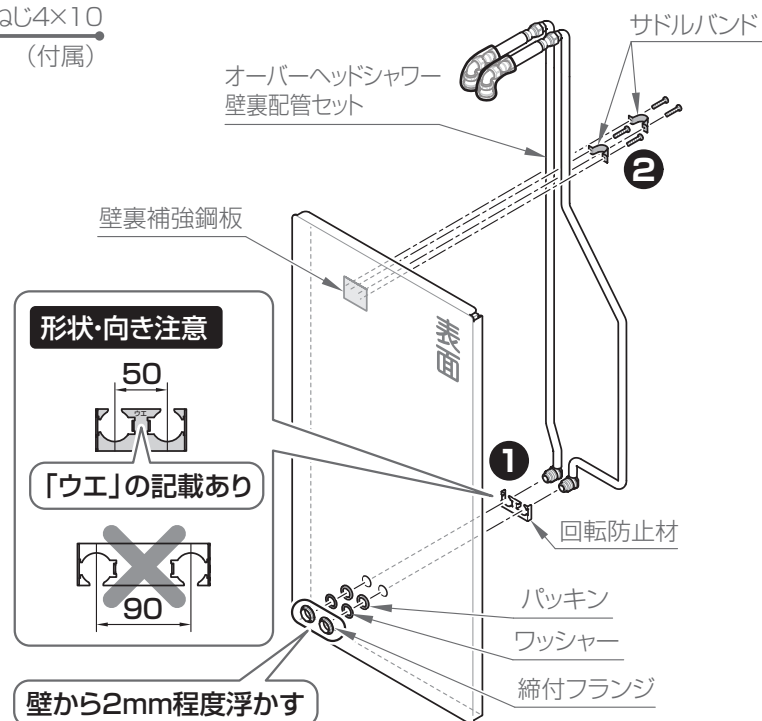
Bタイプ水栓壁裏配管



オーバーヘッドシャワー

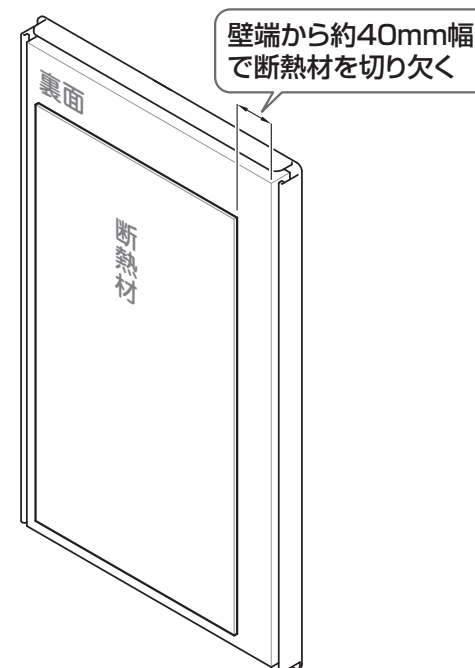


使用ねじ注意
壁貫通防止

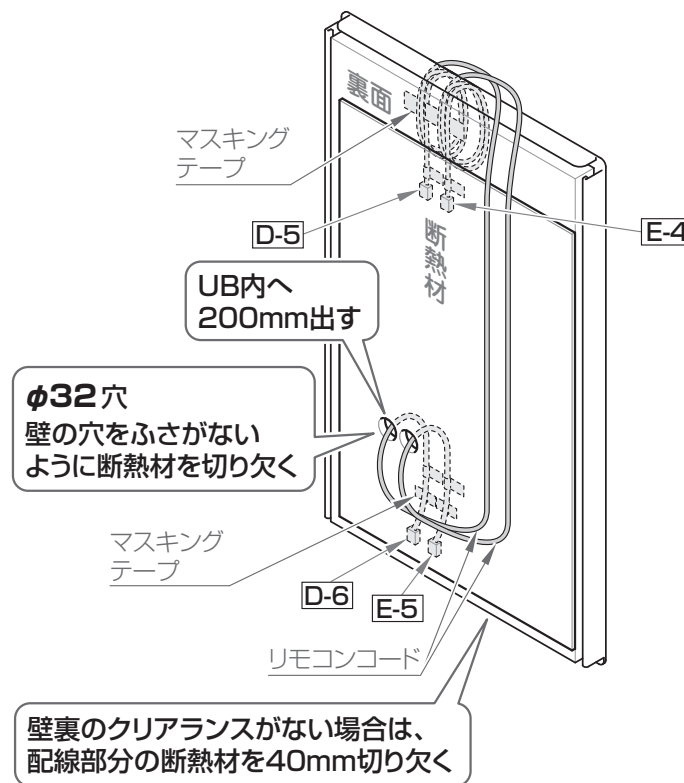


建込み前のコードの配線

楽湯 【3面浴槽側壁】 ポンプコード三方弁中継コード
楽湯照明中継コード通過部分



ヒカルリモコン 数と位置は壁ケガキ図参照



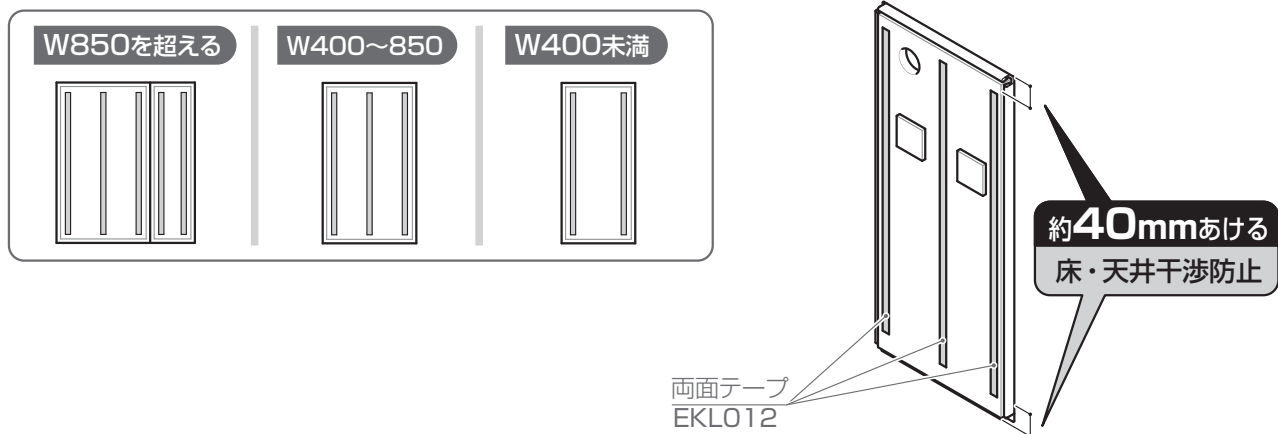
Bタイプ ベンチ カウンター下照明コード 壁ケガキ図参照

Bタイプ 背もたれ カウンター下照明コード 壁ケガキ図参照

Bタイプ 壁裏断熱材貼付位置 壁ケガキ図参照

6 壁裏断熱材貼付け

① 両面テープ貼付け



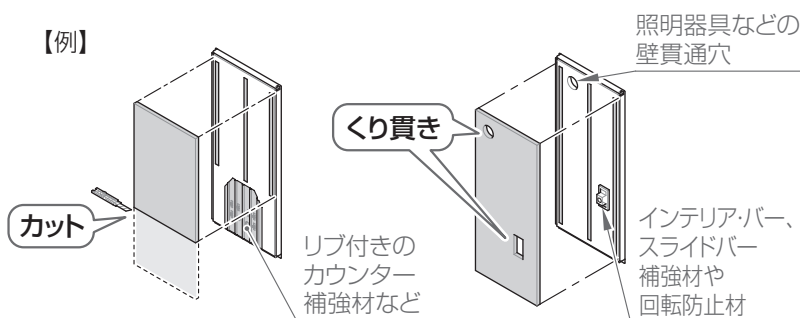
② 配管や補強材などの重なり部カット

カウンターや水栓が取り付け面の断熱材のカットは壁ケガキ図を参照

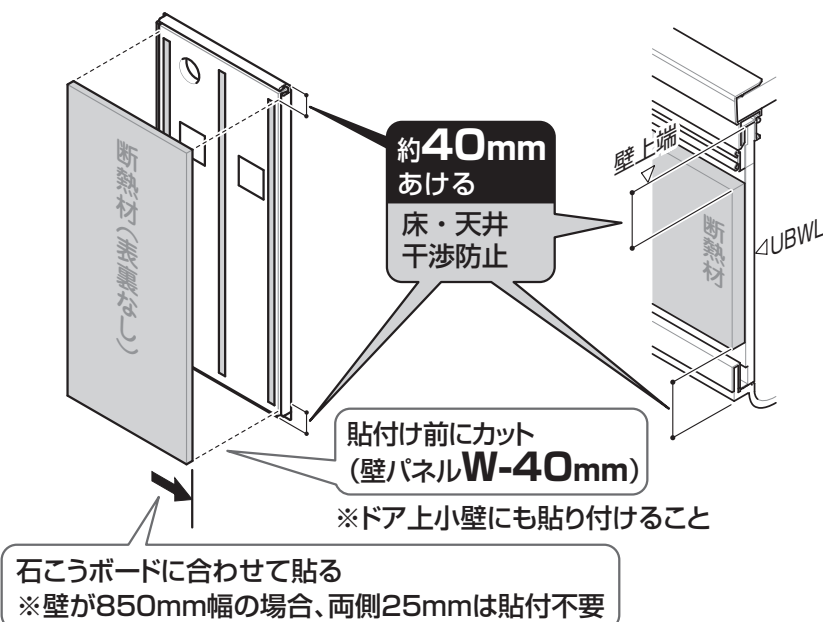
【その他不要部】

・片引戸および2枚引戸固定金具 **P.38参照**

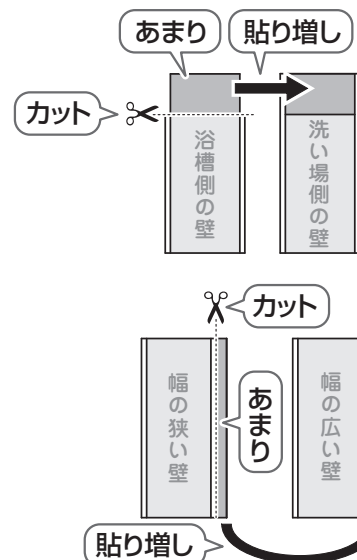
※フラットな鋼板製補強材は重ね貼りOK



③ 壁裏断熱材貼付け 補強鋼板貼付け後



カットしたあまりの断熱材を不足箇所に使用する



7 マスキングテープ貼付け

8 1次コーキング

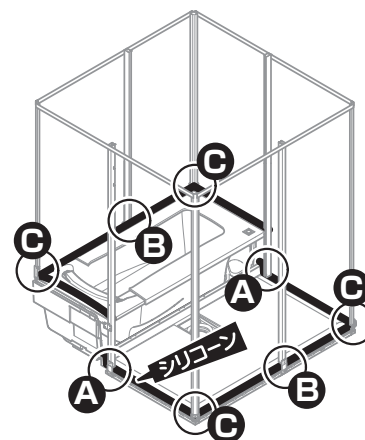
壁載せ面は全周つなげて塗布
水漏れ防止

【洗い場床まわり】 **新商品**

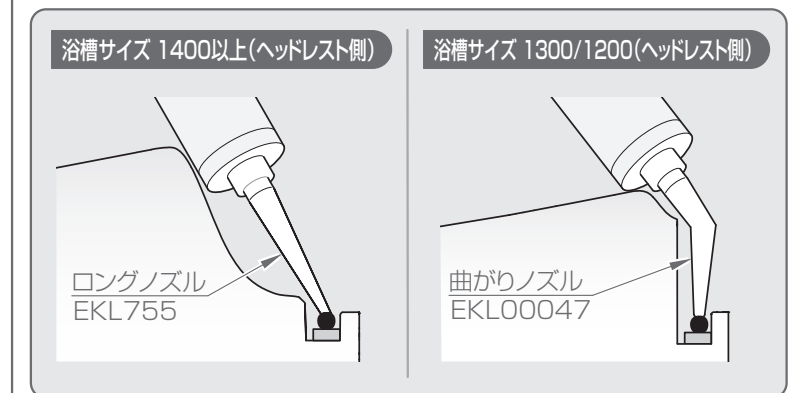
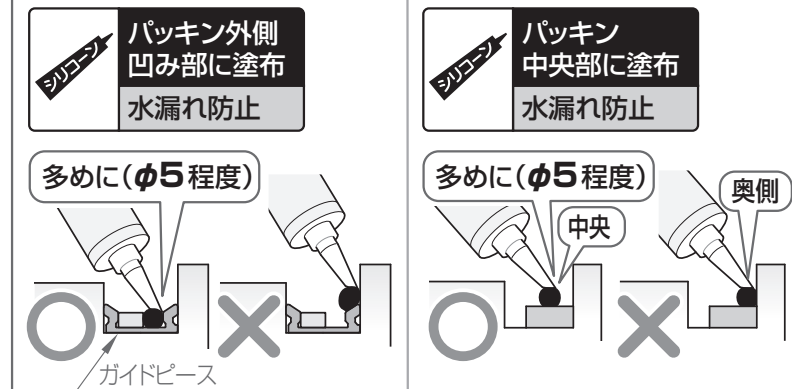
床色		シリコン色	品番
ライト・セレーナ柄	オンブレ柄		
ホワイト	ホワイトグレー	ミルトホワイト	G967#MTW
グレー	—	ライトグレー	G967LG
ベージュ	ベージュ	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラウン	—	アンバー	G967AM
ブラック	—	ミッドナイトグレー	G967MNG1

【浴槽まわり】

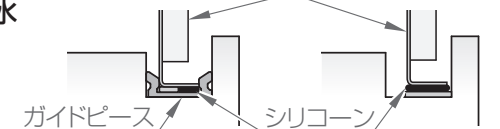
浴槽色	シリコン色	品番
ホワイト	ミルトホワイト	G967#MTW
グレー	ライトグレー	G967LG
アイボリー	ホワイト	G967C
ピンク	—	—
ブラウン	ブラック	G967K1
ブラック	—	—



【ガイドピースありの場合】 【ガイドピースなしの場合】

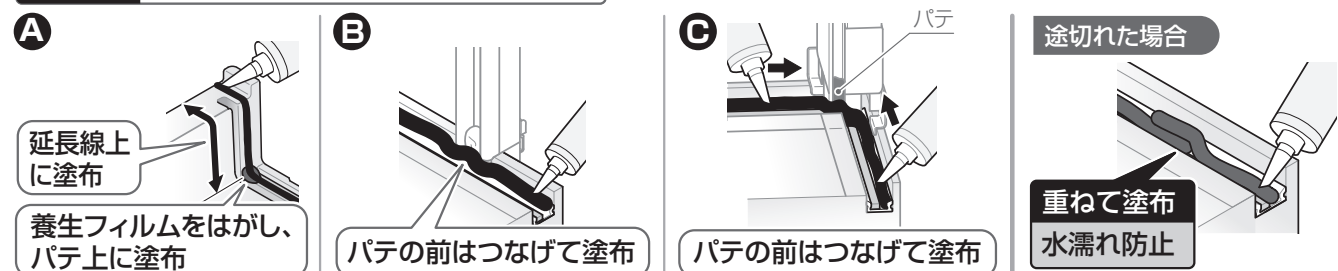


壁やドア枠で1次コーキングをつぶすことにより、止水



※図はガイドピースありの場合

シリコン 塗布位置
ガイドピースあり→パッキン外側凹み部
ガイドピースなし→パッキン中央部



9 小壁パネル取付け

10 壁パネルとドア枠の建込み

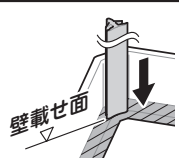
① 建込み

② コーナー目地仮打ち **ガツツキなきこと** ※コーナー目地の代わりにダンボール使用可

浴槽側と洗い場側で
長さが異なります

① 下部を壁載せ面に
押し当てて、打ち込む

必ず下に押し当てる
水漏れ防止



② 天井側を打ち込む

150~
200mm

※完全打込みはドア調整・固定後

壁建込治具
EKLO0006N1

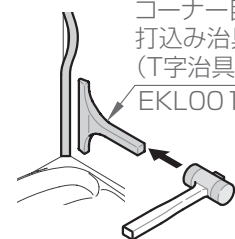
樹脂ハンマー

仮打ち

コーナー目地

【浴槽ヘッドレスト部】

コーナー目地
打込み治具
(T字治具)
EKL00144



FIX窓の場合は、コーナー目地色に注意
ドア枠または、アクセントパネルに合わせる場合あり

③ 壁パネル打込み

④ 調整

⑤ はめ合い確認

窓ありのみ 11 窓まわり壁建込み

12 2次ジョイナーパテ除去

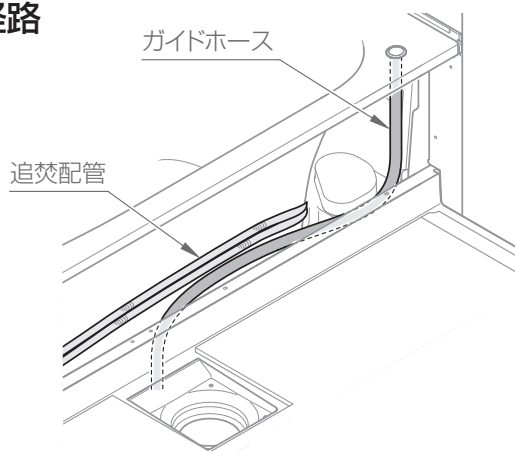
E. 浴槽まわり

1 エプロンガイド取付け

2 排水フランジ締付け確認

3 ワンプッシュ排水栓取付け

■ワンプッシュガイドホース経路



ガイドホース

追焚配管

F1. ドア枠(折戸／開き戸)

1 ドア本体取外し

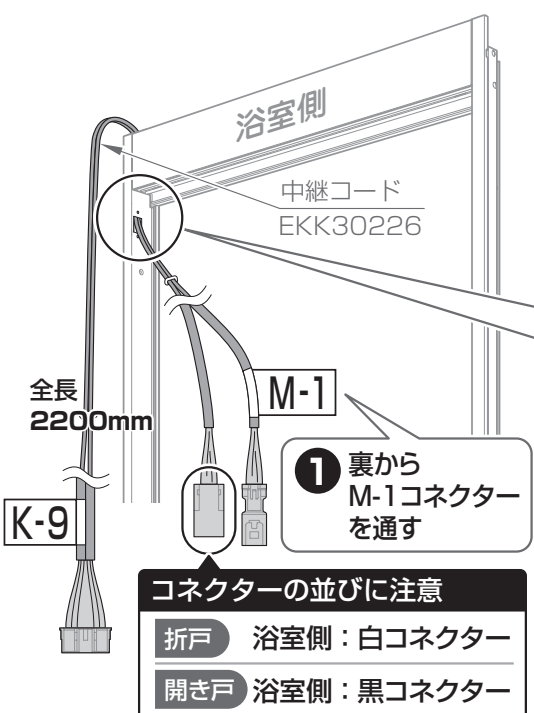
2 ドア枠建込み

床ワイパー洗浄 ドアセンサーあり **新商品**

① 中継コード取付け **ドア枠設置前**

ドア枠建込み前に中継コード取付け
ドア枠建込み後は配線不可

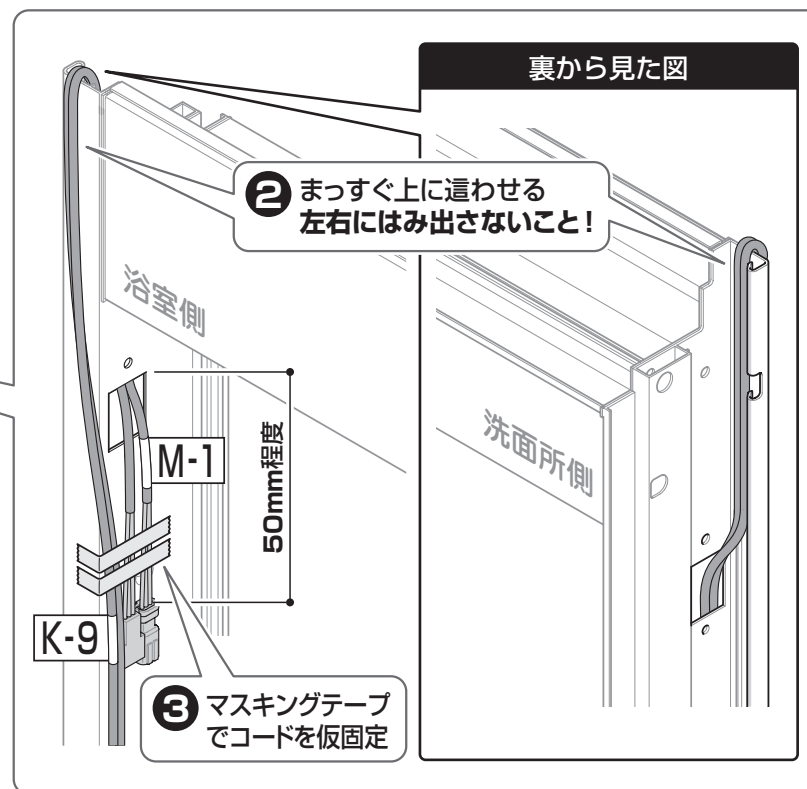
■センサー用開口位置：平ジョイナー側



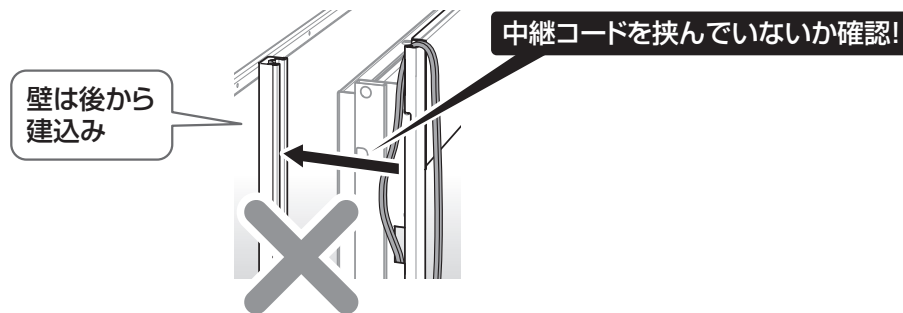
コネクターの並びに注意

折戸 浴室側：白コネクター

開き戸 浴室側：黒コネクター



② 中継コード挟込み確認 **ドア枠設置中**



③ センサー取付け **ドア枠設置後**

詳細はF2.引戸のドア枠建込み：P.37参照

F3 につづく

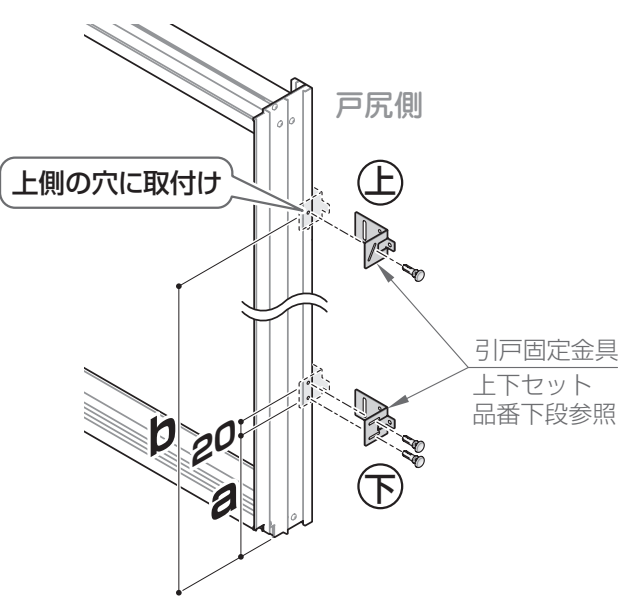
F2. ドア枠(片／2枚／3枚引戸)

1 ドア枠組立て

インパクトドライバー
使用禁止
ねじ山や部材の
破損防止
手締め厳守
ねじ破損、キズ防止

2 固定金具取付け

ドア枠設置前 ※ドア枠設置後は、固定金具が取付けできない場合あり



■金具の取付位置

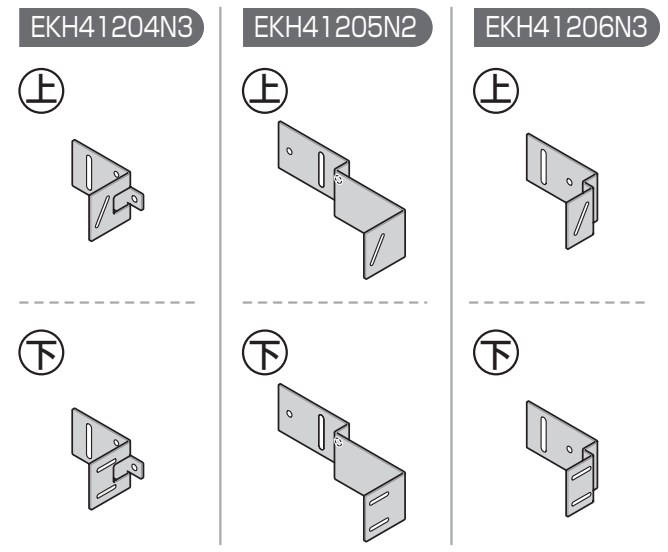
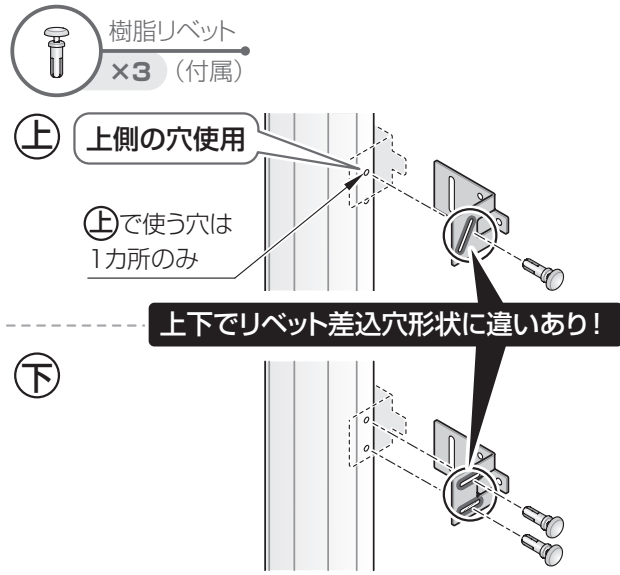
片引戸

	UBサイズ	a	b
短辺(ドア位置B、D)	全サイズ共通	490	1440
長辺(ドア位置A、C)	13以下	490	1290
	14以上	490	1440

2枚引戸

	カウンター	a	b
短辺(ドア位置B、D)	すべて	190	1300
長辺(ドア位置A、C)	すべて	490	1110

樹脂リベットを差し込み、頭部を押す



MEMO

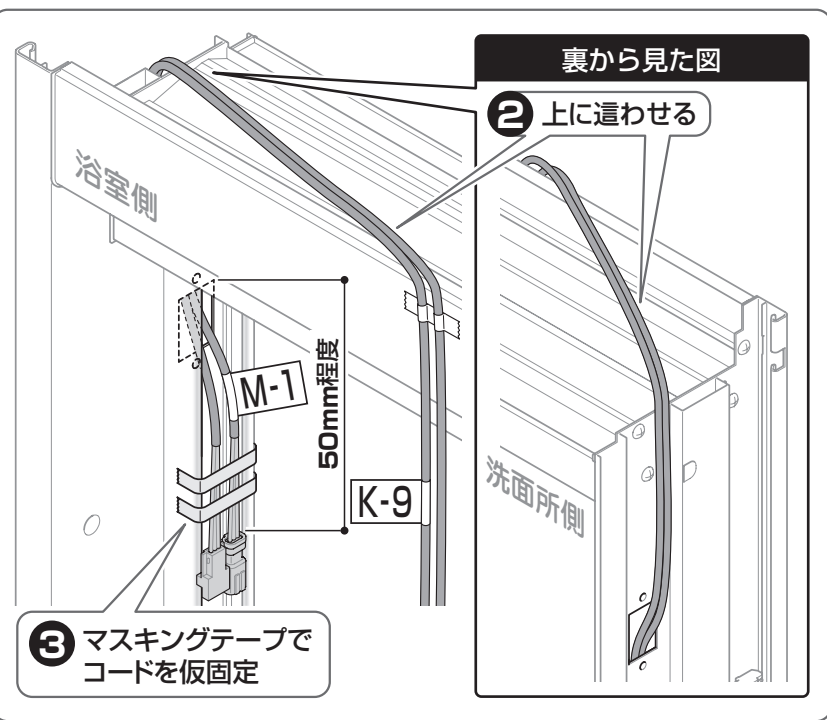
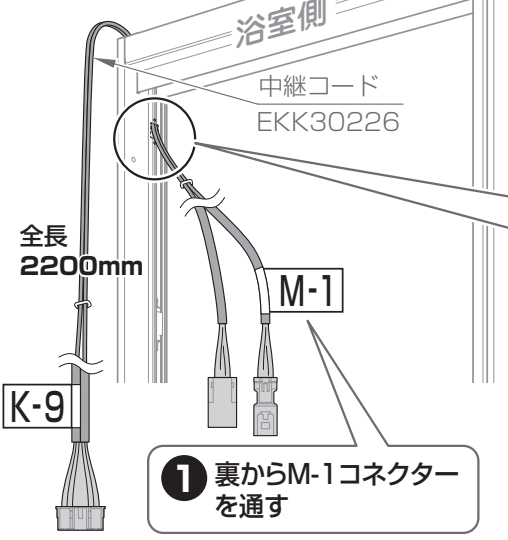
3 ドア枠建込み

床ワイパー洗浄 ドアセンサーあり 新商品

① 中継コード取付け ドア枠設置前

ドア枠建込み前に中継コード取付け
ドア枠建込み後は配線不可

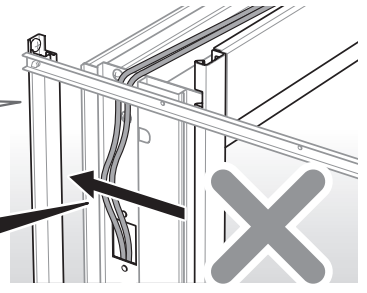
■センサー用開口位置：
コーナージョイナー側



② 中継コード挟込み確認 ドア枠設置中

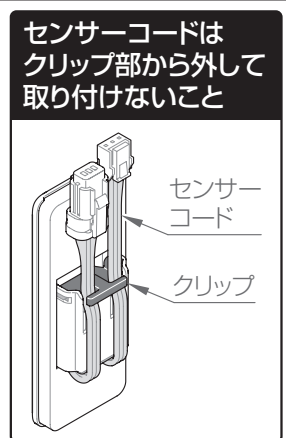
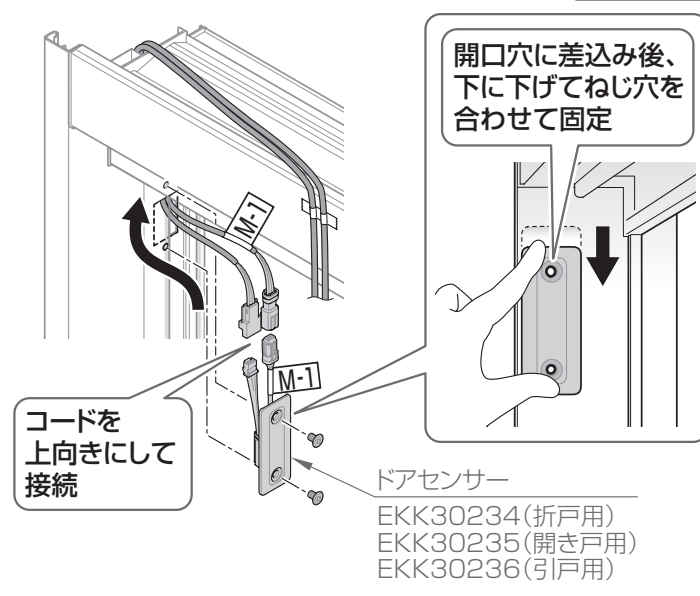
壁は後から建込み

中継コードを挟んでいないか確認!



③ センサー取付け ドア枠設置後

ドア枠/壁建込み後にセンサー取付け
建込みの衝撃によるセンサーの破損防止



F3 につづく

F3. ドア枠（折戸／開き戸／ 片／2枚／3枚引戸）

- 1 ドア上小壁建込み
- 2 コーナー目地仮打ち
- 3 ドア枠倒れ調整
- 4 コーナー目地本固定
- 5 ドア枠固定

片/2枚引戸 6 固定金具固定

① 補強木貼付け（上下2カ所）

金具位置に合わせて貼る

貼付部の断熱材は切り欠く

補強木 EKK04014N6

取合いが厳しい場合 端部合せて貼る

② 水平調整・下金具固定

トラスタッピンねじ 4×12 ×2 ※EKH41205N2は×3（固定金具同梱）

1 仮固定（長穴） 2 上下調整

水平器

3 本固定（丸穴）

枠を持って調整すること 金具を持って調整するとリベットが外れるおそれあり

③ 垂直調整・上金具固定

トラスタッピンねじ 4×12 ×2 ※EKH41205N2は×3（固定金具同梱）

1 補強木に密着させて仮固定（長穴）

下げ振り

2 前後調整（固定金具を上下にスライド）

3 本固定（丸穴）

7 換気弁動作確認

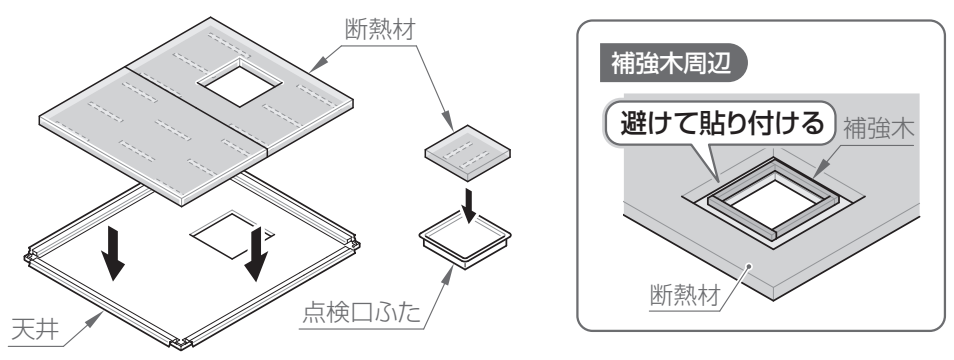
MEMO

G. 天井

1 断熱材取付け

断熱材のカット形状・寸法は、壁ケガキ図の「天井裏断熱材カット/貼付け位置図」参照

- (1) 断熱材への両面テープ貼付け
 - (2) 天井への貼付け
- 換気器具、照明、点検口部は切り欠いていること



- (3) 断熱材取付け後、天井裏に鋼板を貼り付け、点検口落下防止ひもを固定する（固定方法：組立説明書参照）

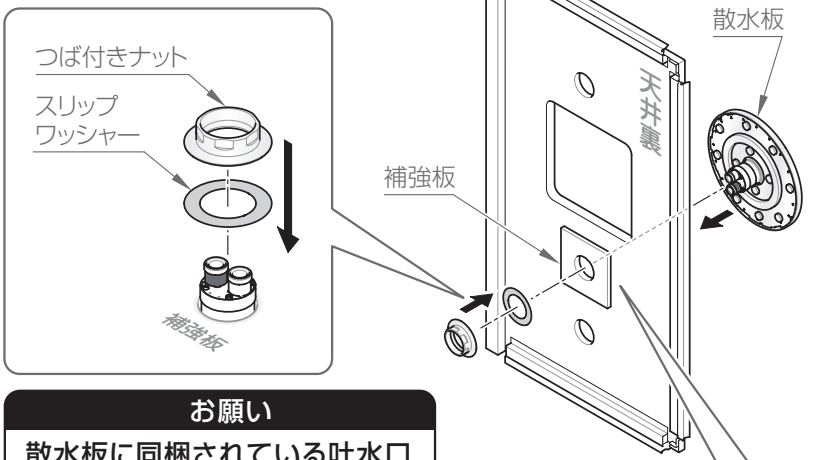
鋼板貼付け位置および点検口落下防止ひも固定位置は、壁ケガキ図の「天井裏鋼板貼付け図」参照

2 部品取付部養生フィルムはがし

ダウンライト 3 照明取付け

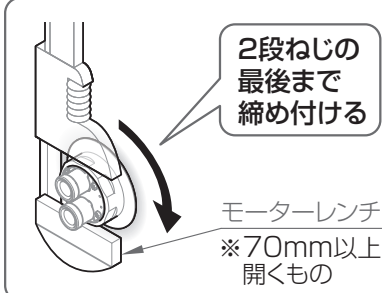
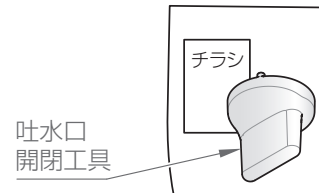
オーバーヘッドシャワーあり 4 オーバーヘッドシャワー取付け

① 散水板取付け

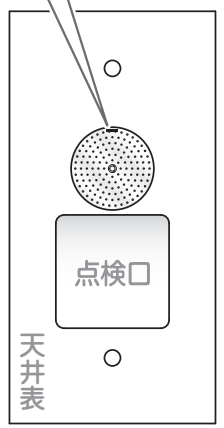


お願い

散水板に同梱されている吐水口開閉工具は必ずシステムバスの取扱説明書へ同梱ください



② 位置合せ



③ 天井設置

① オーバーヘッドシャワー配管の先端を載せる

梱包用バンドを外す

オーバーヘッドシャワー用配管

② 浴槽側天井に載せてから洗い場側に移動させて設置する

④ 配管接続

① 養生を外す

オーバーヘッドシャワー配管接続時に外すこと

止水プラグ

接続時注意

エアイン用とウォーターピラー用の誤接続防止

② 接続

④ 接続チェック完了

③

パッキン不要

オーバーヘッド配管接続カプラー

⑤ 配管固定

① バインドタッピンねじ4×10
×4 (付属)

サドルバンド

補強木

5 天井取付け

フラット天井(目地なし) ※目地付きは組立説明書参照

① 天井コーナーピース固定

① トラスとがり先ねじ4×12
×8 EKL11047SG

フルスクリーン片引戸の場合
ねじ取付部は、φ3.2の下穴をあける

① 天井コーナーピース

②

② 壁押さえ縁取付け

すき間に差し込む

壁押さえ縁

浮いている部分は上から押さえ、壁と密着させる

③ 壁押さえ縁固定

① トラスとがり先ねじ4×12
×24 EKL11047SG

壁に対し、垂直にねじ打ち

フルスクリーン片引戸の場合
ねじ取付部は、φ3.2の下穴をあける

確認

壁に沿うヒレが下部に出ていないこと

④ シリコン塗布

マスキングテープ

余分なシリコンは指で取り去る

- ・天井設置時のみ出し防止
- ・外観不良防止

シリコン色	品番
ライトグレー	G967LG

シリコンがはみ出した場合

再度、天井を持ち上げシリコンをふき取る
シリコンが硬化している場合は、壁をキズ付けないよう
カッターではみ出したシリコンをカットする

⑤ 天井分割部取付材取付け

A B C 手順厳守
天井設置前に必ず実施!

A 寸法	1620	1618	500
	1616		
	1418	400	

① テクスねじ4×13
B部

溝合せ

溝

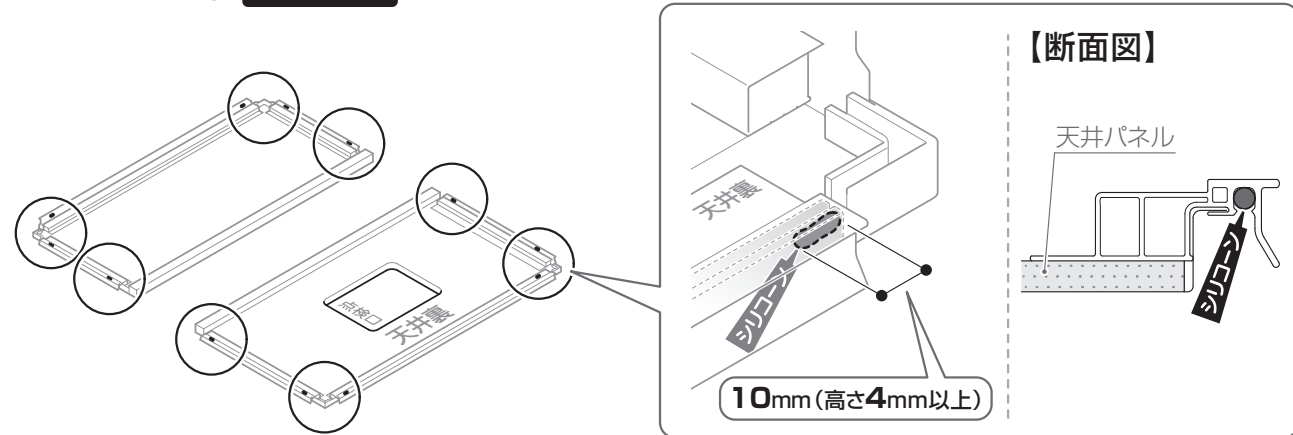
端部分割部側合せ

天井分割部固定金具セット(8個1セット)
EKI41061N1

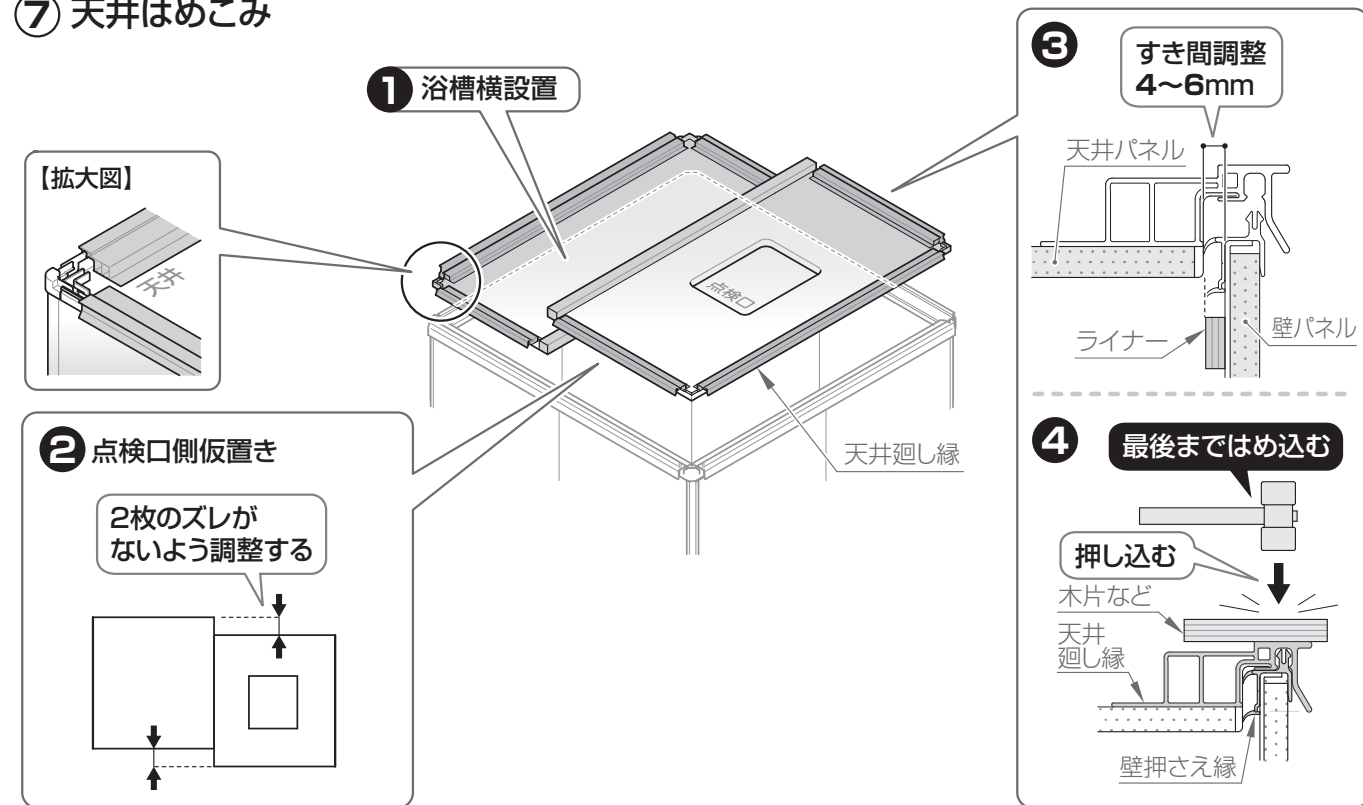
① タッピンねじ4×16
C部

端部分割部側合せ

⑥ シリコン塗布 天井設置前



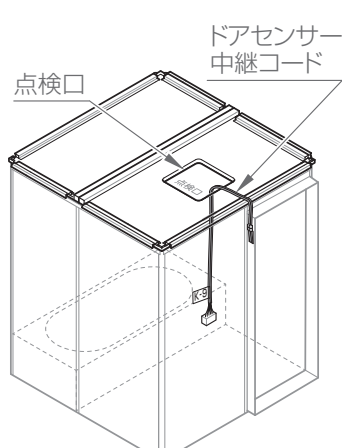
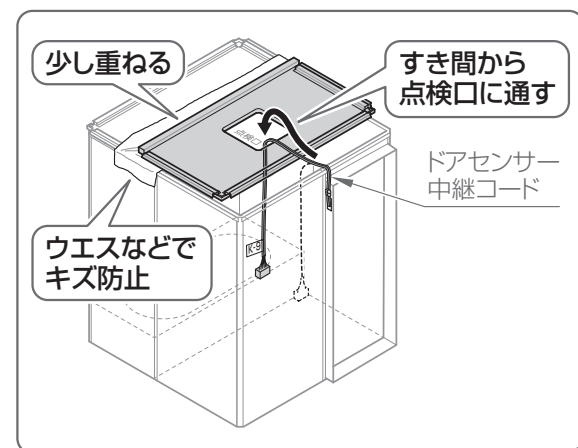
⑦ 天井はめこみ



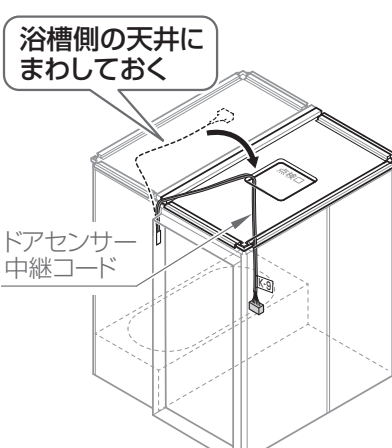
床ワイパー洗浄 | ドアセンサーあり | **新商品**

中継コードを取り回す際、キズ付け注意

短辺側ドア

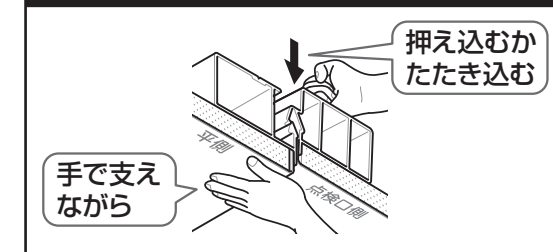


長辺側ドア

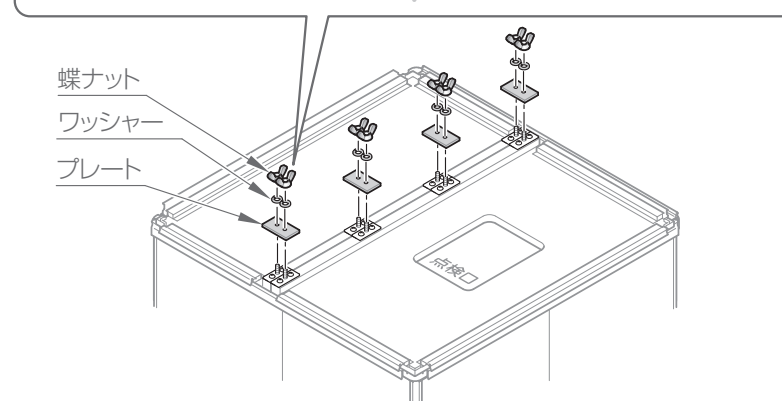
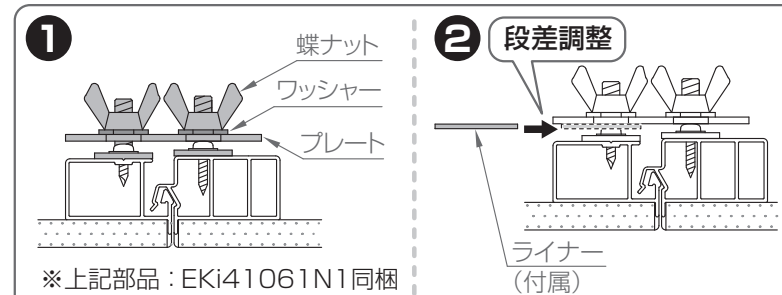
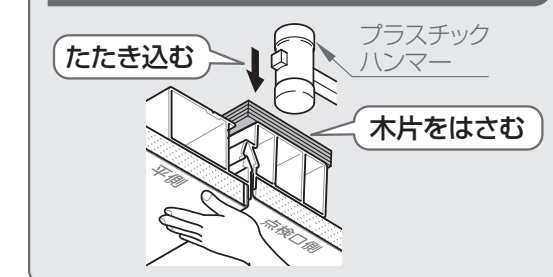


⑧ 天井分割部接続

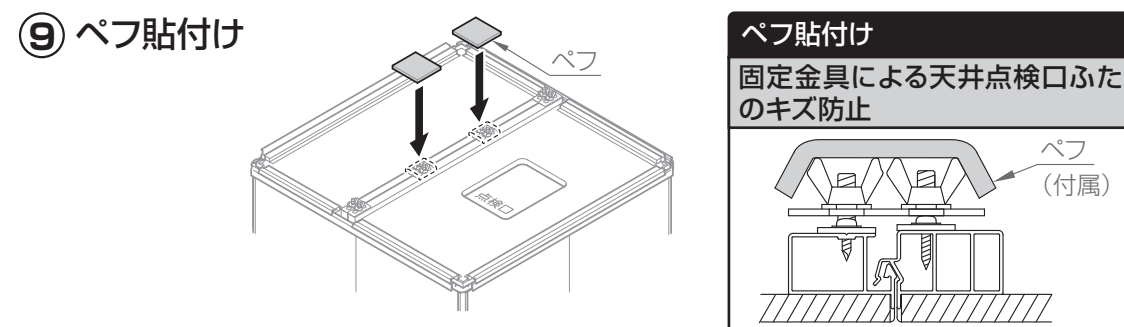
分割天井つなぎ材を完全にはめ込む



手でたたき込んでも完全にかん合しない場合



⑨ ペフ貼付け



⑩ 残した養生フィルムをはがす

6 電源ボックス取付け・コード接続

① 電源ボックス設置

床ワイパー洗浄 / つながる快適セット / 通信ボックス以外の機器

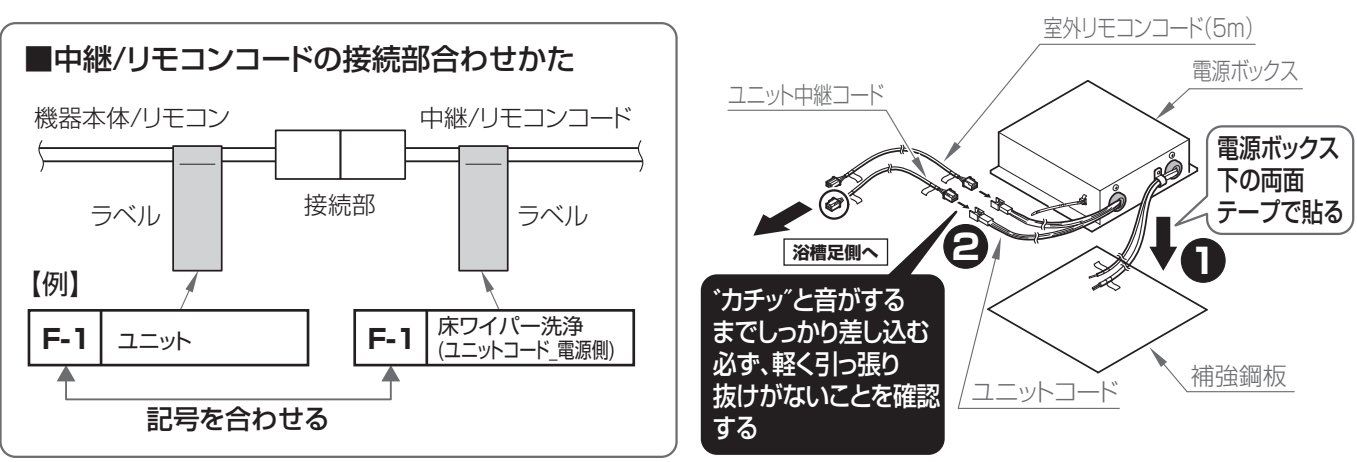
別冊 専用組立説明書参照

- ・下記部品を、壁ケガキ図付属の天井裏電源ボックス配置図を参照のうえ、配置してください。
- ・設置の際は、本体裏の両面テープで貼り付けること。

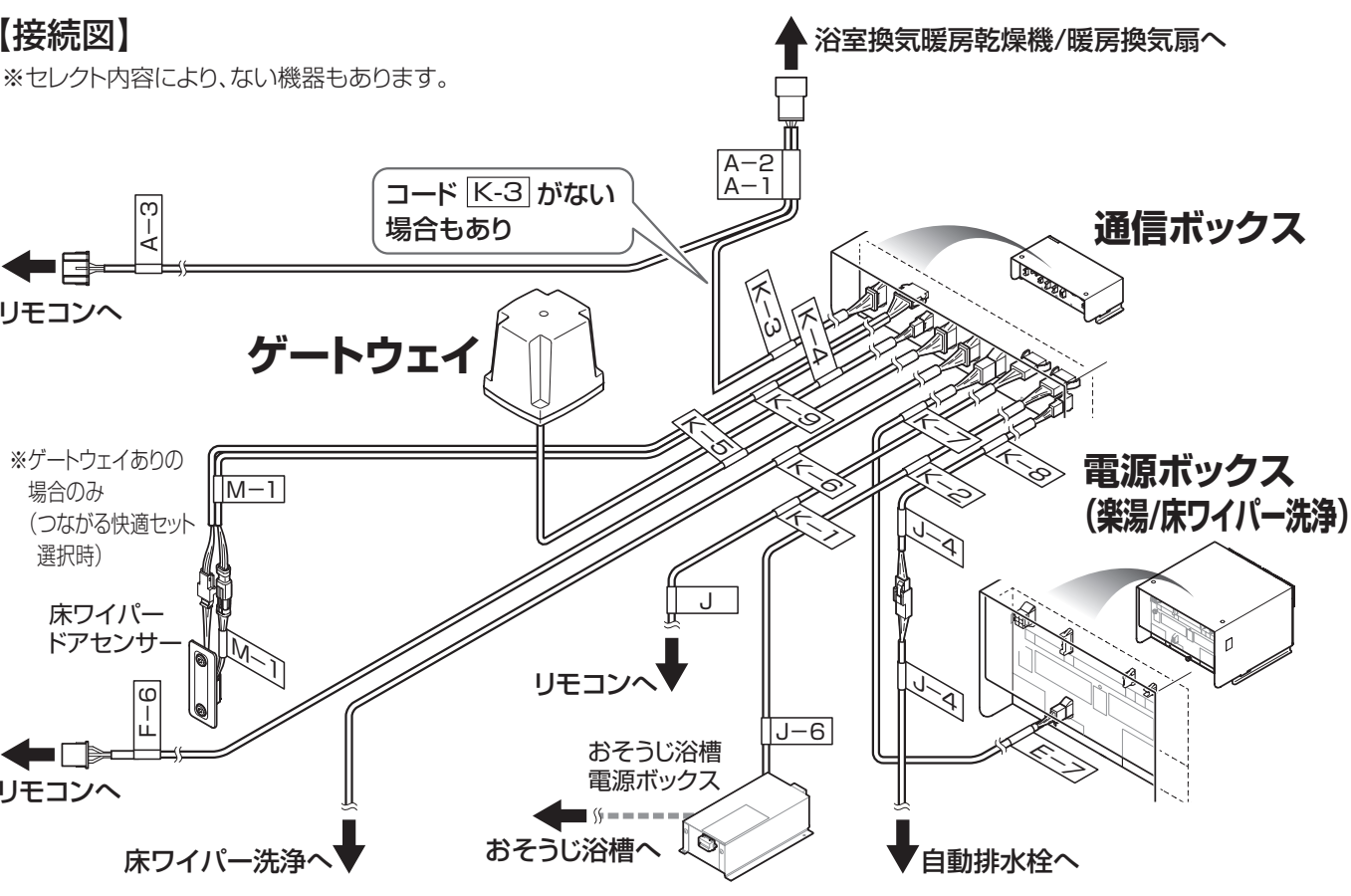
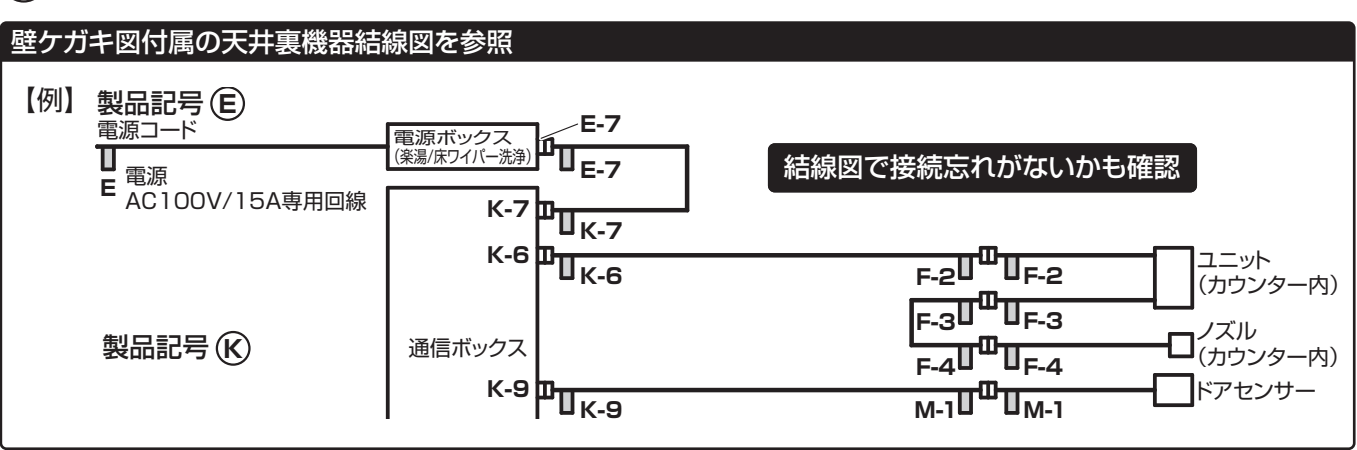
※セレクト内容により、ない機器もあります。

通信ボックス	電源ボックス(楽湯/床ワイパー洗浄)	床ワイパー専用電源ボックス	ゲートウェイ
通信変換ボックスとは別物です。 ラベルの名称・形状をよく確認してください。 ※通信ボックスの種類により、付いているコネクターの数異なります。 	※電源ボックスの種類により、付いているコネクターの数異なります。 		 ※つながる快適セット選択時のみ (スマートフォンによる機器操作)

② ラベルを確認し、コネクターを接続する



③ 接続忘れがないかを確認する



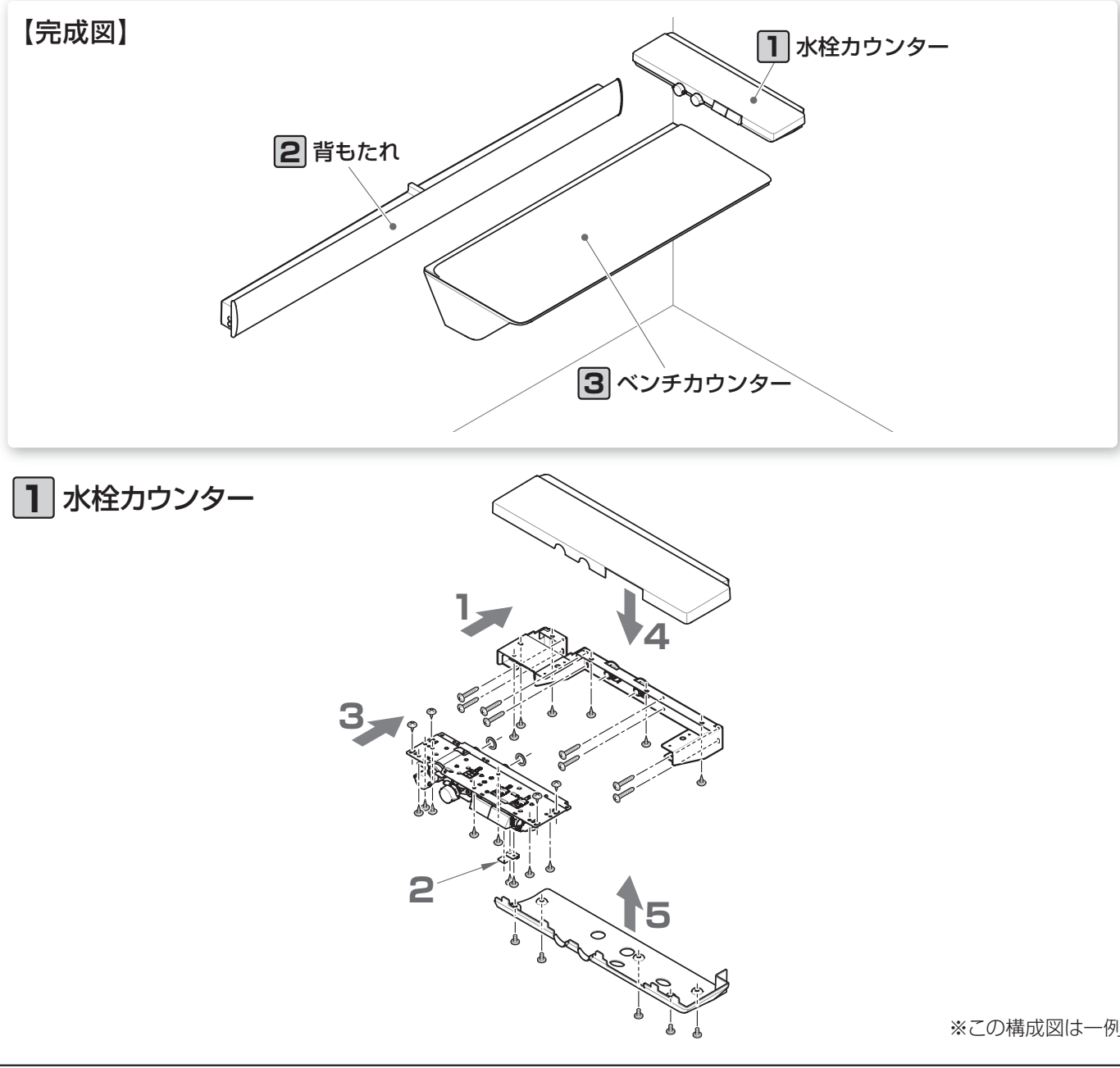
7 点検口ふた取付け

I. 中間検査

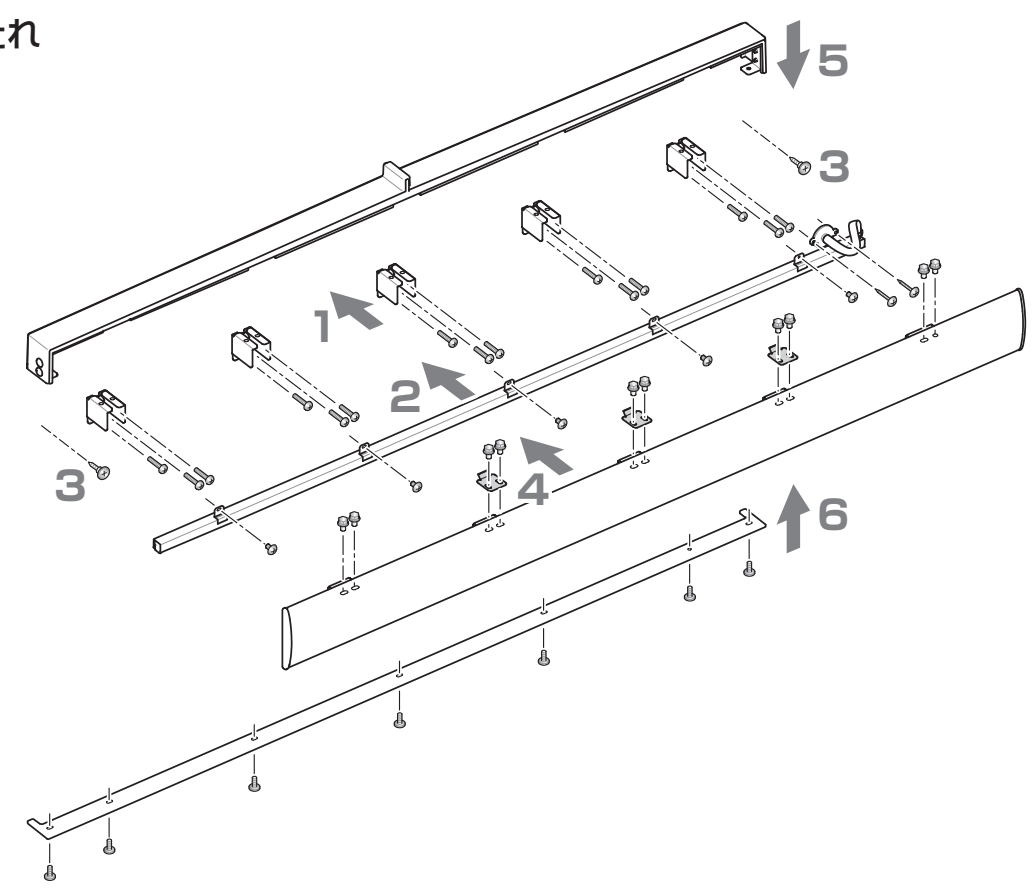
作業項目		確認ポイント	チェック
床	床の据付け	床・浴槽のきしみ音がないこと	
		支持脚のロックナット、接着固定がされていること	
	システムバス付属の排水管接続まで	接続・接着がされていること	
		勾配が1/50以上であること	
	排水トラップ締付け	締付工具を使用して排水フランジを締めていること	
浴槽	水張りテストの実施	水張りテストで30分以上水を溜め水漏れがないこと	
	浴槽の設置	浴槽排水フランジの緩みがないこと	
	ワンプッシュ排水栓取付け	ワンプッシュ排水栓は正常に作動すること	
壁	壁パネルの建込み	2次ジョイナー、コーナー2次ジョイナーを取り付けていること	
		1次コーキングは連続して指定箇所へ実施していること	
		コーナー目地の浮きがないこと	
		壁パネルの段差がないこと	
	カウンター補強材貼付け (お掃除ラクラクカウンターの場合)	壁裏補強板に全てのボルトが通ること	
ドア	ドア枠の取付け、固定	ドア枠が水平・垂直であること	
天井	天井パネルの取付け	フラット天井 (目地付き) の目地の浮きがないこと	
		点検口蓋の落下防止処理をしていること	
共通	全体再確認	キズ・打痕・割れがないこと	

J6. コンフォートベンチ

カウンター構成図



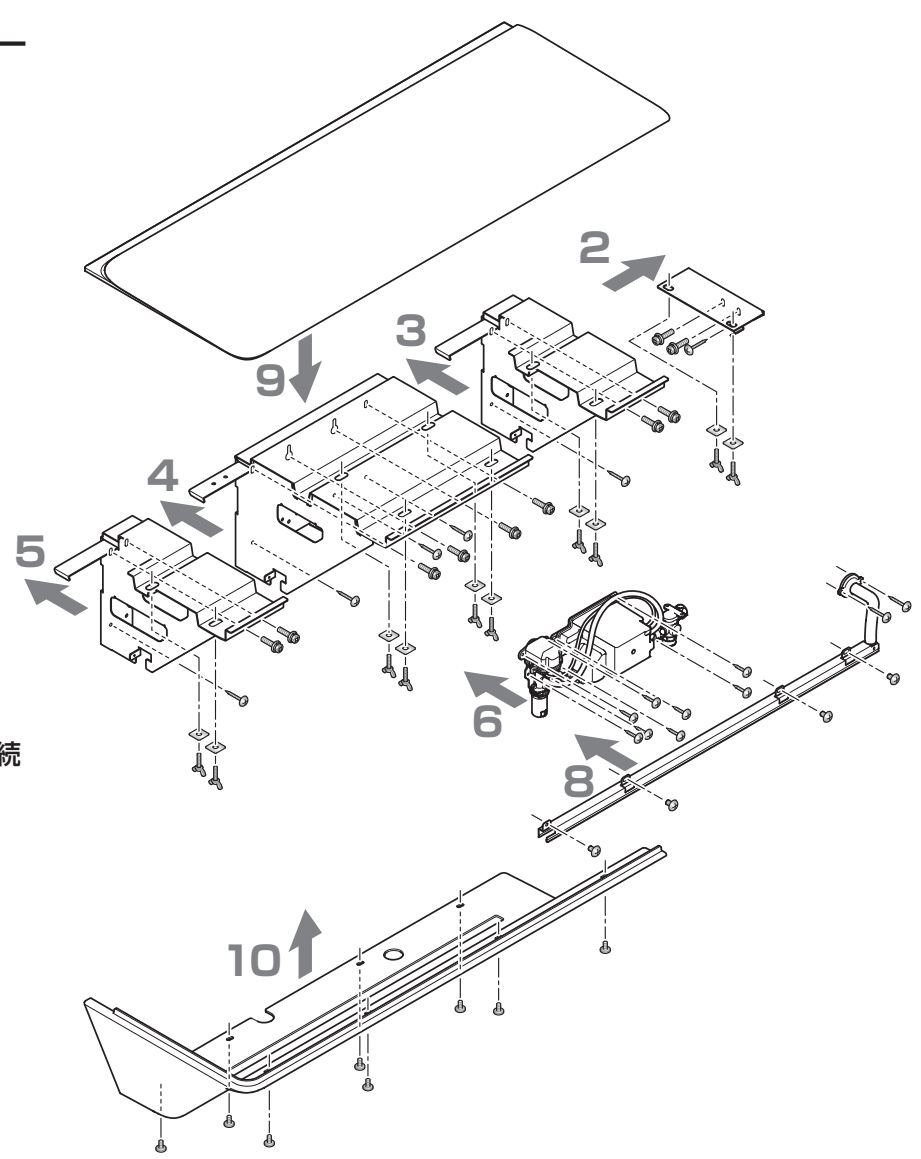
2 背もたれ



3 ベンチカウンター

1 支持材取付け基準出し

7 カウンター内部配管接続



水栓カウンター

1 水栓支持材取付け

オーバーヘッドシャワーなし

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25
×1 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 締付フランジ仮固定(2カ所)
モンキーレンチ
または 専用工具
EKL01023N2

シリコン

2 支持材仮固定

水栓カウンター
支持材

② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25
×7 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 水平確認

シリコン

2 現物合せ

3 水平確認

5 締付フランジ本固定(2カ所)

シリコン

4 現物合せ

オーバーヘッドシャワーあり

① 水栓支持材仮固定

トラスタッピンねじ4×25
×1 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 締付フランジ仮固定(4カ所)
モンキーレンチ
または 専用工具
EKL01023N2

シリコン

2 支持材仮固定

水栓カウンター
支持材

② 水栓支持材本固定

トラスタッピンねじ4×25
×8 (付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

1 水平確認

シリコン

2 現物合せ

5 締付フランジ本固定(4カ所)

シリコン

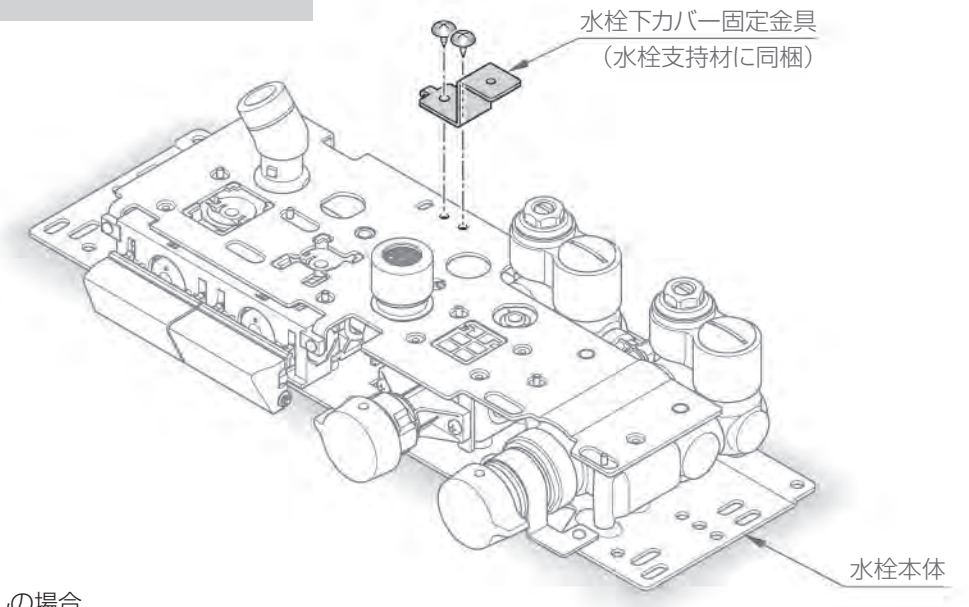
3 水平確認

4 現物合せ

2 水栓下カバー固定金具取付け

トラス小ねじ4×6
×2 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止



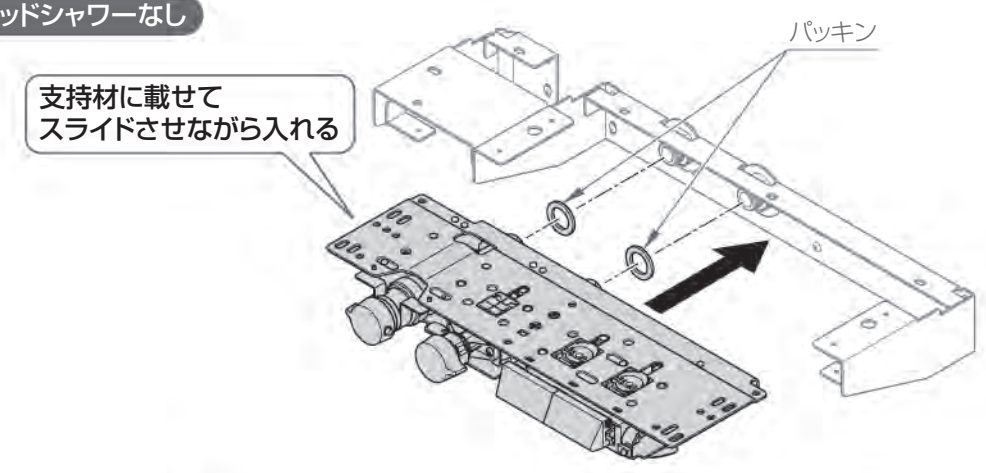
※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

3 水栓本体取付け

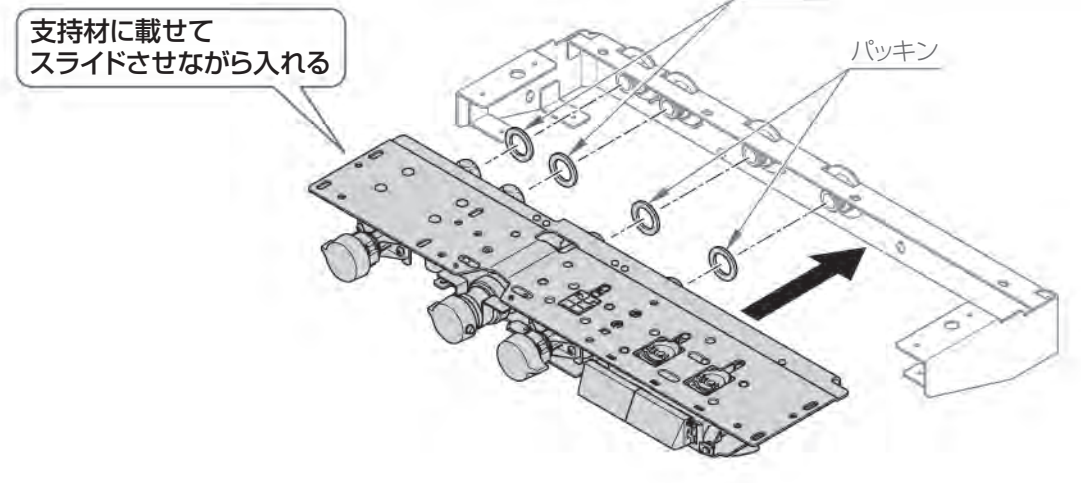
① 水栓本体取付け

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

オーバーヘッドシャワーなし



オーバーヘッドシャワーあり



② 水栓本体本固定

オーバーヘッドシャワーなし

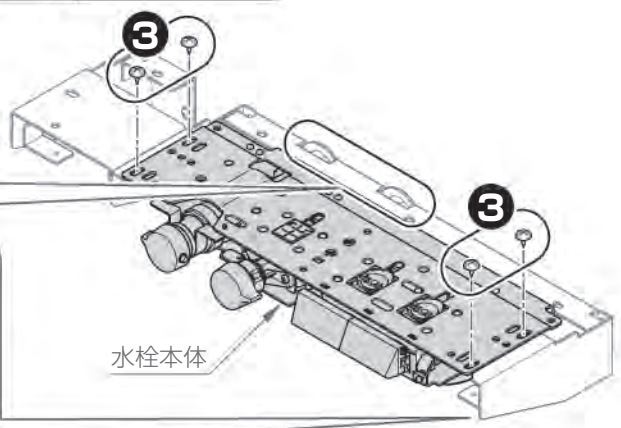
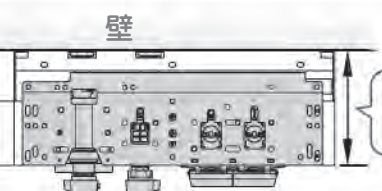
トラス小ねじ4×6
×4 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け

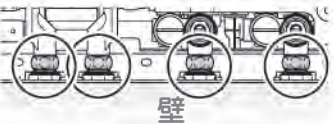


② 壁との平行確認

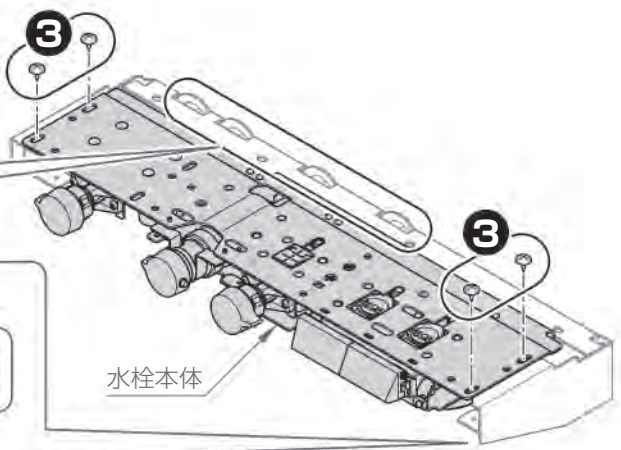
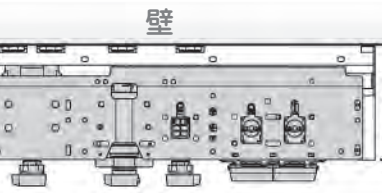


オーバーヘッドシャワーあり

① 袋ナット締付け 必ず最初に、均等に締付け



② 壁との平行確認



4 水栓上カバー取付け

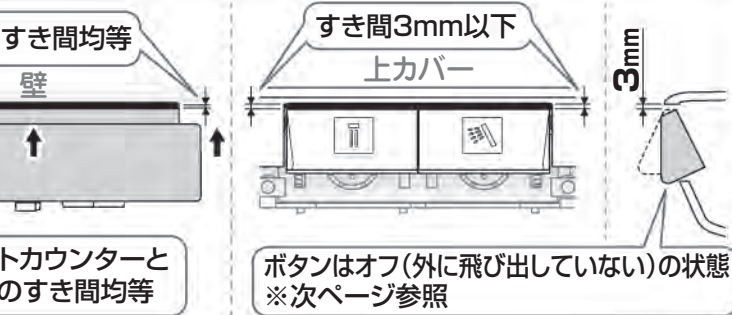
トラス小ねじ4×6
×8 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

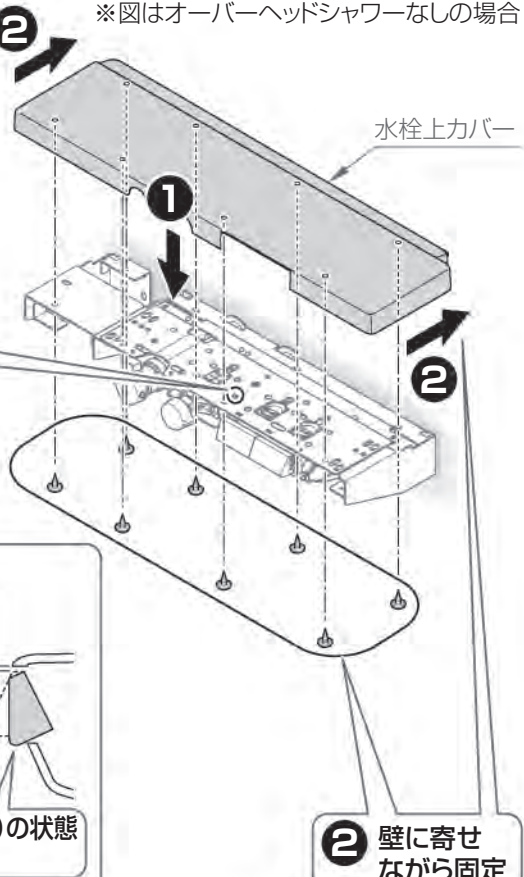
① 水栓本体の穴に上カバーの突起を差し込む



② 壁とのすき間均等
すき間3mm以下
上カバー
3mm
アクセントカウンターと
ハンドルのすき間均等
ボタンはオフ(外に飛び出していない)の状態
※次ページ参照



② ※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合
水栓上カバー
② 壁に寄せ
ながら固定

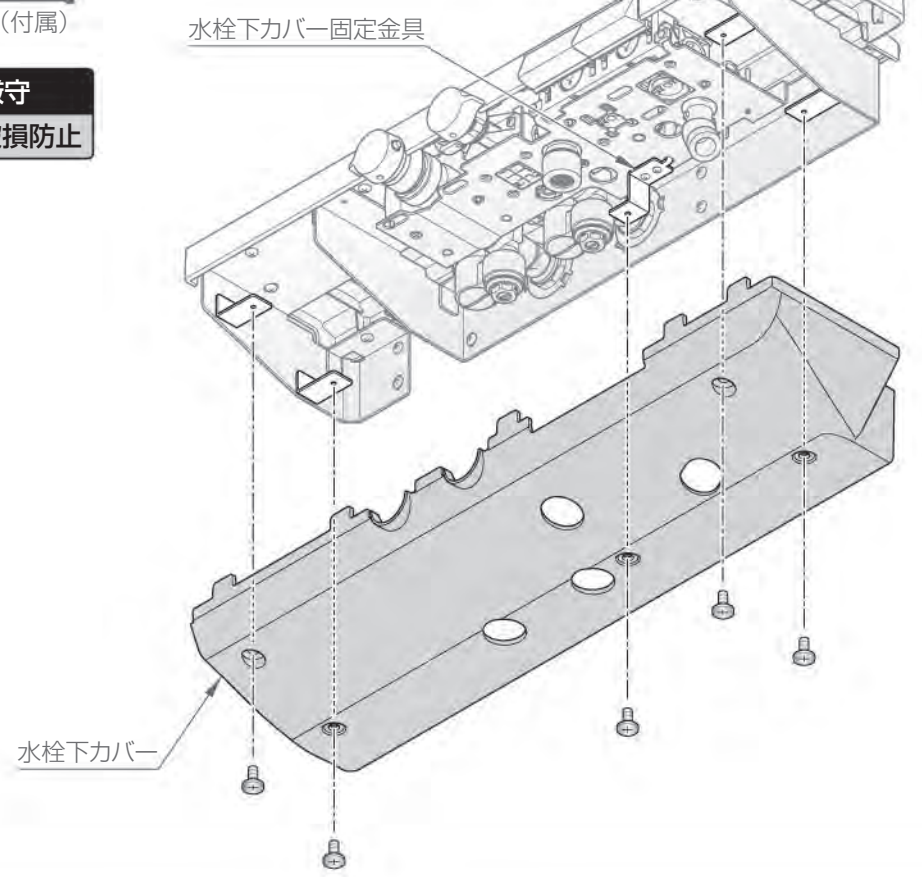


5 水栓下カバー取付け

※図はオーバーヘッドシャワーなしの場合

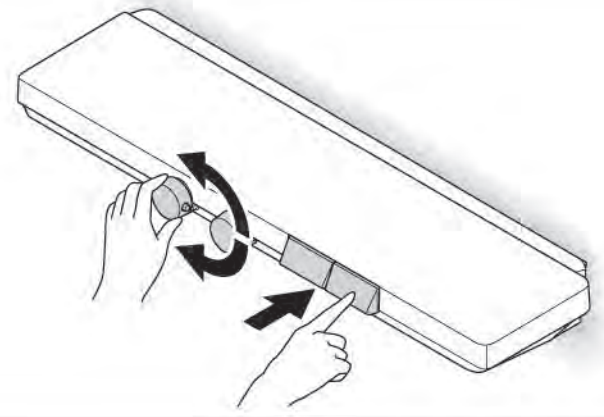
平小ねじM4×10
×5 (付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止



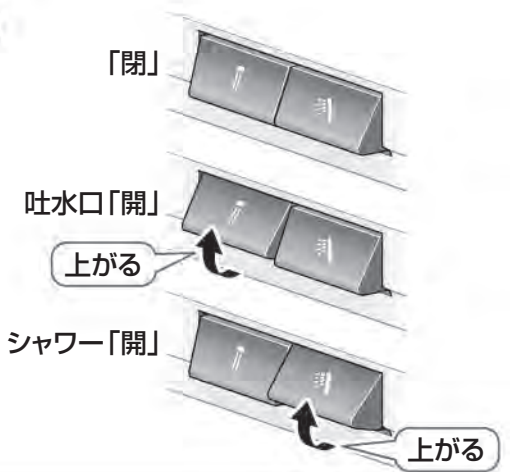
【取付状態確認事項】

- ・ボタンを押す
 - ・ハンドルを回す
- に引っかかりや、こすれないこと

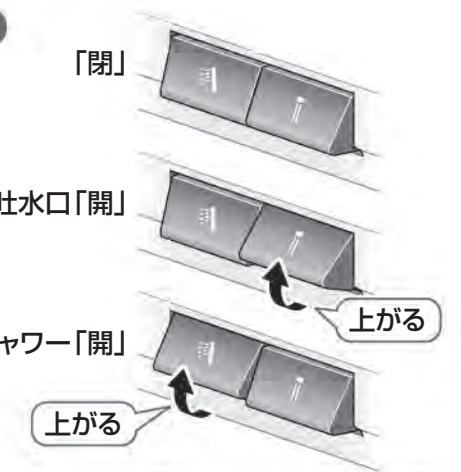


【吐水口/シャワー開閉ボタン状態図】

R勝手



L勝手



背もたれ

6 背もたれ支持材取付け



トラスとがり先ねじ4.2×25
すべて (付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

一番初めの支持材のみ長穴中心で仮固定

① 端から順に水平出し

② 水平を出した隣の支持材と水平を出し、仮固定

③ 現物合せ
すべての水平確認後

④ 本固定

背もたれ支持材

1616	4個
1717	4個
1620	5個
1624	6個

7 背もたれライン照明取付け



トラス小ねじM4×5
ライン照明セット (①⑤) (LED照明付属)



手締め厳守
ねじ山破損防止

① ライン照明取付け

① 中央付近の支持材に仮固定

② 同記号、同番号のコネクター接続
コネクターはカチッと、確実に接続すること

③ コネクター接続後、コードを壁裏に押し出す

④ 壁貫通部材

⑤ 本固定

照明本体

背もたれ支持材

連通ホース

手前に出しておく
挟み込み防止

■中継/リモコンコードの接続部合わせかた

機器本体/リモコン

中継/リモコンコード

ラベル

接続部

ラベル

【例】

F-1 ユニット

F-1 床ワイパー洗浄 (ユニットコード 電源側)

記号を合わせる



トラスとがり先ねじ4.2×25
壁貫通部 ×2 (④) (LED照明付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

② 段付ねじ取付け



段付ねじ
×2 (付属)



シリコン塗布
水漏れ防止

① 下記表に合わせてけがく ※高さ方向：背もたれ支持材パッキンの上面より7mm

呼び寸法	A寸法
L=1250	160
L=1650	115
L=2050	115

7mm

Amm

7mm

②

※図はL=1650

8 背もたれ本体取付け



支持材付属ねじ
すべて (背もたれ支持材付属)

⑥ ライナーを受け固定材の上に置き、壁に固定バネと背もたれ本体2つを押さえつけながら本固定

同梱ライナー (t=2.5mm)

ライナーを壁と背もたれ受け固定材に挟まないよう注意!!

2.5mm

壁

④ 基準の受け固定材 (1つ丸穴) から本固定

② 仮固定
必ず1カ所ねじ仮固定する
手を放すと落下するため

③ 1カ所仮固定後、中央付近の受け固定材 (2カ所 or 3カ所) に置き、ねじで仮固定

固定バネ

呼び	固定バネ数量
L=1250	2個
L=1650	3個
L=2050	2個

(固定バネセットは背もたれ上カバーのアンクル部に同梱)

⑤ 本固定

基準の受け固定材

背もたれ本体

9 背もたれ上下カバー取付け



平小ねじM4×10
すべて (付属)



手締め厳守
ねじ山破損防止

バックシン

クリック感があるまで
はめ込む

1

2

3

5

5

必ず右から2番目の丸穴から固定する
P.53の基準の受け固定材に対応

上カバー

下カバー
(外面：シボ有り、
内面：シボ無し)

壁側

洗い場側

4 調整

上カバー

下カバー

背もたれ
(手前側)

上カバーと下カバーの両端の出っ張りが
均等になっていることを確認する

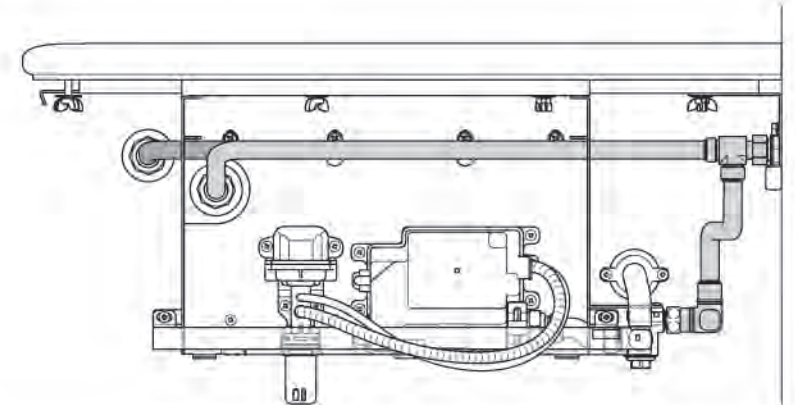
※均等ではない場合、上カバーを
左右にずらして出っ張りが均等
になるよう調整する

MEMO

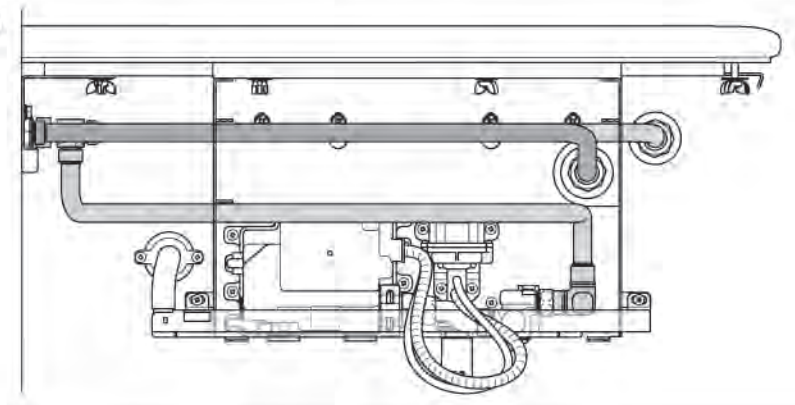
ベンチカウンター

【完成正面図 バリエーション一覧】 ※図は床ワイパー洗浄ありの場合

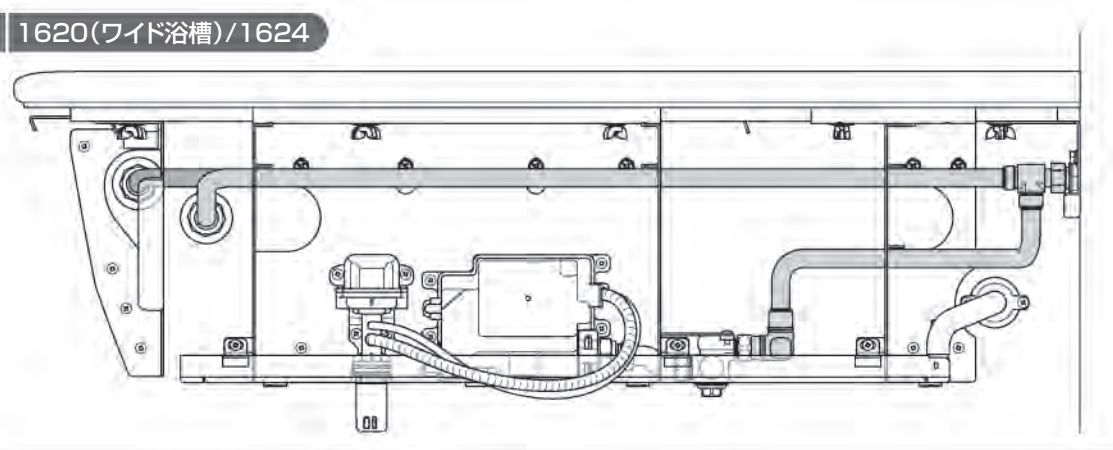
R勝手 1616/1717



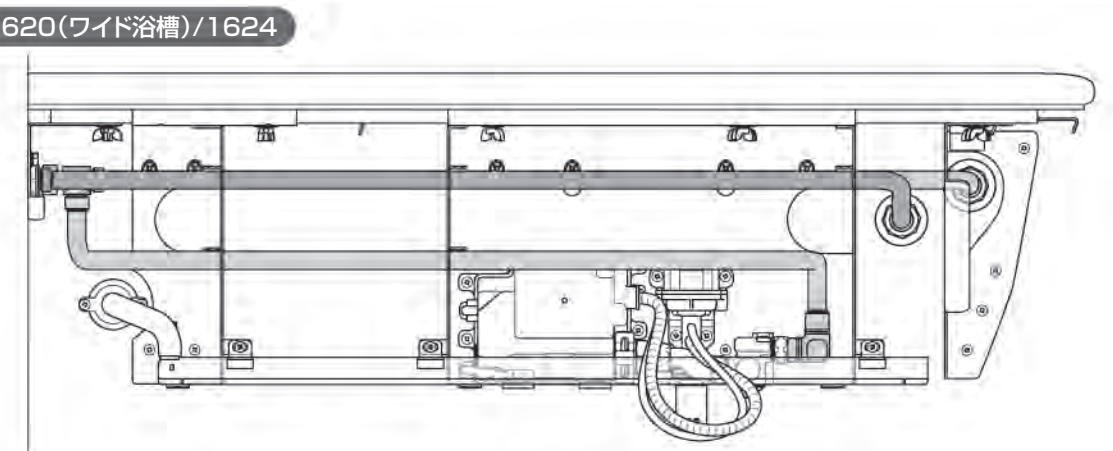
L勝手 1616/1717



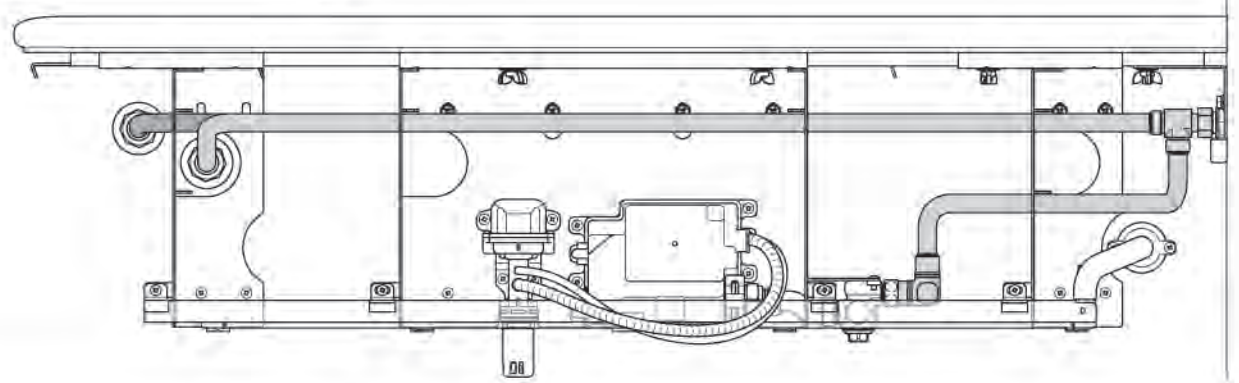
R勝手 1620(ワイド浴槽)/1624



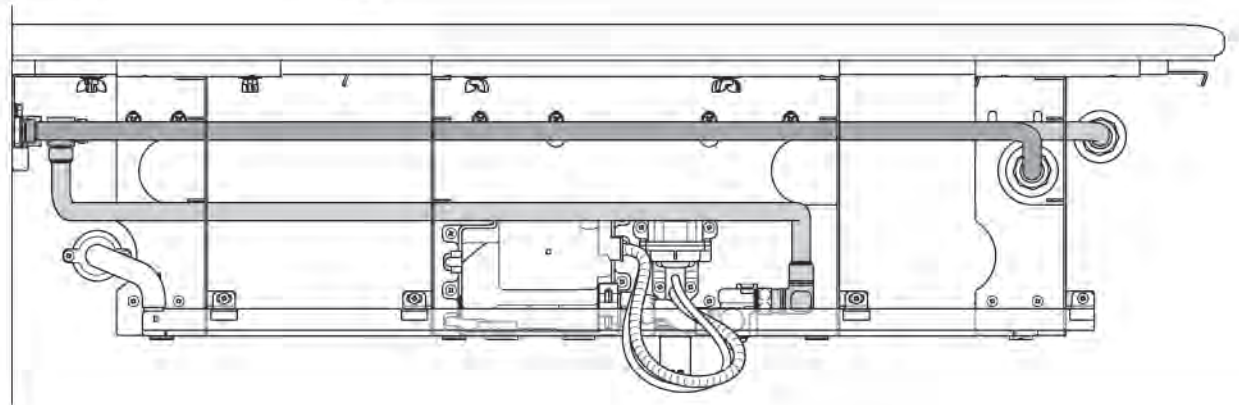
L勝手 1620(ワイド浴槽)/1624



R勝手 1620(ストレート浴槽)



L勝手 1620(ストレート浴槽)



10 ベンチカウンター支持材取付け

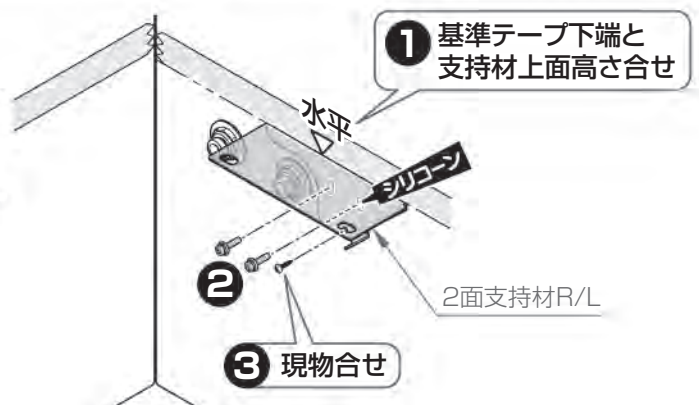
① 支持材取付け基準出し 高さ注意



② 2面支持材取付け

- 六角ボルトM6×30 ×2(②) (ねじセットに付属)
- トラスとがり先ねじ4.2×25 ×1(③) (ねじセットに付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止



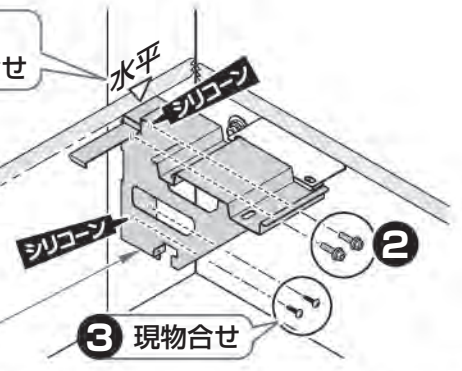
③ 補助支持材取付け(1616/1717以外)

- 六角ボルトM6×30 ×2(②) (ねじセットに付属)
- トラスとがり先ねじ4.2×25 ×2(③) (ねじセットに付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止

① 基準テープ下端と 支持材上面高さ合せ

ベンチカウンター補助支持材R/L



④ ベンチカウンター支持材取付け(全サイズ共通)

- 六角ボルトM6×30 ×4(①④) (ねじセットに付属)

- トラスとがり先ねじ4.2×25 ×4(⑤) (ねじセットに付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止

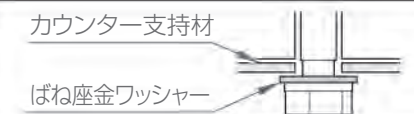
10mm以上すき間をあける

1616/1717以外

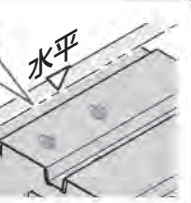
① 中央側の2本のみ仮固定

② 引っ掛ける

引掛け用ボルトのばね座金/ワッシャーが 支持材の手前側にあることを確認する



③ 基準テープ下端と 支持材上面高さ合せ



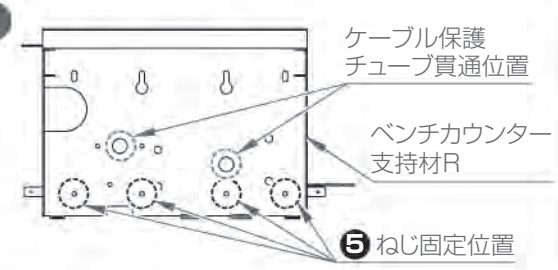
④ 本固定

ケーブル保護 チューブ

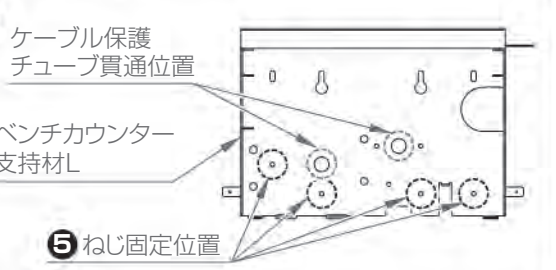
⑤ 現物合せ

ケーブル保護チューブをカウンター支持材の穴に通しながら取り付ける

R勝手



L勝手



⑤ 浴槽側補助支持材取付け(1620(ストレート浴槽))



六角ボルトM6×30
×2(②) (ねじセットに付属)



トラスとがり先ねじ4.2×25
×2(③) (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

① 基準テープ下端と
支持材上面高さ合せ

②

③ 現物合せ

④ 取付け後、基準出し
のマスキングテープ
をはがす

水平

シリコン

ベンチカウンター補助支持材R/L

⑥ 追加受けフレーム取付け(1624/1620ワイド浴槽のみ)



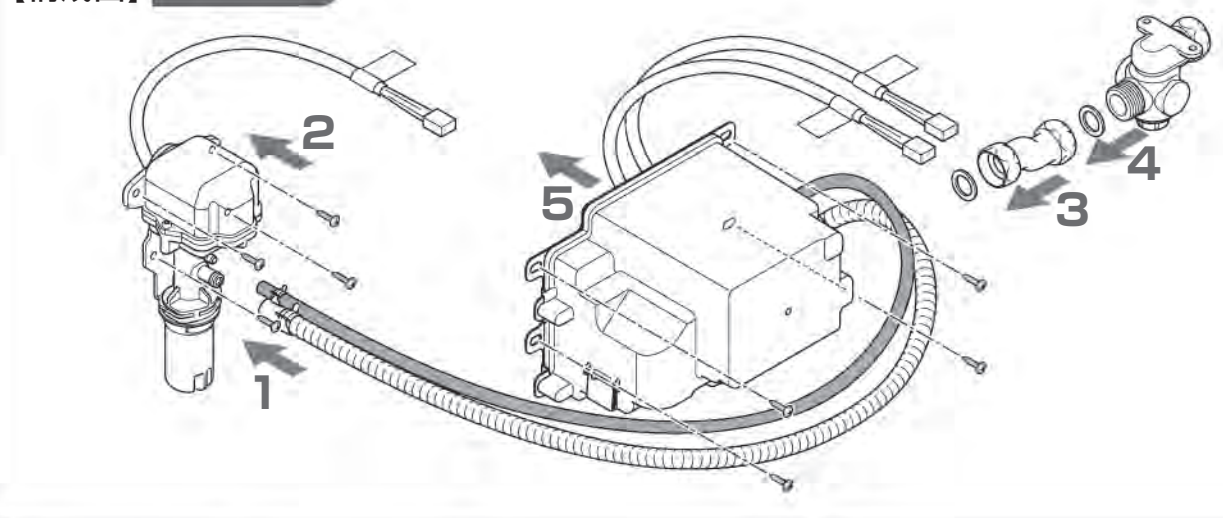
トラス小ねじM4×12
×2 (付属)

追加受けフレーム
EKK41671

ベンチカウンター支持材R/L

11 床ワイパー洗浄システム取付け

【構成図】 R/L勝手共通



① ホース接続 ノズル取付け前

ノズル

① 奥までしっかり接続

ホース(白)

ホース(黒)

ホースクリップ

② ホースクリップ
でとめる

② ノズル取付け

① 同記号、同番号のコネクター
接続(F-4)

φ20穴

F-4

室内

カチッ!

カチッと音がするまで差し込むこと

② コネクター接続部と
コードをすべて穴から
外に出す

室内

室外

φ20穴

トラスとがり先ねじ 4.2×25
×4 (ねじセットに付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

ベンチカウンター支持材

シリコン

ノズル

③ 現物合せ

③ 除菌ユニット取付準備

① 除菌ユニット、除菌水接続継手、
止水栓(ストレート)の接続

除菌ユニット

除菌水接続継手
EKD71079

止水栓(ストレート)

寒冷地/北海道
水抜栓兼用止水栓
TN152-1Z
水抜きコック

② 同記号、同番号のコネクター接続

F-2

φ20穴

室内

F-3

カチッ!

カチッと音がするまで差し込むこと

③ コネクター接続部とコードを
すべて穴から外に出す

室内

室外

φ20穴

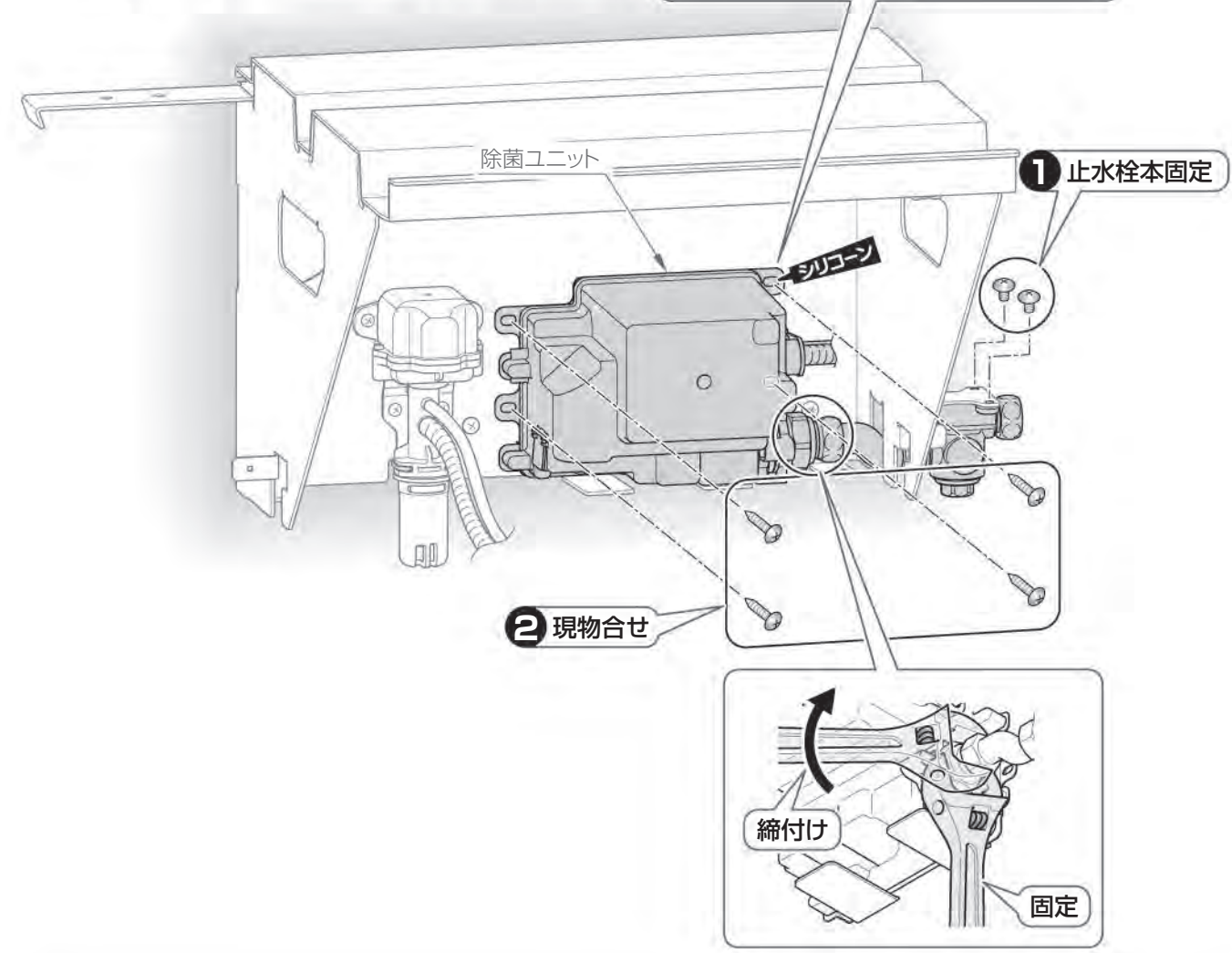
④ 除菌ユニット本固定

トラス小ねじM4×10
×2(1) (ねじセットに付属)

トラスとがり先ねじ4.2×25
×4(2) (ねじセットに付属)

シリコーン塗布
水漏れ防止

シリコーン塗布には、
シリコーン曲がりノズル(EKL00047)を
使用すること



MEMO

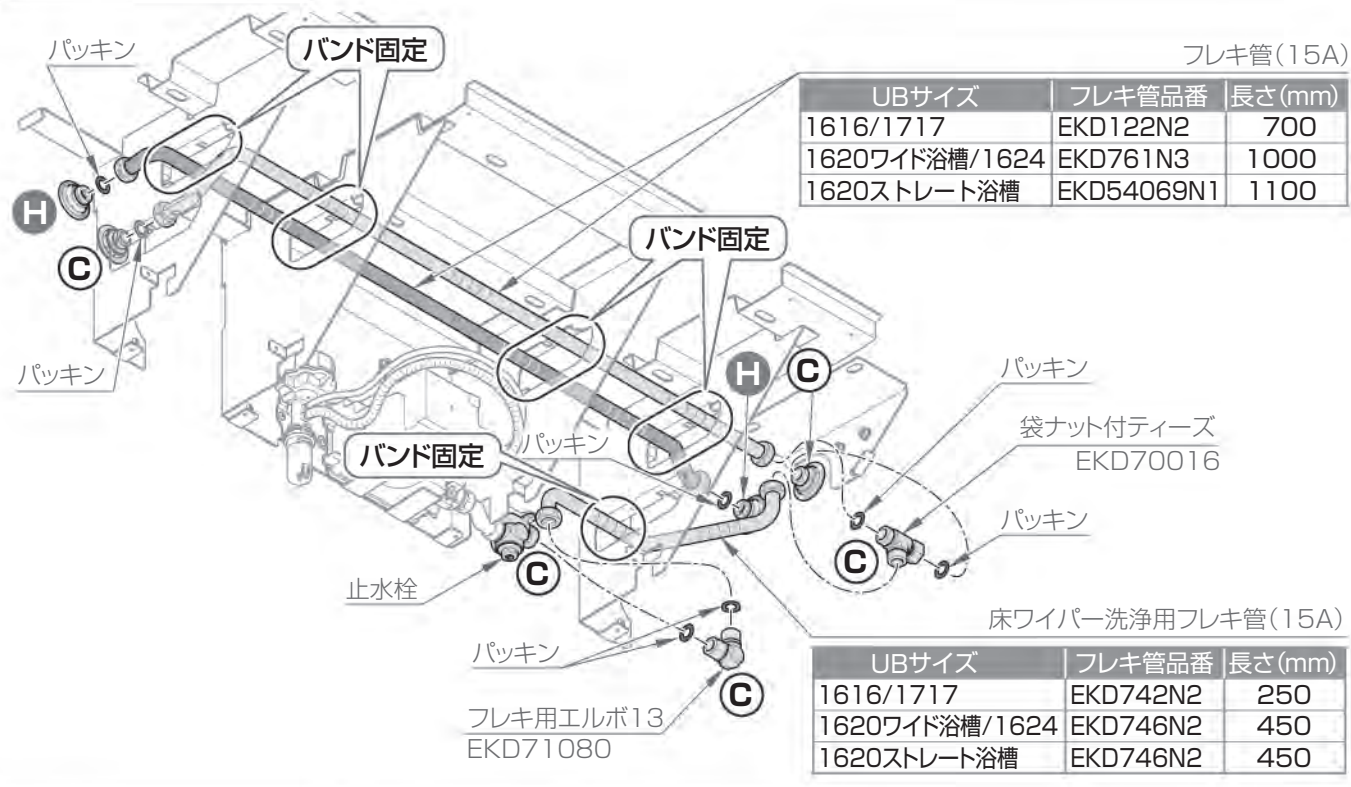
12 カウンター内部配管接続

床ワイパー洗浄あり

R勝手 一般地・寒冷地兼用 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

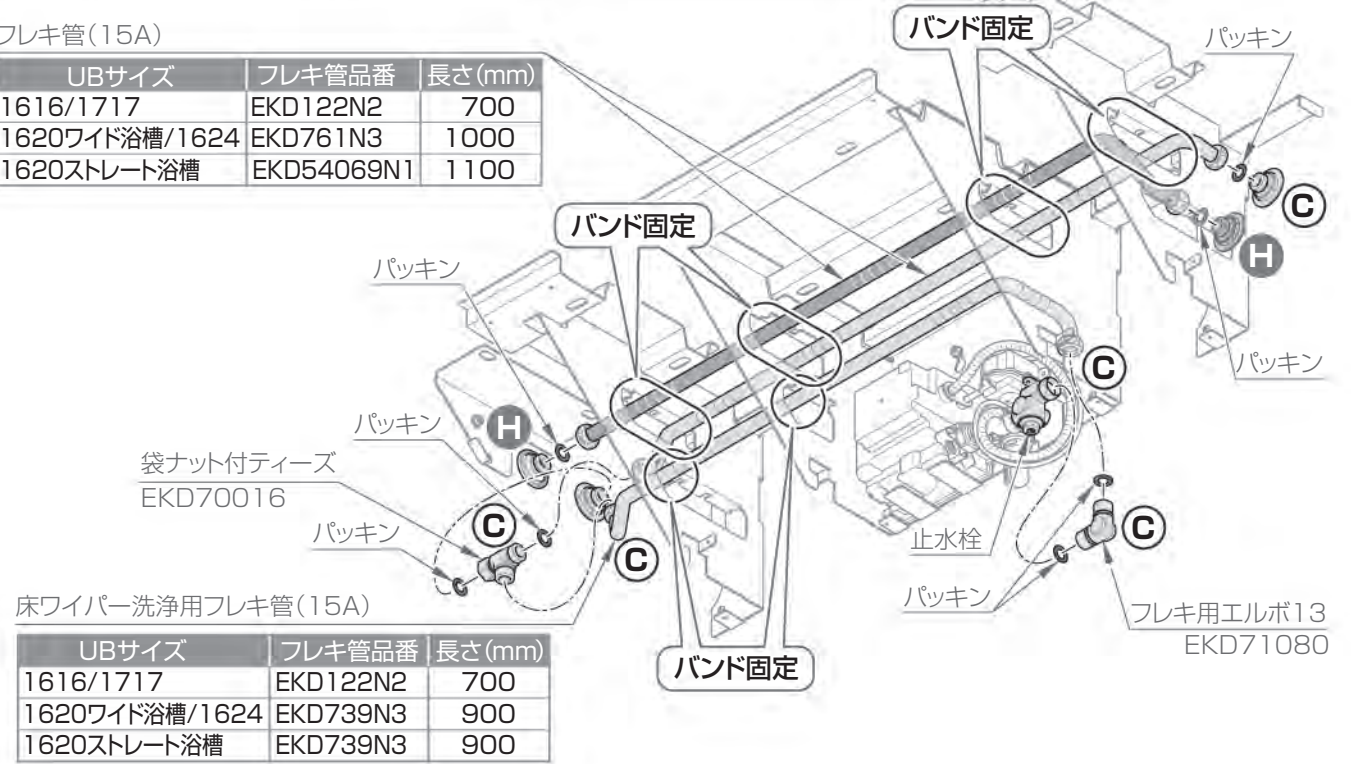
接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける 音鳴り防止



L勝手 一般地・寒冷地兼用 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合

パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける 音鳴り防止



床ワイパー洗浄なし

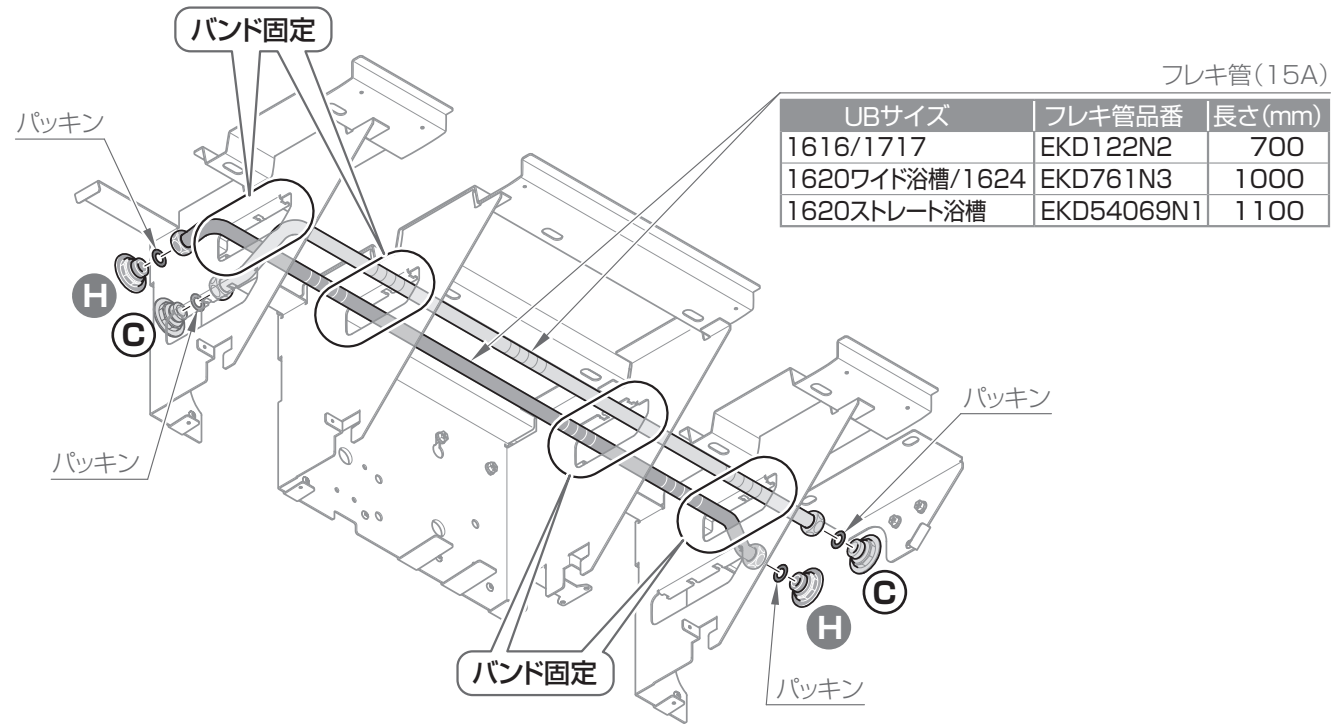
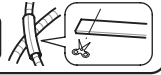
R勝手 一般地・寒冷地兼用 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



フレキ管(15A)

UBサイズ	フレキ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD761N3	1000
1620ストレート浴槽	EKD54069N1	1100

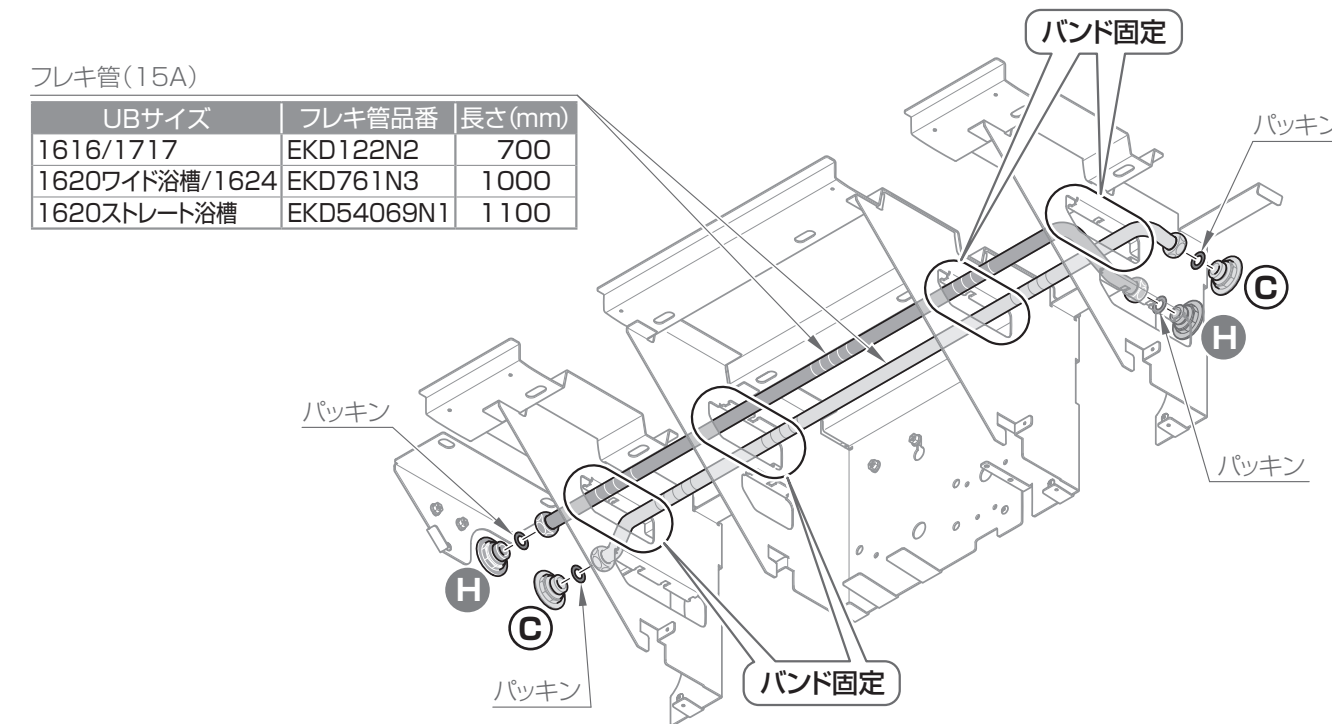
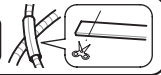
L勝手 一般地・寒冷地兼用 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



フレキ管(15A)

UBサイズ	フレキ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD761N3	1000
1620ストレート浴槽	EKD54069N1	1100

床ワイパー洗浄あり(壁裏接続)

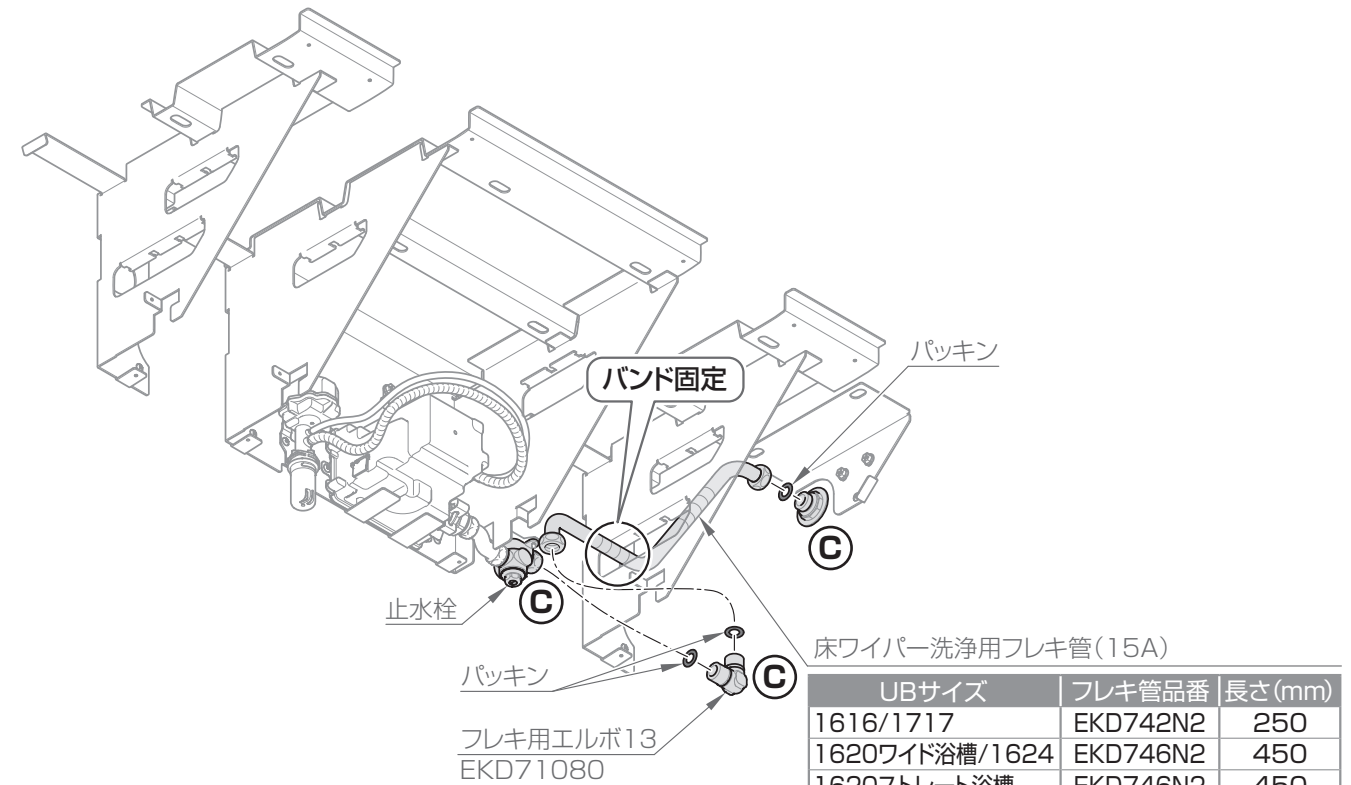
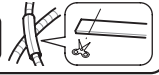
R勝手 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



床ワイパー洗浄用フレキ管(15A)

UBサイズ	フレキ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD742N2	250
1620ワイド浴槽/1624	EKD746N2	450
1620ストレート浴槽	EKD746N2	450

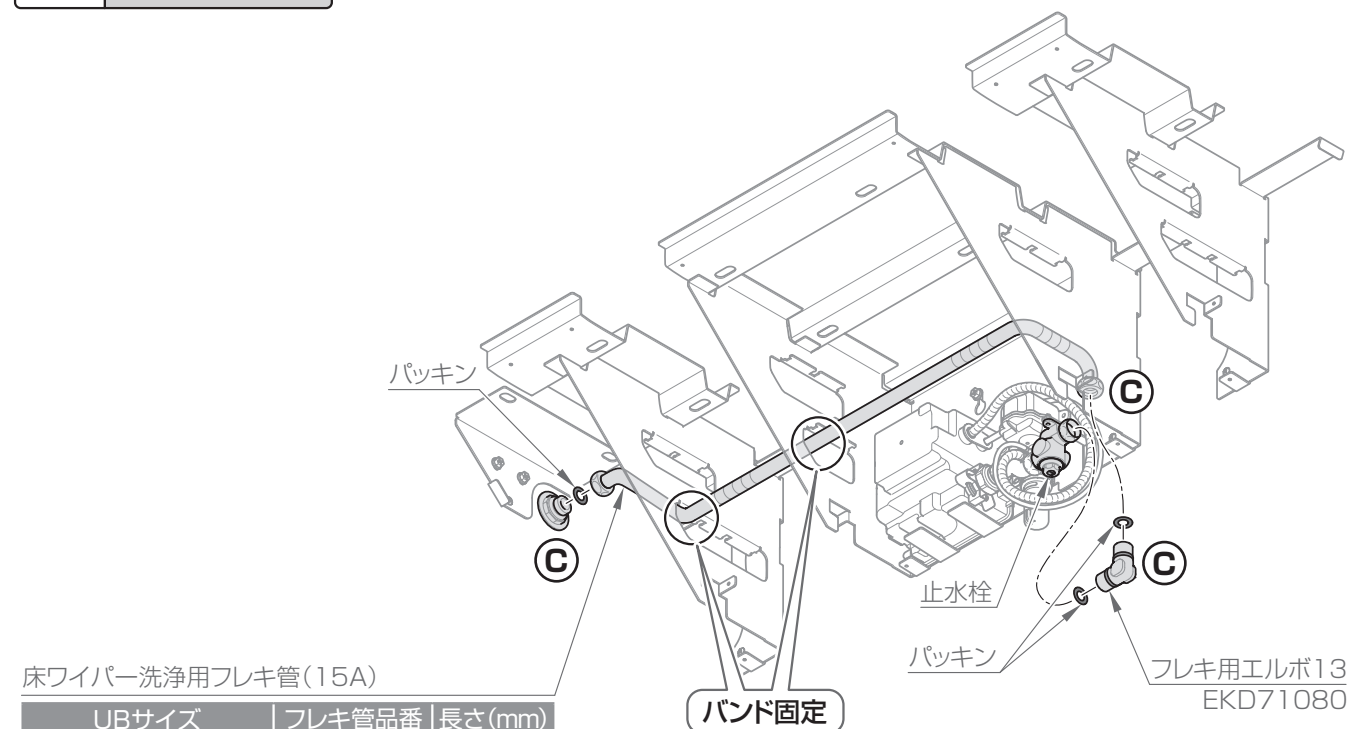
L勝手 配管接続チェック ※図は1620ストレート浴槽の場合



パッキン忘れ注意
水漏れ防止

接触のおそれのある場合は、
給水給湯管シール材を巻き付ける

音鳴り防止



床ワイパー洗浄用フレキ管(15A)

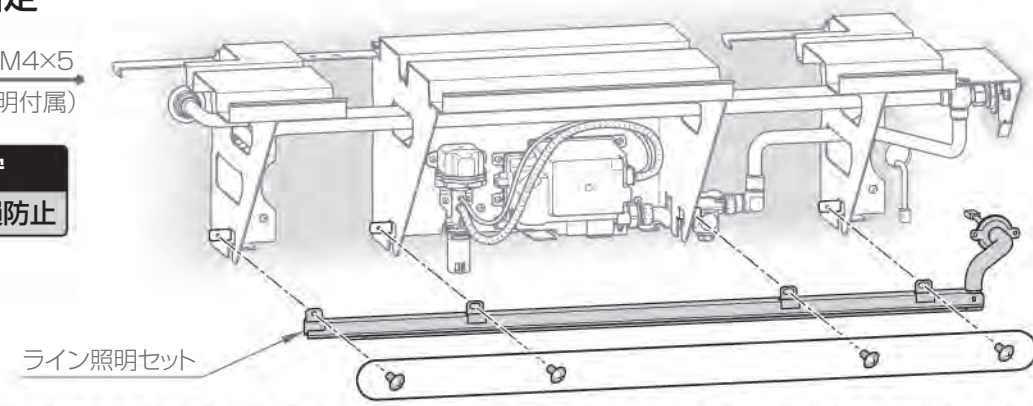
UBサイズ	フレキ管品番	長さ(mm)
1616/1717	EKD122N2	700
1620ワイド浴槽/1624	EKD739N3	900
1620ストレート浴槽	EKD739N3	900

13 ベンチカウンター照明取付け

① 照明本体固定

トラス小ねじM4×5
すべて (照明付属)

手締め厳守
ねじ山破損防止

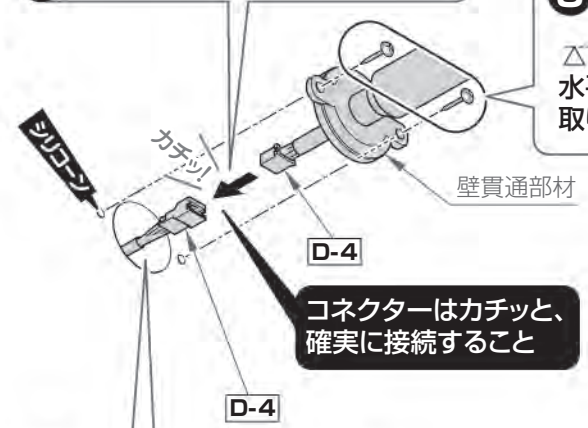


② 壁貫通部材固定

トラスとがり先ねじ4.2×25
×2 (照明付属)

シリコン塗布
水漏れ防止

① 同記号、同番号のコネクター接続

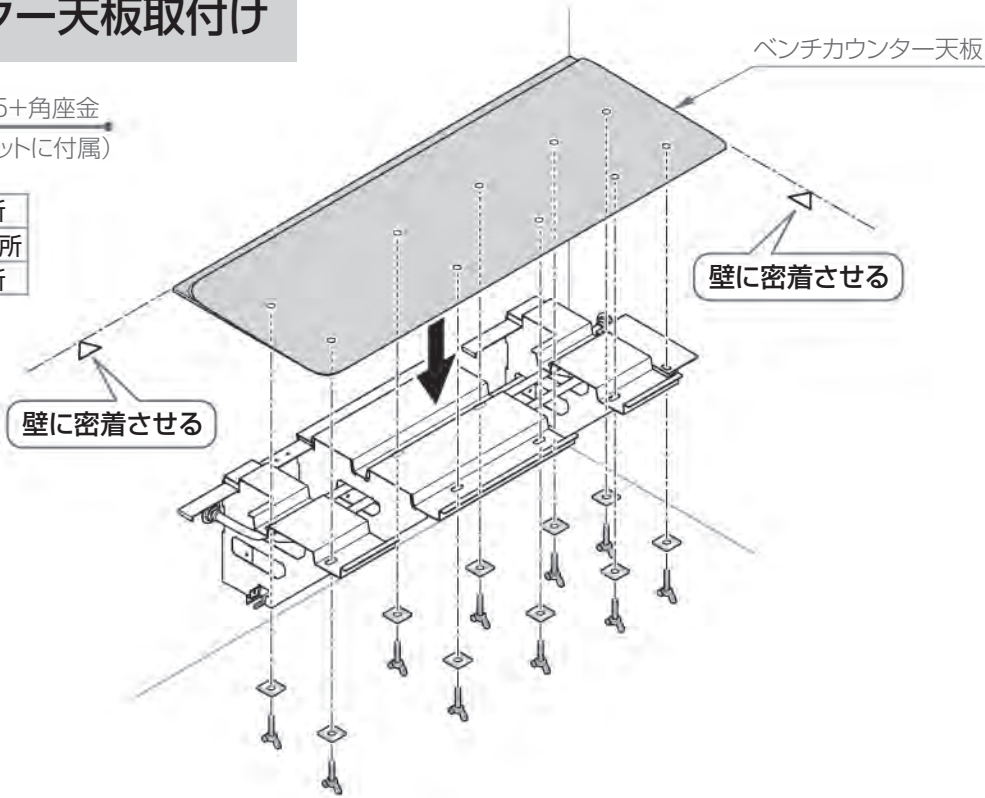


② コネクター接続後、コードを壁裏に押し出す

14 ベンチカウンター天板取付け

蝶ボルト M6×15+角座金
すべて (ねじセットに付属)

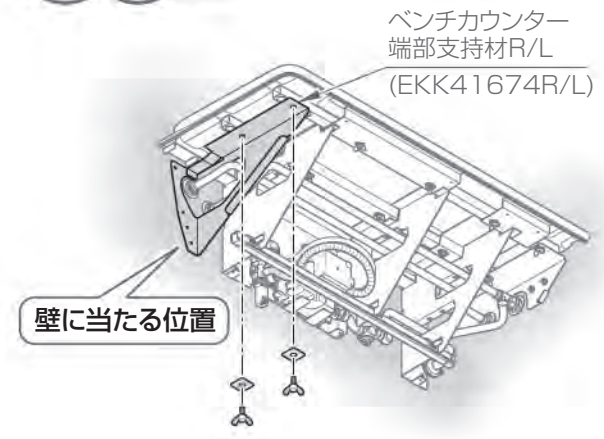
1624/1620(ワイド浴槽)	8カ所
1620(ストレート浴槽)	10カ所
1717/1616	6カ所



1624/
1620
(ワイド浴槽) 15 端部支持材取付け

① 上部固定

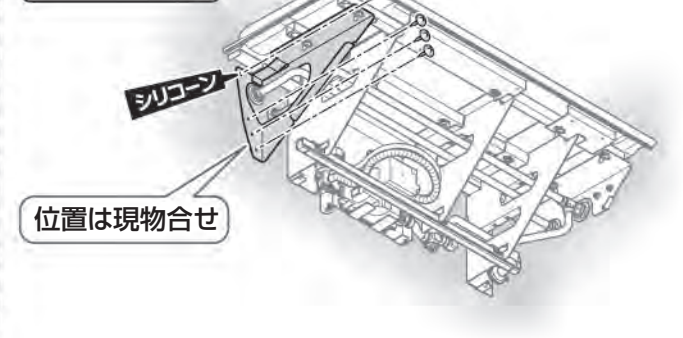
蝶ボルト M6×15+角座金
×2 (端部支持材に付属)



② 壁面部固定

トラスとがり先ねじ 4.2×12
×4 (端部支持材に付属)

シリコン塗布
水漏れ防止
12mmを超える長さのねじは使用不可



16 ベンチカウンターエプロン取付け

平小ねじM4×10
すべて (ねじセットに付属)

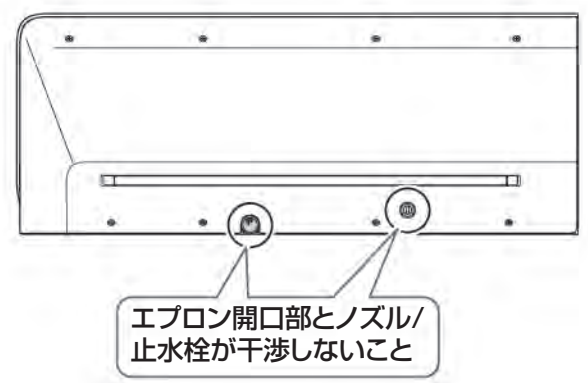
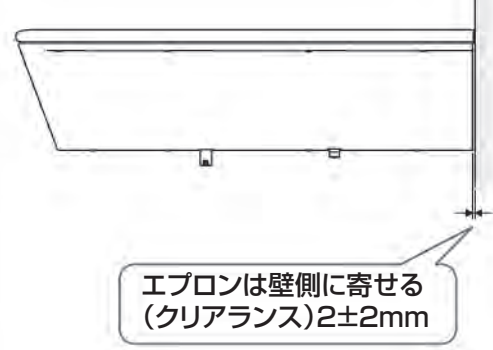
手締め厳守
ねじ山破損防止

UBサイズ/浴槽タイプ	ねじ本数
1624/1620 (ワイド浴槽)	6本
1620 (ストレート浴槽)	8本
1616/1717	4本

ねじは全箇所を仮固定した後、
下記の位置調整をしてから本固定する

※図は1620ストレート浴槽/床ワイパー洗浄ありの場合

【ベンチカウンターエプロンの位置調整】

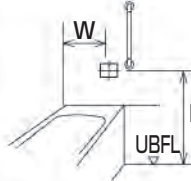
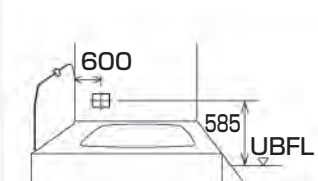


K. 器具

リモコン

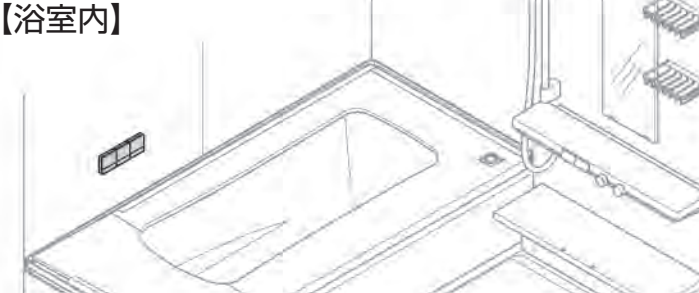
【給湯機リモコン参考位置】

※他の器具(手すり・窓・鏡など)と干渉する場合があるので、十分確認したうえで位置を決定すること
正面側の参考位置に取り付けられない場合は、側面側を検討すること
正面側で参考位置以外に取り付ける場合は、壁裏配管と干渉しないように十分確認すること

正面側				側面側	
	サイズ	タイプ	W	H	
	1624	G R D C	775	620	
		B		920	
	1624以外	G R D C	375	620	
		B		920	

UBFL 注意 上記位置の場合はインテリアバー(浴槽横)なしを選択してください。

【リモコン取付イメージ図】
【浴室内】



【浴室外】電気工事区分



給湯機



床ワイパー洗浄

ヒカルリモコン [浴室内設置]

浴室内設置 単独

① 壁ケガキ図にてケガく

② ヒカルリモコン本体仮固定

ポンチ打ち

固定用ねじ x1 (付属)

仮固定

ヒカルリモコン (メタル調) 本体

現物合わせ

③ ヒカルリモコン本体固定

固定用ねじ x2 (付属)

シリコン塗布 水漏れ防止

締めすぎ禁止 破損防止

水平確認しながら取り付け

② 本固定

はみ出たらふきとる

ヒカルリモコンコード

① コード接続

リード線

コネクター

を上にする

④ カバー取付け

カバーは確実に取り付ける
操作できなくなるおそれ

カバー

上からかぶせて下部を押し付ける

カチッとほめる

【取り外す場合】

② 切り欠き 布や紙 (キズ防止)

① 軽くひねる

マイナスドライバー

2連

① 付属のヒカルリモコン用ケガキシートにてケガく

ポンチ打ち(4カ所)

② ヒカルリモコン本体仮固定

固定用ねじ x1 (付属)

仮固定

ヒカルリモコン (メタル調) 本体

※φ32穴加工ありの場合は現物合せ

③ ヒカルリモコン本体固定

固定用ねじ x4 (付属)

シリコン塗布 水漏れ防止

締めすぎ禁止 破損防止

水平確認しながら取り付け

② 本固定

はみ出たらふきとる

ヒカルリモコンコード

① コード接続

リード線

コネクター

を上にする

④ カバー取付け

カバーは確実に取り付ける
操作できなくなるおそれ

カバー

上からかぶせて下部を押し付ける

カチッとほめる

※取り外す場合は「単独」と同様

3連

① 付属のヒカルリモコン用ケガキシートにてケガく

ポンチ打ち(6カ所)

② ヒカルリモコン本体仮固定

固定用ねじ x1 (付属)

仮固定

ヒカルリモコン (メタル調) 本体

※φ32穴加工ありの場合は現物合せ

③ ヒカルリモコン本体固定

固定用ねじ x6 (付属)

シリコン塗布 水漏れ防止

締めすぎ禁止 破損防止

水平確認しながら取り付け

② 本固定

はみ出たらふきとる

ヒカルリモコンコード

① コード接続

リード線

コネクター

を上にする

④ カバー取付け

カバーは確実に取り付ける
操作できなくなるおそれ

カバー

上からかぶせて下部を押し付ける

カチッとほめる

※取り外す場合は「単独」と同様

床ワイパー洗浄用リモコン [浴室外設置] 電気工事

※リモコンコードはシステムバスルーム組立て時に脱衣所・台所等へ延ばしておくこと

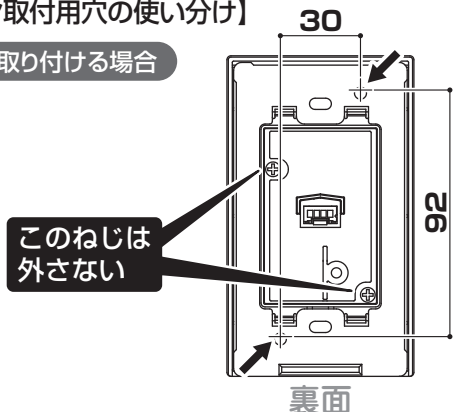
浴室内部取付け禁止
故障防止

リモコンは確実に取り付ける
動作不良防止

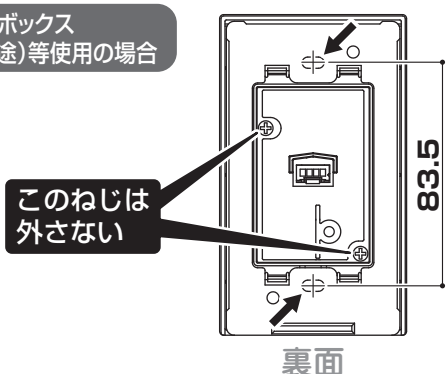
スイッチボックス等に取り付ける場合は、ねじを締めすぎない
フレームが変形してリモコンがうまく入らなくなったり、
フレームと壁のすき間が大きくなる原因

【リモコン取付用穴の使い分け】

壁に直接取り付ける場合

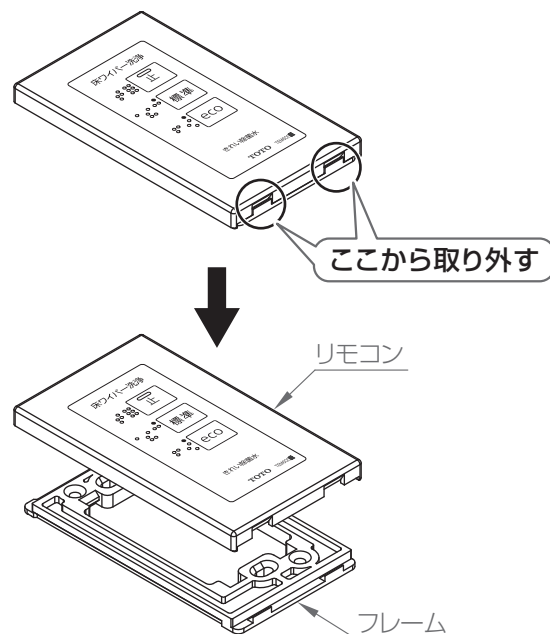


スイッチボックス
(材工別途)等使用の場合

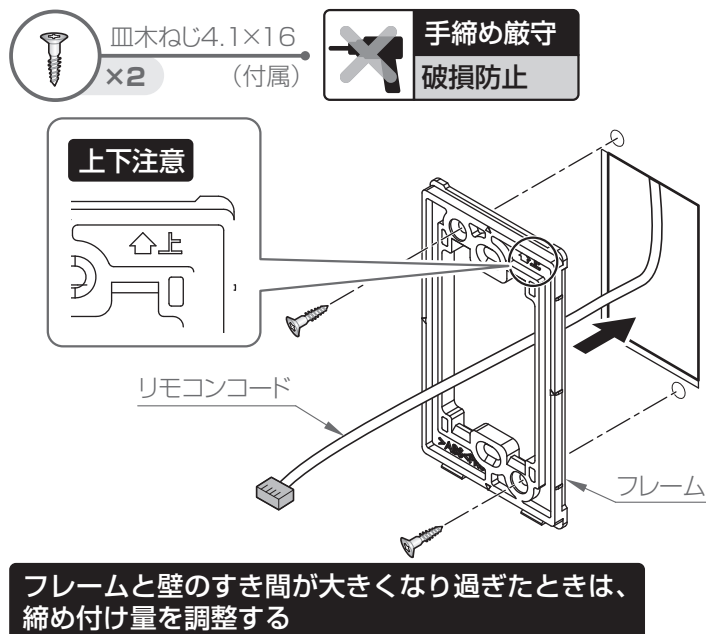


壁に直接取り付ける場合

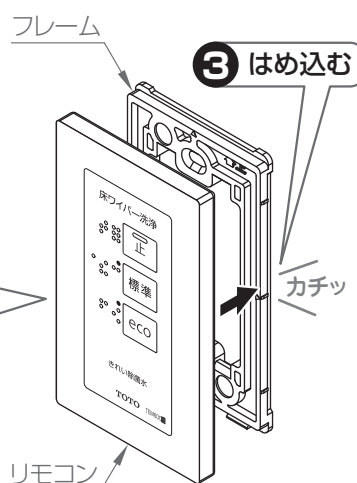
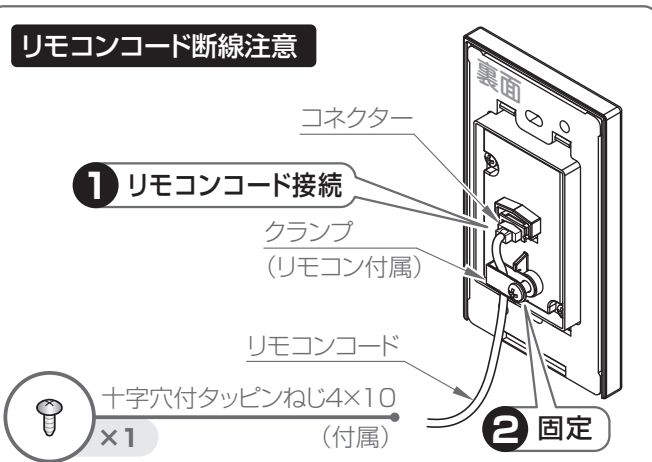
① リモコンからのフレーム取外し



② フレーム壁固定

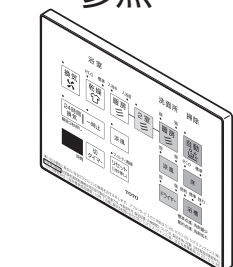


③ リモコン固定



マルチリモコン
[浴室外設置]
電気工事

同梱 設置説明書
参照



※イラストは一例

L. ドア

※ドアの詳細は組立説明書参照

床ワイパー洗浄 ドアセンサーマグネットの取付け **新商品**

折戸、開き戸、引戸をまとめて記載 P.70参照

L1. ドア(折戸)

- 1 吊元交換
- 2 障子吊込み
- 3 引手取付け
- 4 ドアセンサーマグネット取付け
- 5 ラッチ調整

L3. ドア(3枚引戸)

- 1 取っ手・サムターン取付け
- 2 下枠レール取付け(一部)
- 3 障子取付け
- 4 調整
- 5 固定側障子施錠

L2. ドア(開き戸)

- 1 緩衝材取外し
- 2 ドアロック・ハンドル取付け
- 3 ドアセンサーマグネット取付け
- 4 障子吊込み
- 5 調整
- 6 開閉確認

L4. ドア(片／2枚引戸)

- 1 ブロック取付け
- 2 袖パネル取付け
- 3 取っ手・サムターン取付け
- 4 ドアセンサーマグネット取付け
- 5 下枠レール・障子・下枠カバー取付け
- 6 障子取付け
- 7 調整

L6. ドア(FIX窓／共通)

- 1 方立カバー取付け 本書では、この組立てはなし
- 2 後工事の方への引継ぎ

床ワイパー洗浄
ドアセンサーあり

ドアセンサーマグネット取付け

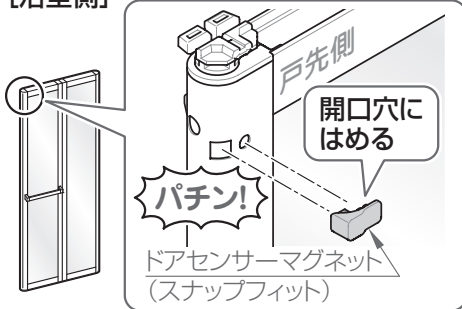
新商品

必ずドアにマグネットを取り付ける

取付け後は絶対に外したり動かしたりしない 破損防止

折戸

[浴室側]



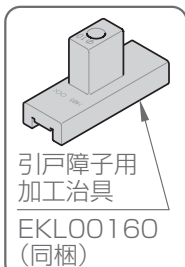
開き戸

φ13穴に合わせてはめ込む

ドアセンサーマグネット
(スナップフィット)

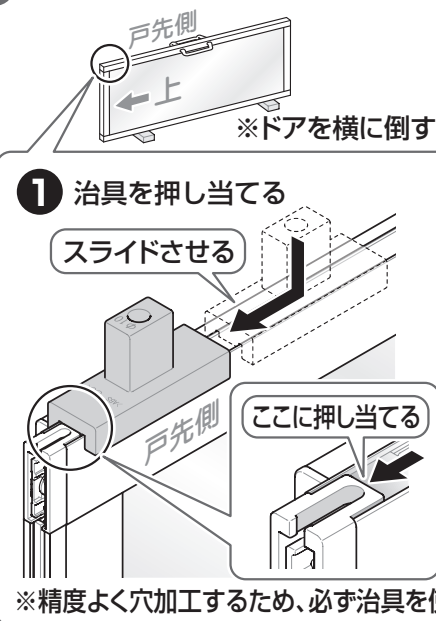
片引戸/2枚引戸

① 穴あけ



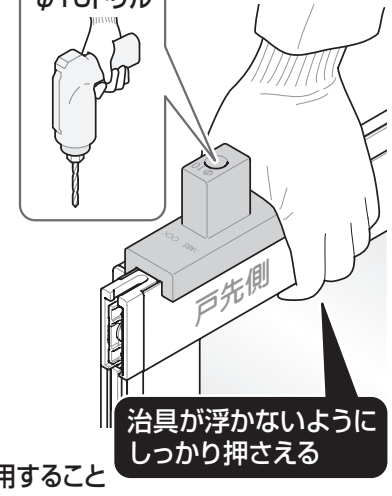
① 治具を押し当てる

スライドさせる



② 穴を開ける

φ10ドリル ※下穴不要

② ドアセンサー
マグネットの
取付け

開口穴にはめる

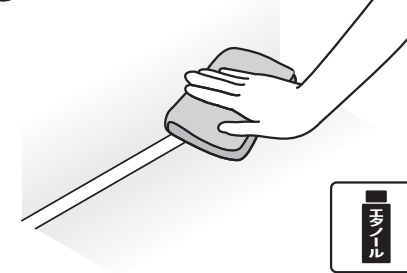
ドアセンサーマグネット
(スナップフィット)

MEMO

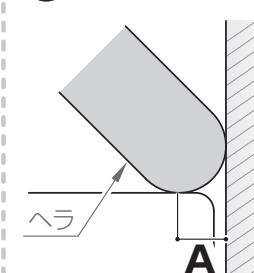
P. 仕上げ

1 シリコンコーキング(シリコンの打ちかた)

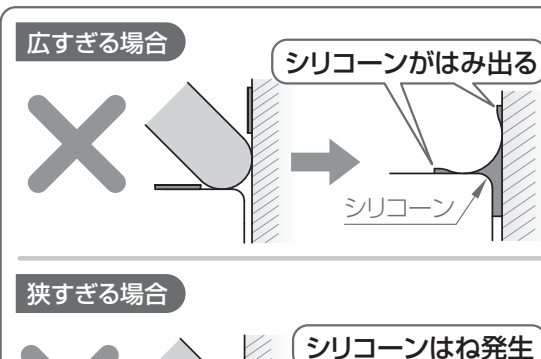
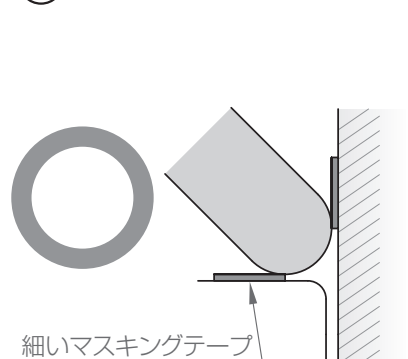
① 清掃・脱脂



② ヘラの選定



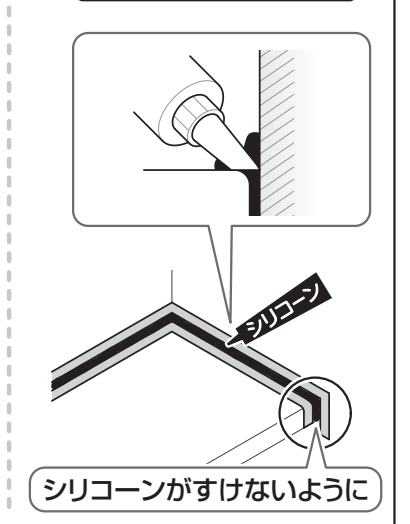
③ マスキングテープ貼り



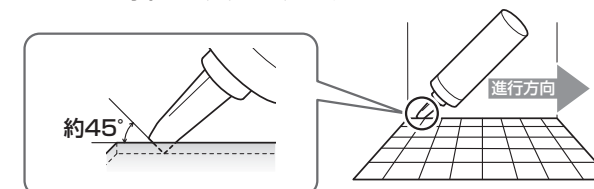
④ シリコンノズルカット



⑤ シリコン充てん

奥までたっぷり充てん
シリコン切れ防止

浴槽・洗い場床まわりは偏平ノズルを使用 シリコン切れ防止

【偏平ノズルの使いかた】
ノズルを斜めに奥まで差し込む

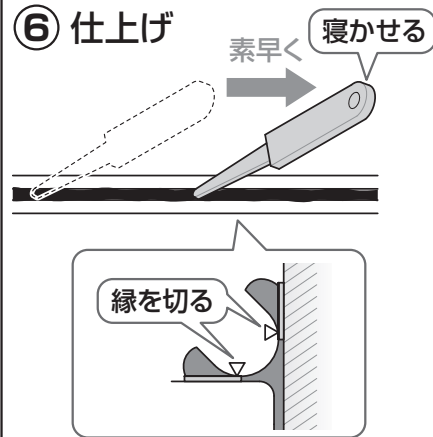
ガイドピースあり



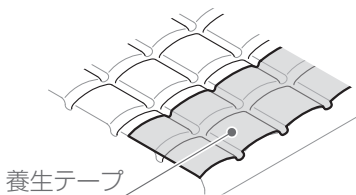
ガイドピースなし



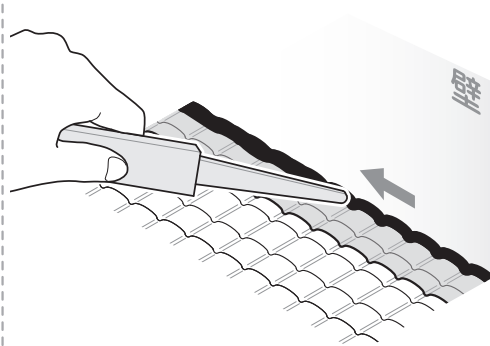
⑥ 仕上げ



床の場合



養生テープは床の隙まで貼り、床パターン形状に沿ってテープをなじませる。(溝部にシリコンを入り込ませないため)



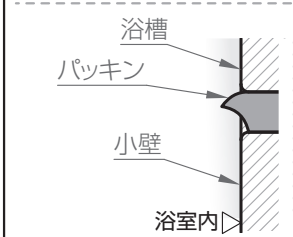
部位ごとのシリコンコーキング

※カウンターまわりのシリコンコーキングなし

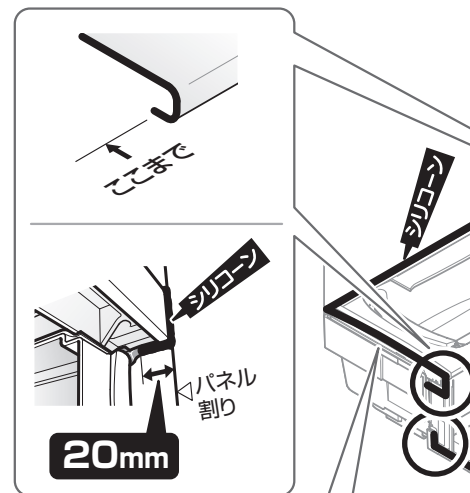
【浴槽まわり】

小壁パネルの上側パッキンを押し込む

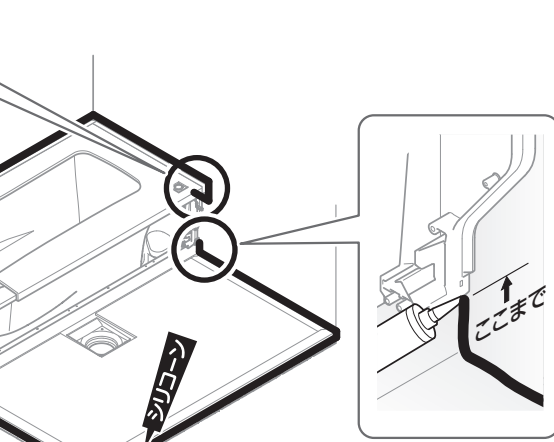
仕上げ用シリコン溝を確保するため



浴槽色	シリコン色	品番
ホワイト	ミルトホワイト	G967#MTW
アイボリー	ホワイト	G967C
ピンク	ホワイト	G967C
グレー	ライトグレー	G967LG
ブラウン	ブラック	G967K1
ブラック	ブラック	G967K1

【洗い場床まわり】**【新商品】**

床色	シリコン色	品番
ライト・セレーナ柄	オンプレ柄	
ホワイト	ホワイト	ミルトホワイト
グレー	ライトグレー	G967LG
ベージュ	ベージュ	ソフトベージュ
ブラウン	アンバー	G967AM
ブラック	ミッドナイトグレー	G967MNG1



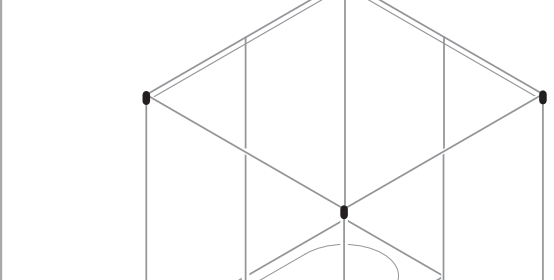
【ドア上小壁】

ドア色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
プラチナステン	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1



【天井四隅】

シリコン色	品番
ホワイト	G967C

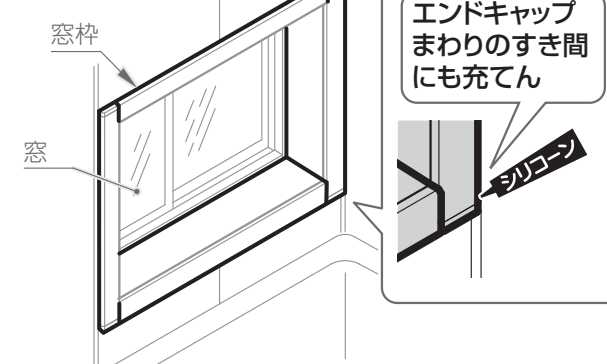


窓まわりのシリコンコーキング

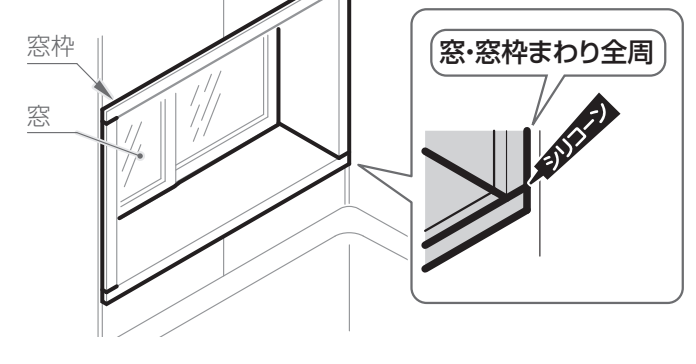
窓枠

窓枠色	シリコン色	品番
ホワイト	ホワイト	G967C
ベージュ	ソフトベージュ	G967#AGV1
ブラック	ブラック	G967K1

縦勝ち



横勝ち

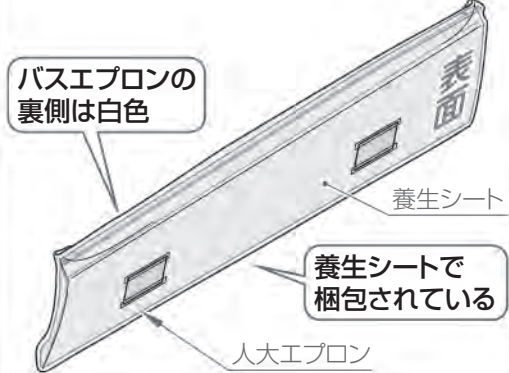


MEMO

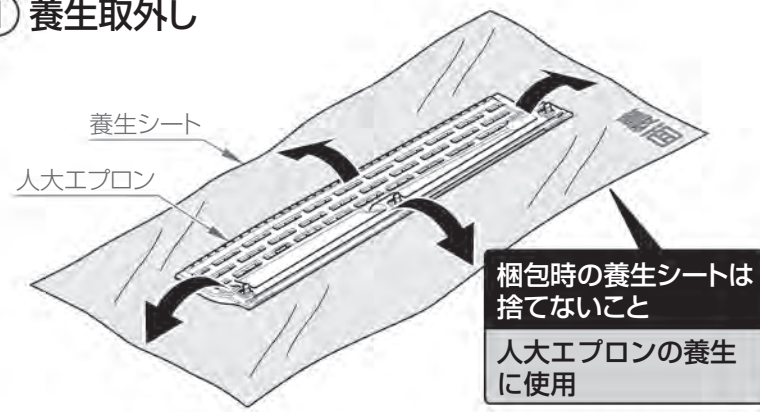
2 バスエプロン取付け

人大エプロン

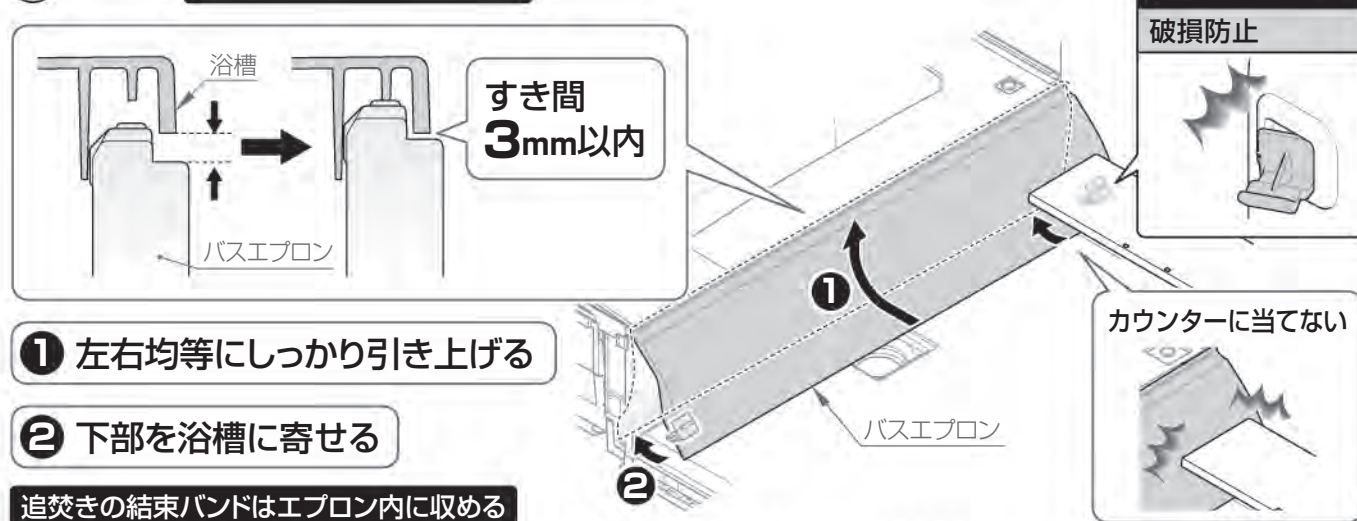
■人大エプロンについて



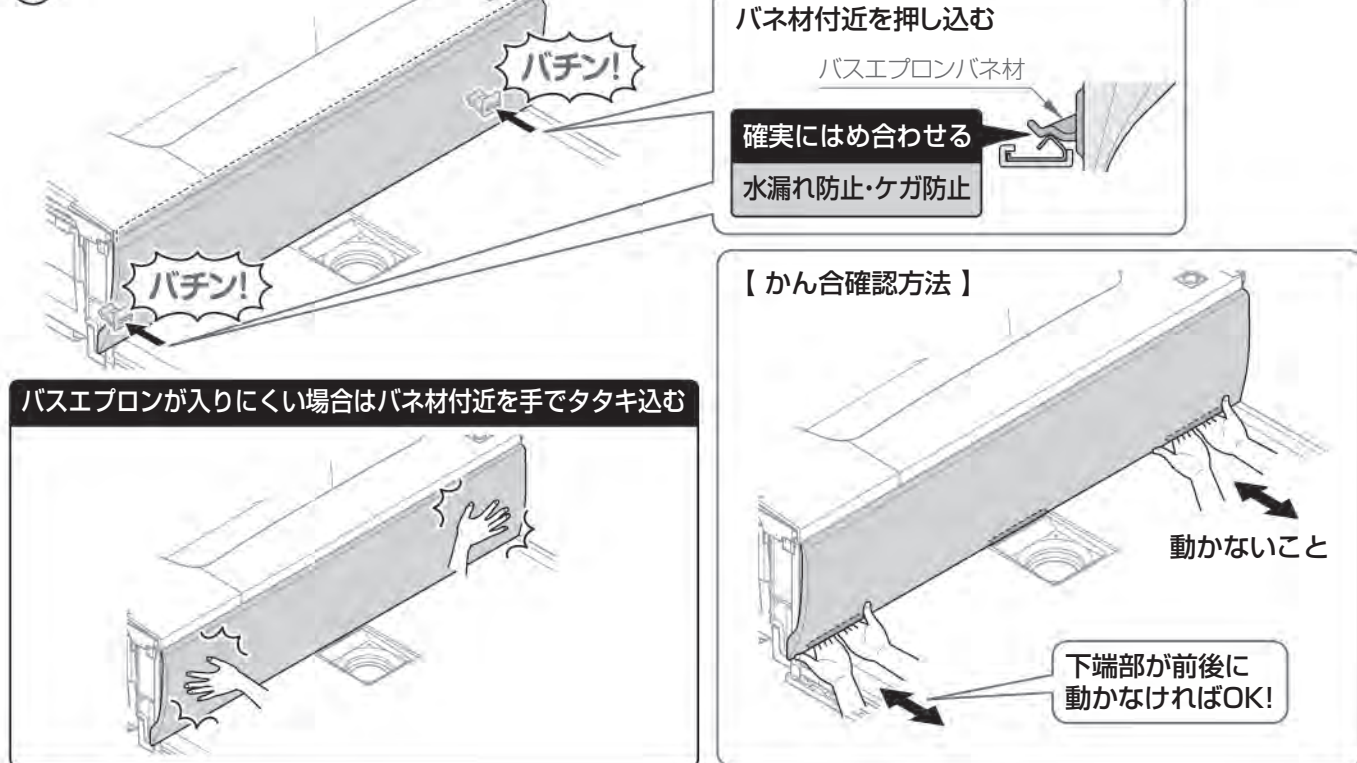
① 養生取外し



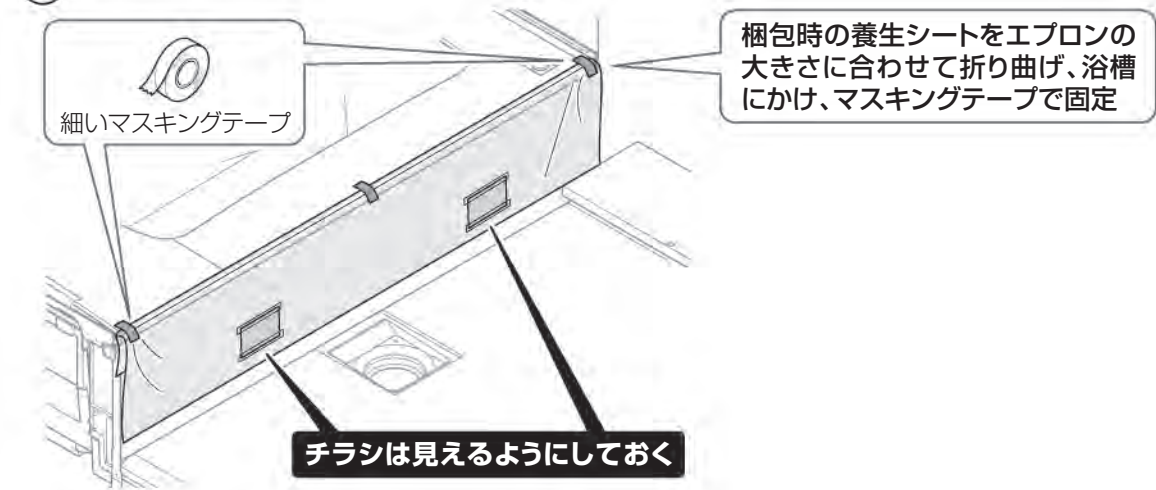
② 取付け 壁・カウンターキズ付け注意



③ かん合

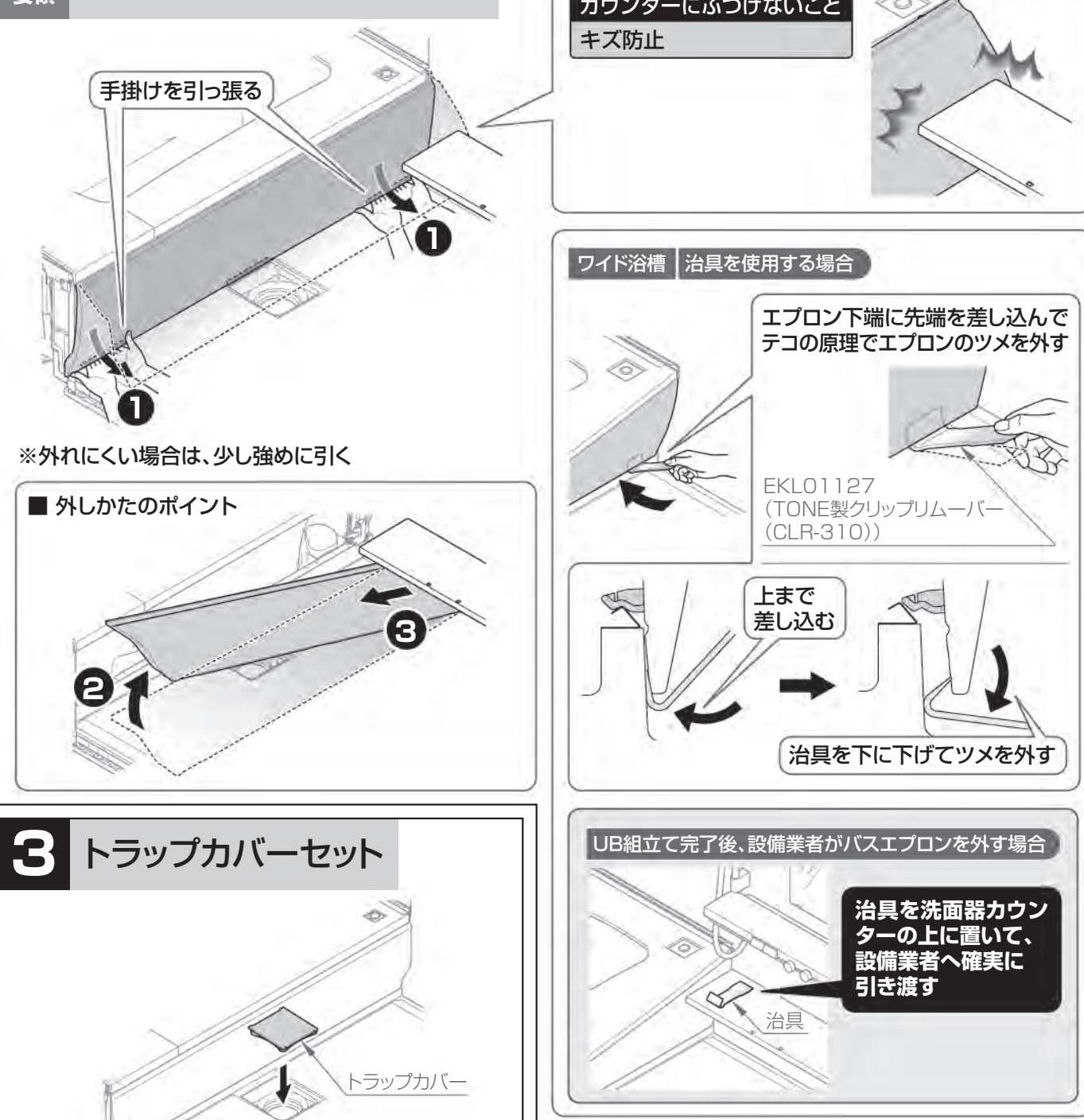


④ 養生



メンテナンス要領

バスエプロンの取外しかた



3 トラップカバーセット

4 ヘッドレスト取付け

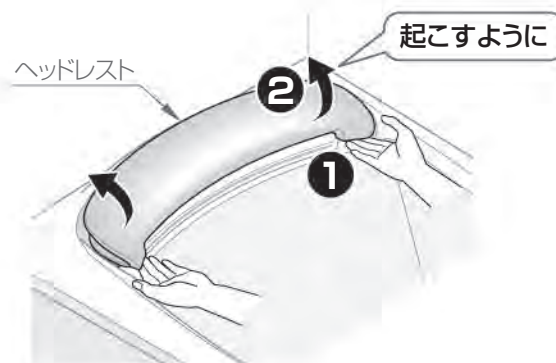
- 1 ヘッドレスト側の浴槽用養生を一旦外す
- 2 ヘッドレストを箱から出して、
必ずビニール包装をした状態のまま浴槽にセットする

ヘッドレスト裏面の凹部が
かん合するように被せて、
上から押し込む



メンテナンス 要領 ヘッドレストの取外しかた

- 1 ヘッドレスト手前両端に手を掛ける
- 2 奥側に起こすように持ち上げ、取り外す



ヘッドレストに無理な力を加えたり、
曲げない
シワが入るおそれ

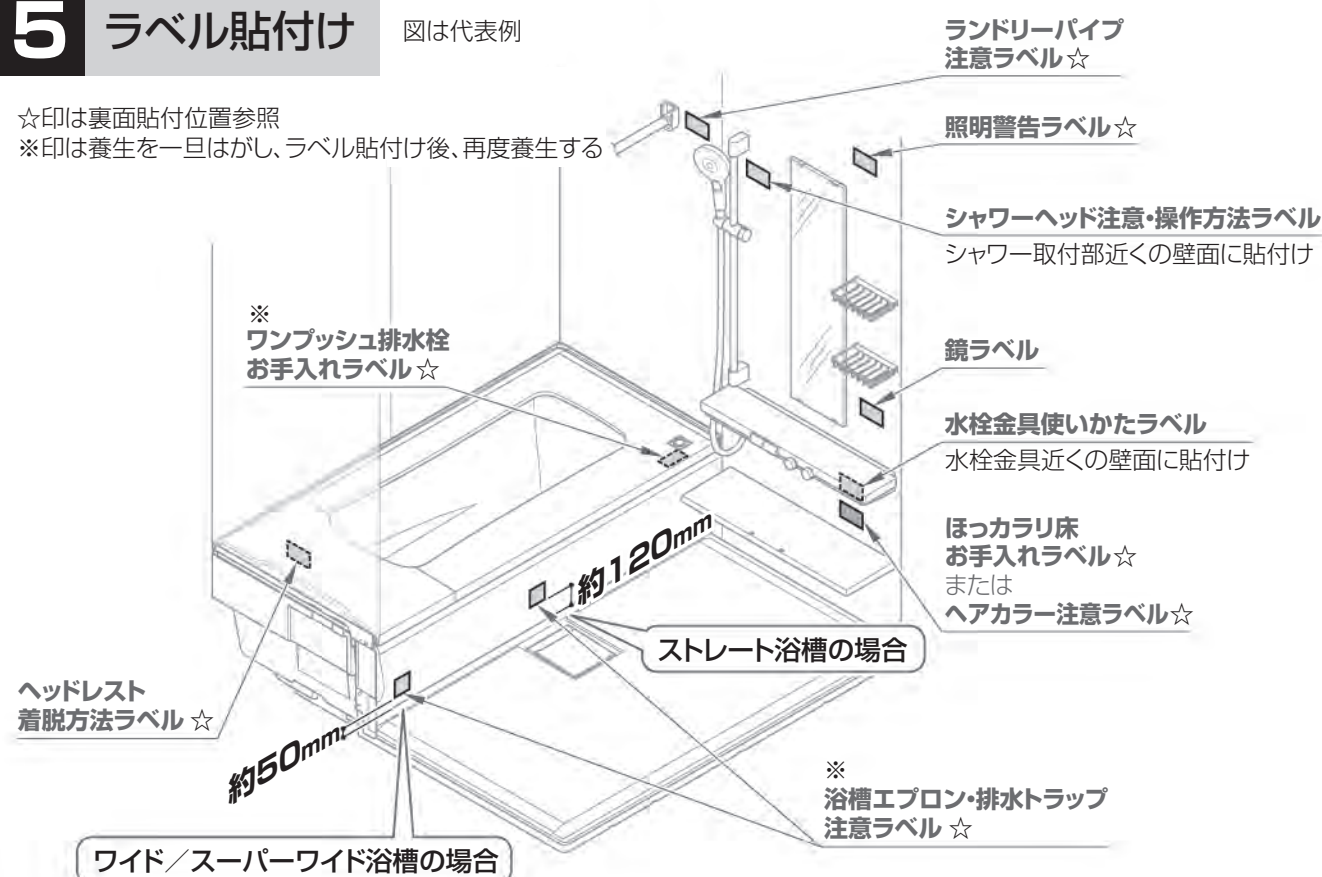
ヘッドレストの吐水口開口部に指を
かけて持ち上げない
シワが入るおそれ



5 ラベル貼付け

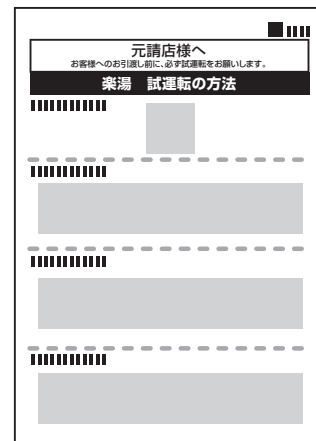
図は代表例

☆印は裏面貼付位置参照
※印は養生を一旦はがし、ラベル貼付け後、再度養生する

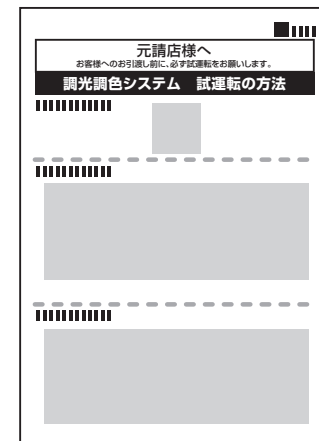


機器類の引継ぎ

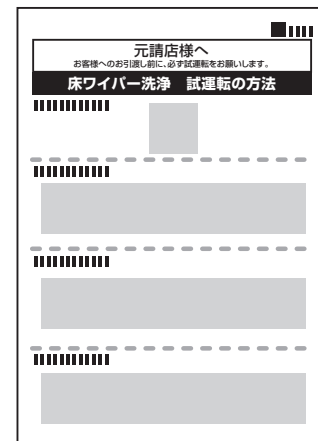
楽湯、調光調色システム、床ワイパー洗浄(きれい除菌水)には、
「試運転マニュアル」があります。



楽湯 試運転マニュアル
(EKL61365)



調光調色システム
試運転マニュアル
(EKL61366)



床ワイパー洗浄(きれい除菌水)
試運転マニュアル
(EKL61367N1)

これらを、必ず、元請店様へお渡しください。
手渡しできない場合は、カウンターの上など目に付きやすいところへ置いておいてください。

MEMO

ボ
B
HK

床

浴槽

ジョイナー

壁

浴槽まわり

ドア枠

天井

検査
中間

水栓・カウンター

器具

ドア

仕上げ

機器類の
引継ぎ

MEMO

ボ
B
HK

床

浴槽

ジョイナー

壁

浴槽まわり

ドア枠

天井

検査
中間

水栓・カウンター

器具

ドア

仕上げ

機器類の
引継ぎ

MEMO